



# 宮古市総合計画 令和6年度行政評価

令和8年3月

## 《目次》

将来指標	… 2
令和6年度施策基本事業評価	… 4
令和6年度事務事業評価	…23

# 将来指標

1.人口

	2005 (H17) 年	2010 (H22) 年	2015 (H27) 年	2020 (R2) 年	2025 (R7) 年	2030 (R12) 年	2035 (R17) 年	2040 (R22) 年	2045 (R27) 年
社人研推計 (H30推計) 人口 (人)	-	-	-	52,926	49,071	45,176	41,293	37,441	33,688
人口ビジョン目標値 (人)	-	-	-	52,709	50,194	47,720	45,398	43,264	41,272
国勢調査人口 (人)	63,588	59,430	56,676	50,369					

人口ビジョン「人口の将来展望」で掲げた人口の確保を目指すもの。

2.所得

	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度
宮古市 (千円)	2,641	2,488	2,424	2,490
施策・基本事業評価	2,779	2,646	2,667	2,704
県内14市平均 (千円)	2,694	2,565	2,594	2,607
国民所得 (千円)	3,181	2,980	3,153	3,274
宮古市/県平均 (%)	95.0	94.0	90.9	92.1
宮古市/14市平均 (%)	98.0	97.0	93.4	95.5
宮古市/国民所得 (%)	83.0	83.5	76.9	76.1

国民所得の水準を目標にするもの。

※出典：岩手県市町村民経済計算年報

3.愛着度、定住意向

	2018 (H30) 年度	2023 (R5) 年度
市への愛着度 (%)	68.0	65.4
定住意向 (%)	73.7	70.7

市民愛着度、定住意向80%を目標にするもの。

※出典：市民意識調査

# 令和6年度施策・基本事業評価 (目標指標)

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策01 災害に強い都市間道路交通ネットワークの形成	1	盛岡市までの所要時間	分	116	114	88	目標	88	88	88	88	88
							実績	88	88	88	88	88
	2	仙台市までの所要時間	分	300	200	180	目標	-	180	180	180	180
							実績	180	180	180	180	180
	3	八戸市までの所要時間	分	180	170	110	目標	154	110	110	110	110
							実績	160	110	110	110	110
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策01 災害に強い都市間道路交通ネットワークの形成 基本事業① 高規格幹線道路の整備促進	1	事業進捗（三陸沿岸道路）	%	100	73	100	目標	96	100	100	100	100
							実績	91	100	100	100	100
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策01 災害に強い都市間道路交通ネットワークの形成 基本事業② 地域高規格道路の整備促進	1	事業進捗（宮古盛岡横断道路）	%	-	42	100	目標	-	100	100	100	100
							実績	-	50	50	100	100
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策01 災害に強い都市間道路交通ネットワークの形成 基本事業③ 一般国道の整備促進	1	国道106号の指定区間編入状況（要望回数）	回	7	11	9	目標	9	9	9	9	9
							実績	9	9	9	9	9
	2	国道340号整備の事業化区間	km	-	-	4	目標	-	4	4	4	4
							実績	-	2	2	2	2
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策01 災害に強い都市間道路交通ネットワークの形成 基本事業④ 主要地方道・一般県道の整備促進	1	事業進捗（重茂半島線）	%	-	-	100	目標	-	100	100	100	100
							実績	-	0	0	0	0
	2	事業進捗（紫波江繋線）	%	-	-	100	目標	-	100	100	100	100
							実績	-	0	0	0	0
	3	事業進捗（大槌小国線）	%	-	-	100	目標	-	100	100	100	100
							実績	-	0	0	0	0
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策02 安全で地域の活力向上につながる道路及び河川整備の推進	1	市道改良率	%	66	68	70	目標	68	68	68	69	70
							実績	69	70	71	72	72
	2	市道舗装率	%	79	80	80	目標	80	80	80	80	80
							実績	80	81	81	81	82
	3	長寿命化対策率	%	-	-	49	目標	13	23	30	46	49
							実績	5	10	22	28	37
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策02 安全で地域の活力向上につながる道路及び河川整備の推進 基本事業① 市内幹線道路の整備	1	幹線道路改良率	%	68	70	73	目標	70	71	71	72	73
							実績	71	72	72	72	73
	2	幹線道路舗装率	%	84	84	84	目標	84	84	84	84	84
							実績	84	84	84	84	84
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策02 安全で地域の活力向上につながる道路及び河川整備の推進 基本事業② 生活関連道路の整備	1	生活関連道路改良率	%	65	66	68	目標	66	66	66	66	68
							実績	71	69	70	71	71
	2	生活関連道路舗装率	%	76	78	78	目標	78	78	78	78	78
							実績	78	79	79	80	81

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策02 安全で地域の活力向上につながる道路及び河川整備の推進 基本事業③ 道路施設の長寿命化	1	長寿命化対策率（橋梁・横断歩道橋）	%	-	-	51	目標	13	23	30	47	51
							実績	4	9	21	28	34
	2	長寿命化対策率（トンネル）	%	-	-	36	目標	14	21	29	36	36
							実績	14	14	29	29	57
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策02 安全で地域の活力向上につながる道路及び河川整備の推進 基本事業④ 市内河川の整備	1	浸水対策基本調査における河川改修等の進捗率	%	-	-	50	目標	0	13	25	38	50
							実績	0	0	0	0	0
	2	台風等災害復旧工事進捗率	%	-	-	100	目標	45	92	100	100	100
							実績	25	86	100	100	100
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策03 公共交通の確保と充実	1	公共交通に対する市民満足度	点	23	31	50	目標	37	40	44	47	50
							実績	34	-	39	27	32
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策03 公共交通の確保と充実 基本事業① 鉄道の確保・充実と利用促進	1	三陸鉄道の市民1人当たりの年間利用回数	回	2	2	4	目標	3	4	4	4	4
							実績	3	4	4	4	5
	2	JR山田線の市民1人当たりの年間利用回数	回	2	2	2	目標	2	2	2	2	2
							実績	1	1	0	1	1
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策03 公共交通の確保と充実 基本事業② 路線バスの確保・充実と利用促進	1	路線バス市民1人当たりの年間利用回数	回	18	18	19	目標	18	18	18	19	19
							実績	13	15	17	21	21
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策03 公共交通の確保と充実 基本事業③ 新たな公共交通手法の活用	1	新たな公共交通手法を活用した地域数	地域	-	1	4	目標	2	3	4	4	4
							実績	2	2	5	5	5
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策04 港湾機能の整備と充実	1	整備計画に対する整備率（竜神崎）	%	84	-	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
	2	整備計画に対する整備率（出崎）	%	57	78	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	94	100	100	100	100
	3	基本事業2～4の整備着手数	件	-	-	3	目標	0	3	3	3	3
							実績	0	0	0	0	0
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策04 港湾機能の整備と充実 基本事業① 出崎心頭先端地区等の整備促進	1	整備計画に対する整備率（竜神崎）	%	84	-	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
	2	整備計画に対する整備率（出崎）	%	57	78	100	目標	-	100	100	100	100
							実績	94	100	100	100	100
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策04 港湾機能の整備と充実 基本事業② 海洋レクリエーション施設の整備促進	1	リアスハーバー宮古外郭施設の整備	着手	-	-	-	目標	-	-	-	-	-
							実績	-	-	-	-	-
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策04 港湾機能の整備と充実 基本事業③ 物流機能の強化促進	1	県営上屋の整備	着手	-	-	-	目標	-	-	-	-	-
							実績	-	-	-	-	-
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策04 港湾機能の整備と充実 基本事業④ 耐震強化岸壁の整備促進	1	耐震強化岸壁の整備	着手	-	-	-	目標	-	-	-	-	-
							実績	-	-	-	-	-

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策05 情報通信基盤の充実	1	携帯電話不感エリアの路線整備数	路線	-	-	-	目標	-	-	-	-	-
							実績	-	-	-	-	-
	2	地上デジタル放送視聴可能世帯数	%	100	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
	3	コミュニティエフエム重大事故発生件数	件	-	0	0	目標	0	0	0	0	0
							実績	0	0	0	0	0
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策05 情報通信基盤の充実 基本事業① 情報通信網の整備促進	1	携帯電話不感エリアの路線整備数	路線	-	-	-	目標	-	-	-	-	-
							実績	-	-	-	-	-
	2	地上デジタル放送視聴可能世帯数	%	100	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
	3	コミュニティエフエム重大事故発生件数	件	-	0	0	目標	0	0	0	0	0
							実績	0	0	0	0	0
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策06 賑わいのある市街地の形成	1	末広町線の歩行者交通量（休日）	人	624	492	492	目標	492	492	492	492	492
							実績	501	262	361	359	685
	2	末広町線の歩行者交通量（平日）	人	739	597	597	目標	597	597	597	597	597
							実績	258	403	518	433	543
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策06 賑わいのある市街地の形成 基本事業① 市道末広町線無電柱化の整備	1	整備計画に対する整備率	%	-	-	100	目標	25	50	75	90	100
							実績	6	32	56	91	100
基本施策Ⅰ 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成 施策06 賑わいのある市街地の形成 基本事業② 宮古市役所庁舎跡地の整備	1	基盤整備に対する市民満足度	点	37	42	42	目標	42	42	42	42	42
							実績	45	-	41	40	33
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策01 農業の振興	1	農業総生産額の増加	百万円	714	795	936	目標	800	850	880	900	936
							実績	767	775	668	532	584
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策01 農業の振興 基本事業① 農畜産物の生産拡大	1	市内で生産される農産物の生産量	t	792	436	480	目標	450	460	470	480	480
							実績	472	533	544	515	601
	2	肉用子牛の市場上場頭数	頭	639	477	650	目標	500	550	600	650	650
							実績	479	394	574	429	396
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策01 農業の振興 基本事業② 地域農産物の消費拡大	1	産直施設での農畜産物等の販売額	万円	32,613	40,963	43,011	目標	43,011	43,011	43,011	43,011	43,011
							実績	38,676	38,551	38,809	40,367	45,415
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策01 農業の振興 基本事業③ 担い手の確保・育成	1	認定農業者数（年度末）	人	74	62	92	目標	70	80	85	90	92
							実績	53	57	57	56	54
	2	新規就農者数	人	2	2	3	目標	2	3	3	3	3
							実績	1	2	2	3	1
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策01 農業の振興 基本事業④ 農地の保全・活用	1	耕地面積	ha	2,150	2,060	2,060	目標	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060
							実績	2,030	2,030	2,020	1,960	1,940

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策01 農業の振興 基本事業⑤ 農村環境の整備	1	農道橋整備件数	件	-	-	3	目標	-	1	1	2	3
							実績	0	0	0	1	1
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策02 林業の振興	1	① 林業総生産額	百万円	1,470	1,526	1,570	目標	1,540	1,547	1,554	1,562	1,570
							実績	1,271	1,033	1,003	722	1,242
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策02 林業の振興 基本事業① 計画的な森林整備の推進	1	② 森林整備面積	ha	125	355	462	目標	334	366	398	430	462
							実績	336	262	271	303	372
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策02 林業の振興 基本事業② 地域材の利用促進	1	③ 地域材利用住宅棟数（総数）	棟	63	31	16	目標	30	20	16	16	16
							実績	14	18	8	7	21
	2	③ 地域材利用住宅棟数（被災者再建分）	棟	45	17	-	目標	10	6	5	3	-
							実績	0	3	2	0	-
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策02 林業の振興 基本事業③ 特用林産物の生産拡大	1	特用林産物生産量（乾しいたけ）	kg	118	126	196	目標	196	196	196	196	196
							実績	176	112	167	122	183
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策02 林業の振興 基本事業④ 担い手の確保・育成	1	⑤ 林業新規就業者数	人	2	1	3	目標	3	3	3	3	3
							実績	1	1	1	0	1
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策02 林業の振興 基本事業⑤ 森林づくり活動の推進	1	⑥ 事業参加者数	人	988	1,249	1,380	目標	1,156	1,212	1,268	1,324	1,380
							実績	20	258	432	329	428
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策03 水産業の振興	1	水産業総生産額	百万円	3,514	5,469	6,071	目標	6,071	6,071	6,071	6,071	6,071
							実績	6,282	6,837	6,518	5,886	8,248
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策03 水産業の振興 基本事業① 生産の拡大	1	魚市場水揚量	トン	33,503	23,540	39,100	目標	28,728	31,322	33,916	36,510	39,100
							実績	21,683	24,149	20,315	16,560	14,355
	2	養殖漁業生産量	トン	7,997	9,973	10,683	目標	10,683	10,683	10,683	10,683	10,683
							実績	8,112	9,132	9,888	5,825	7,419
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策03 水産業の振興 基本事業② 漁港・漁場・漁村の整備	1	整備工事実施数	漁港	-	-	6	目標	5	5	6	6	6
							実績	5	5	5	5	5
	2	老朽化対策工事実施漁港数	漁港	-	-	9	目標	5	5	6	9	9
							実績	5	5	5	5	5
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策03 水産業の振興 基本事業③ 経営基盤の強化	1	漁協組合員数	人	2,364	2,073	2,073	目標	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
							実績	2,002	1,914	1,850	1,788	1,732
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策03 水産業の振興 基本事業④ 担い手の確保・育成	1	宮古漁業担い手確保対策事業費補助金就漁計画認定者数（後継者除き）	人	3	5	6	目標	6	6	6	6	6
							実績	3	0	2	2	2
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策03 水産業の振興 基本事業⑤ 流通加工体制の整備	1	魚市場水揚額	千円	6,704,269	6,451,742	8,380,000	目標	7,383,000	7,633,000	7,883,000	8,133,000	8,380,000
							実績	4,887,711	3,996,221	5,234,463	5,760,200	4,566,901
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策03 水産業の振興 基本事業⑥ 河川漁業の推進	1	閉伊川漁協遊漁券（行使を含む。）発行件数	件	2,864	4,160	4,160	目標	4,160	4,160	4,160	4,160	4,160
							実績	3,569	4,214	4,231	4,808	2,813

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策04 工業の振興	1	製造業総生産額（実績値は当該年度－2年度、根拠は「岩手県市町村民経済計算年報」）	億円	182	189	200	目標	200	200	200	200	200
							実績	180	184	211	220	224
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策04 工業の振興 基本事業① モノづくりの環境整備	1	従業員一人当たりの現金給与総額	万円	282	314	323	目標	323	323	323	323	323
							実績	318	336	358	-	-
	2	セミナー、研修等への参加者数	人	149	107	110	目標	110	110	110	110	110
							実績	63	52	165	116	75
	3	工場等の新設・増設等件数	件	1	4	5	目標	1	5	5	5	5
							実績	0	0	1	3	4
	4	工場等の新設・増設による増加従業者数	人	0	24	25	目標	5	25	25	25	25
							実績	0	0	2	22	29
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策04 工業の振興 基本事業② 企業立地の推進	1	工場等の新設・増設等件数	件	-	-	1	目標	-	1	1	1	1
							実績	-	0	1	2	1
	2	工場等の新設・増設による増加従業員数	人	-	-	5	目標	-	5	5	5	5
							実績	-	0	2	20	7
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策05 商業・サービス業の振興	1	卸・小売業の年間商品販売額	百万円	95,385	114,718	95,000	目標	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
							実績	136,446	114,275	-	-	-
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策05 商業・サービス業の振興 基本事業① 魅力ある商業活動の推進	1	商工会議所会員数（卸・小売・サービス業）	人	862	745	750	目標	750	750	750	750	750
							実績	760	771	849	836	820
	2	中心市街地への新規創業者数	件	-	2	15	目標	15	15	15	15	15
							実績	8	8	4	4	4
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策05 商業・サービス業の振興 基本事業② 経営基盤の強化	1	経営指導件数	件	5,493	3,813	4,000	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
							実績	4,927	4,418	4,054	3,542	3,414
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策06 観光の振興	1	市内宿泊者数	万人	25	28	30	目標	29	29	29	30	30
							実績	18	18	20	23	22
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策06 観光の振興 基本事業① 受入体制の整備	1	来訪者満足度	%	-	74	75	目標	75	75	75	75	75
							実績	71	72	76	64	81
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策06 観光の振興 基本事業② 地域観光資源の活用	1	浄土ヶ浜入込数	万人	62	70	74	目標	71	72	73	74	74
							実績	52	40	65	59	51
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策06 観光の振興 基本事業③ 情報の発信	1	宮古観光文化交流協会HPアクセス数	件	150,571	74,958	91,000	目標	78,700	78,700	82,600	86,800	91,000
							実績	299,040	373,470	24,185	241,854	220,000
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策07 連携・高付加価値型産業の形成	1	関係事業者等の実数	者	299	151	160	目標	160	160	160	160	160
							実績	290	296	324	238	303
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策07 連携・高付加価値型産業の形成 基本事業① 産業支援体制の充実	1	相談等の件数（コーディネーターの活動件数）	件	1,459	551	660	目標	660	660	660	660	660
							実績	338	296	324	238	183
	2	セミナー・研修等参加者数	名	184	156	160	目標	160	160	160	160	160
							実績	63	90	83	345	303

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策07 連携・高付加価値型産業の形成 基本事業② 食産業の支援	1	展示商談会等に出展した事業者数	者	41	73	75	目標	75	75	75	75	75
							実績	16	29	30	38	31
	2	商品等の新規成約件数	件	-	4	5	目標	5	5	5	5	5
							実績	-	-	5	43	34
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策08 再生可能エネルギー事業による地域内経済循環の推進	1	再生可能エネルギーによる電力自給率	%	-	25	40	目標	-	-	-	-	40
							実績	26	31	31	58	58
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策08 再生可能エネルギー事業による地域内経済循環の推進 基本事業① 再生可能エネルギー事業による収益の確保	1	再生可能エネルギー導入容量	kW	10,216	2,266	244,000	目標	82,000	82,000	82,000	82,000	244,000
							実績	79,032	79,898	80,224	81,013	81,387
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策09 港湾の利用促進	1	港湾取扱貨物量	千t	442	730	800	目標	800	800	800	800	800
							実績	373	161	183	249	151
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策09 港湾の利用促進 基本事業① 貨物取扱機能の強化	1	一時預り貨物取扱補助額	万円	161	455	500	目標	350	350	400	450	500
							実績	137	148	75	123	106
	2	誘致航路数	航路	-	1	2	目標	2	2	2	2	2
							実績	0	0	0	0	0
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策09 港湾の利用促進 基本事業② 港湾の活用	1	誘致企業数	件	-	0	1	目標	1	1	1	1	1
							実績	0	0	0	0	0
	2	客船寄港回数	回/年	4	5	8	目標	8	6	6	8	8
							実績	0	2	5	8	10
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策10 雇用の促進と労働者の福祉の充実	1	就業者数（雇用保険被保険者数）	人	18,386	18,622	18,600	目標	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
							実績	18,074	17,616	17,376	16,958	16,486
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策10 雇用の促進と労働者の福祉の充実 基本事業① 雇用の促進	1	補助金・奨励金交付対象者数	人	136	83	80	目標	80	80	80	80	80
							実績	63	64	68	61	59
	2	事業委託先（職業訓練センター・シルバー人材センター）における利用者数	人	410	545	550	目標	550	550	550	550	550
							実績	456	501	502	509	504
基本施策Ⅱ 活力に満ちた産業振興都市づくり 施策10 雇用の促進と労働者の福祉の充実 基本事業② 労働者の福祉の充実	1	勤労者等対策事業（勤労者資金・出稼ぎ互助会）の利用者数	人	40	14	15	目標	15	15	15	15	15
							実績	4	2	2	1	3
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策01 防災・危機管理体制の充実	1	防災体制に対する市民満足度	点	52	42	60	目標	660	60	60	60	60
							実績	44	44	45	48	50
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策01 防災・危機管理体制の充実 基本事業① 防災体制の整備	1	避難誘導標識整備率	%	20	82	100	目標	95	95	96	97	100
							実績	99	99	101	105	105
	2	情報発信ツールの充実	種類	4	8	10	目標	9	10	10	10	10
							実績	10	10	10	10	10
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策01 防災・危機管理体制の充実 基本事業② 防災・減災教育の推進、地域防災力の向上	1	自主防災組織のカバー率	%	47	51	87	目標	62	68	74	80	87
							実績	53	52	55	61	61
	2	防災士の人数	人	157	331	600	目標	365	600	600	600	600
							実績	393	440	486	536	581

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策01 防災・危機管理体制の充実 基本事業③ 危機管理体制の整備	1	保存米等の備蓄率	%	161	111	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	116	100	100	100	100
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策02 災害記憶の伝承	1	学ぶ防災来訪者数	人	19,608	18,894	19,839	目標	24,000	19,272	19,461	19,650	19,839
							実績	7,670	10,596	13,630	14,045	11,832
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策02 災害記憶の伝承 基本事業① 災害教訓の伝承・情報発信	1	学ぶ防災来訪者数	人	19,608	18,894	19,839	目標	24,000	19,272	19,461	19,650	19,839
							実績	7,670	10,596	13,630	14,045	11,832
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策03 消防・救急の充実	1	火災に対する消防体制（満足度）	点	58	58	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	60	60	60	56	58
	2	出火率	件	4	3	3	目標	3	3	3	3	3
							実績	3	2	3	3	3
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策03 消防・救急の充実 基本事業① 防火意識の普及	1	住宅用火災警報器設置率	%	52	82	90	目標	90	90	90	90	90
							実績	89	89	85	75	84
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策03 消防・救急の充実 基本事業② 地域の消防力の向上	1	消防団員数	名	1,270	1,152	1,200	目標	1,270	1,200	1,200	1,200	1,200
							実績	1,113	972	962	933	911
	2	消防水利充足率	%	75	83	85	目標	85	85	85	85	85
							実績	83	84	84	84	84
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策03 消防・救急の充実 基本事業③ 消防・救急技術の向上	1	救急講習実施回数	回	53	49	72	目標	60	60	60	60	72
							実績	50	27	66	72	72
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策04 交通安全の推進	1	①人身事故発生件数	件	81	52	46	目標	50	49	49	47	46
							実績	50	49	41	45	46
	2	②交通安全教室参加人数（児童・生徒）	人	2,612	2,898	3,043	目標	2,955	2,984	3,013	3,042	3,043
							実績	1,919	2,197	2,251	2,551	2,252
	3	③交通安全教室参加人数（高齢者）	人	230	275	316	目標	288	295	302	309	316
							実績	111	121	82	90	173
	4	④交通安全施設の点検回数	回	-	1	1	目標	1	1	1	1	1
							実績	1	1	2	1	2
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策04 交通安全の推進 基本事業① 交通安全意識の普及・啓発	1	基本事業1-②交通安全教室参加人数（児童・生徒）	人	2,612	2,898	3,043	目標	2,955	2,984	3,013	3,042	3,043
							実績	1,919	2,197	2,251	2,551	2,252
2	基本事業1-③交通安全教室参加人数（高齢者）	人	230	275	316	目標	288	295	302	309	316	
						実績	111	121	82	90	173	
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策04 交通安全の推進 基本事業② 交通安全施設の充実	1	基本事業2-④交通安全施設の点検回数	回	-	1	1	目標	1	1	1	1	1
							実績	1	1	2	1	2

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策05 防犯体制の充実	1	①市内刑法犯罪発生件数	件	191	122	109	目標	117	115	113	111	109
							実績	115	99	83	82	91
	2	③地域防犯協会団体数	団体	109	108	114	目標	110	111	112	113	114
							実績	114	113	115	112	112
	3	④少年犯罪の発生件数	件	18	16	14	目標	14	14	14	14	14
							実績	8	8	7	1	3
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策05 防犯体制の充実 基本事業① 防犯意識の普及・啓発	1	基本事業1-③地域防犯協会団体数	団体	109	108	114	目標	110	111	112	113	114
							実績	114	113	115	112	112
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策05 防犯体制の充実 基本事業② 少年犯罪の防止	1	基本事業2-④少年犯罪の発生件数	件	18	16	14	目標	14	14	14	14	14
							実績	8	8	7	1	3
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策06 市民相談の充実	1	①市民相談件数	件	879	549	570	目標	570	570	570	570	570
							実績	506	427	444	500	542
	2	②相談員の研修回数	回	17	20	20	目標	20	20	20	20	20
							実績	19	17	23	36	20
	3	③啓発活動回数(出前講座、街頭啓発)	回	3	2	12	目標	12	12	12	12	12
							実績	1	2	2	5	12
	4	④被災者向け相談会開催回数	回	12	4	6	目標	12	12	12	12	6
							実績	0	5	5	4	6
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策06 市民相談の充実 基本事業① 市民相談体制の充実	1	相談員の研修回数 (基本事業1-②)	回	17	20	20	目標	20	20	20	20	20
							実績	19	17	23	36	20
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策06 市民相談の充実 基本事業② 広報・啓発活動の推進	1	啓発活動回数(出前講座及び街頭啓発)	回	3	2	12	目標	12	12	12	12	12
							実績	1	2	2	5	12
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策06 市民相談の充実 基本事業③ 被災者支援体制の充実	1	被災者向け相談会開催回数	回	12	4	12	目標	12	12	12	12	12
							実績	0	5	5	4	6
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策07 住環境の整備	1	公営住宅に関する市民満足度	点	33	46	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	49	-	46	43	43
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策07 住環境の整備 基本事業① 公営住宅の整備	1	整備・集約、改修達成率	戸	256	764	48	目標	48	24	-	48	48
							実績	48	24	-	48	48
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策07 住環境の整備 基本事業② 住宅耐震化の促進	1	木造住宅耐震化率	%	62	79	89	目標	84	89	89	89	89
							実績	80	81	-	81	-
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策07 住環境の整備 基本事業③ 空き家対策の推進	1	特定空家件数	件	-	0	0	目標	0	0	0	0	0
							実績	0	0	1	2	1
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策08 安全・安心な水の供給	1	各基本事業の指標	%	15	22	31	目標	25	27	28	30	31
							実績	23	25	26	29	
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策08 安全・安心な水の供給 基本事業① 上水道の整備	1	管路の耐震化率	%	15	22	31	目標	25	27	28	30	31
							実績	23	25	26	26	26

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策09 衛生的な水環境の確保	1	水洗化人口割合	%	65	75	77	目標	75	76	76	77	77
							実績	76	75	76	76	77
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策09 衛生的な水環境の確保 基本事業① 公共下水道の整備・更新	1	機械設備・電気設備の修繕更新	箇所	-	12	2	目標	32	2	3	3	2
							実績	33	2	0	4	2
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策09 衛生的な水環境の確保 基本事業② 地域の排水処理施設の整備	1	浄化槽処理人口	人	6,546	8,037	8,419	目標	8,634	8,353	8,375	8,397	8,419
							実績	7,059	7,212	7,195	7,065	6,979
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策09 衛生的な水環境の確保 基本事業③ 水洗化の促進	1	水洗化率（下水道、集落排水区域）	%	81	89	89	目標	89	89	89	89	89
							実績	90	90	91	91	92
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策10 環境衛生の充実	1	環境衛生に対する市民満足度	点	66	67	68	目標	68	68	68	68	68
							実績	67	67	60	63	58
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策10 環境衛生の充実 基本事業① ごみの適正処理の推進	1	不法投棄回収件数	箇所	42	30	20	目標	25	20	20	20	20
							実績	15	18	17	16	16
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策10 環境衛生の充実 基本事業② 公園・緑地の適正な管理	1	公園トイレのバリアフリー化件数	件	21	24	27	目標	26	26	26	26	27
							実績	26	26	26	26	27
	2	健康遊具整備数	箇所	2	8	73	目標	43	52	62	67	73
							実績	43	44	44	44	44
	3	東屋整備数	箇所	19	24	42	目標	34	35	39	39	42
							実績	34	34	34	34	34
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策10 環境衛生の充実 基本事業③ 公害の防止	1	公害発生件数	件	35	24	24	目標	24	24	24	24	24
							実績	29	32	25	18	25
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策11 自然環境の保全	1	自然環境に対する市民満足度	点	70	67	70	目標	70	70	70	70	70
							実績	71	-	50	65	50
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策11 自然環境の保全 基本事業① 大気環境・水環境の保全	1	大気にかかわる環境基準達成率	%	100	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
	2	水質にかかわる環境基準達成率	%	100	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策11 自然環境の保全 基本事業② 保全意識の普及・啓発	1	自然観察会等参加者数	人	-	1,705	2,000	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
							実績	-	1,730	2,133	2,158	2,493
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策12 循環型社会の形成	1	廃棄物最終処分量	t	11,950	2,131	1,000	目標	1,800	1,500	1,200	1,000	1,000
							実績	2,677	2,567	2,536	2,330	2,330
	2	再生可能エネルギー自給率	%	4	13	30	目標	-	30	30	30	30
							実績	13	15	15	20	20
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策12 循環型社会の形成 基本事業① 再生可能エネルギーの導入促進	1	再生可能エネルギー導入容量	kW	10,216	22,616	244,000	目標	82,000	82,000	82,000	82,000	244,000
							実績	79,032	79,898	80,224	81,013	81,387
	2	住宅用太陽光発電システム導入件数	件	608	1,089	1,300	目標	1,140	1,180	1,220	1,260	1,300
							実績	1,162	1,200	1,236	1,263	1,337

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅲ 安全で快適な生活環境づくり 施策12 循環型社会の形成 基本事業② ごみの減量化と資源化の推進	1	一人一日あたりのごみ排出量	g	1,000	1,098	999	目標	986	896	896	986	999
							実績	1,036	1,031	1,027	1,002	1,028
	2	一般廃棄物のリサイクル率	%	16	13	17	目標	17	17	17	17	17
							実績	13	12	12	12	11
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進	1	早世割合（65歳未満の死亡割合）	%	13	11	10	目標	10	10	10	10	10
							実績	9	9	7	7	7
	2	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 （9月数値確定）	%	26	29	30	目標	25	24	22	20	30
							実績	31	30	30	30	30
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進 基本事業① 母子の健康づくりの推進	1	11週以下での妊娠届出率	%	92	92	100	目標	95	97	98	99	100
							実績	95	94	95	93	94
	2	3歳児健康診査受診率	%	97	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	99	99	97	100	99
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進 基本事業② 成人の健康づくりの推進	1	大腸がん検診受診率	%	24	12	50	目標	26	32	38	44	50
							実績	11	11	12	12	12
	2	国保特定健診受診者中の肥満者の割合	%	32	33	25	目標	30	29	27	26	25
							実績	34	32	32	31	33
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進 基本事業③ 高齢者の健康づくりの推進	1	高齢者健康づくり事業参加者数	人	8,870	7,710	9,000	目標	8,000	8,300	8,600	8,900	9,000
							実績	4,035	6,867	5,421	4,971	5,283
	2	後期高齢者健診受診率	%	31	37	32	目標	42	30	31	32	32
							実績	20	21	22	23	23
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進 基本事業④ こころの健康づくりの推進	1	ゲートキーパー養成数	人	0	113	140	目標	140	140	140	140	140
							実績	162	158	180	146	144
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進 基本事業⑤ 歯と口腔の健康づくりの推進	1	3歳児歯科健康診査でむし歯のない人の割合	%	82	82	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	84	89	87	91	94
	2	65才以上で口腔機能の低下がある人の割合	%	19	18	10	目標	12	12	11	11	10
							実績	17	15	15	23	13
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進 基本事業⑥ 感染症予防の推進	1	MR（麻しん風しん混合）予防接種率 1期	%	100	89	95	目標	95	95	95	95	95
							実績	100	97	88	84	71
	2	MR（麻しん風しん混合）予防接種率 2期	%	92	95	95	目標	95	95	95	95	95
							実績	97	95	97	97	92
	3	結核健診受診率	%	62	61	76	目標	64	68	72	76	76
							実績	55	55	54	52	51
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策01 健康づくりの推進 基本事業⑦ 食育の推進	1	朝食に主食とおかず（主菜・副菜）のそろったものを摂取する人の割合（幼児）	%	83	57	85	目標	82	83	84	85	85
							実績	-	-	-	47	-
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策02 医療の充実	1	地域医療の充実に対する市民満足度	点	39	43	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	44	-	29	33	21

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策02 医療の充実 基本事業① 医療体制の充実	1	全直営診療所の年間稼働率	%	100	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策03 医療保険制度等の充実	1	国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の対前年度伸び率	%	2	3	0	目標	2	2	1	0	0
							実績	1	0	0	1	1
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策03 医療保険制度等の充実 基本事業① 国民健康保険の適正実施	1	特定健康診査受診率	%	35	41	46	目標	50	53	56	60	46
							実績	38	39	39	37	39
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策03 医療保険制度等の充実 基本事業② 医療給付の適正実施	1	事業対象者への受給者証交付率	%	100	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策04 地域福祉の充実	1	必要などきに手助けしてもらえる環境及び住民同士のつながりが広がる場や機会が身近にある環境に対する総合的な市民満足度	点	41	42	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	43	-	43	39	38
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策04 地域福祉の充実 基本事業① 福祉ボランティア活動の促進	1	必要などきに手助けしてもらえる環境に対する市民満足度	点	39	40	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	42	-	45	37	38
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策04 地域福祉の充実 基本事業② 福祉ネットワークづくりの推進	1	住民同士のつながりが広がる場や機会が身近にある環境に対する市民満足度	点	44	44	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	44	-	41	42	38
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策04 地域福祉の充実 基本事業③ 相談支援体制の充実	1	地域包括支援及びくらしネットみやこでの総合相談件数	件	72,647	60,179	66,196	目標	62,000	63,000	64,000	65,000	66,196
							実績	40,453	22,435	15,897	17,370	18,424
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策05 高齢者福祉の充実	1	高齢者の暮らしやすさに対する市民満足度	点	44	43	60	目標	50	50	50	60	60
							実績	31	31	39	41	35
	2	要介護・要支援高齢者の割合	%	19	18	17	目標	-	17	17	16	17
							実績	18	17	17	17	18
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策05 高齢者福祉の充実 基本事業① 地域包括ケア体制の推進	1	総合相談件数	件	72,647	58,059	9,600	目標	58,400	9,000	9,300	9,600	9,600
							実績	35,765	10,983	13,615	15,517	16,006
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策05 高齢者福祉の充実 基本事業② 自立した暮らしを継続する支援	1	介護予防教室（シルバーリハビリ体操教室）参加者数	人	1,129	1,852	10,500	目標	2,050	1,900	2,000	2,100	10,500
							実績	586	589	968	674	13,569
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策05 高齢者福祉の充実 基本事業③ 介護サービスの円滑な実施	1	要介護認定の申請から認定に要する日数	日	-	56	48	目標	54	50	45	39	48
							実績	55	52	50	50	-
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策06 子育て支援の充実	1	子育て環境に対する市民満足度	点	43	45	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	46	-	44	43	42
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策06 子育て支援の充実 基本事業① 子育て支援体制の充実	1	子育て支援拠点事業年間利用組数	組	9,114	10,954	9,000	目標	9,500	9,500	10,000	9,000	9,000
							実績	3,943	1,994	2,950	4,271	5,278
	2	ファミリーサポートセンター依頼会員数	人	311	335	330	目標	360	360	360	330	330
							実績	348	330	321	304	316
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策06 子育て支援の充実 基本事業② 保育サービスの充実	1	待機児童数	人	29	2	0	目標	0	0	0	0	0
							実績	0	0	0	0	0

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策06 子育て支援の充実 基本事業③ 放課後児童の健全育成	1	学童の家利用者満足度	%	88	88	91	目標	91	91	91	91	91
							実績	89	94	90	91	90
	2	放課後子ども教室利用者の満足度	%	95	98	98	目標	98	98	98	98	98
							実績	94	90	94	91	93
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策06 子育て支援の充実 基本事業④ 子育て学習機会の充実	1	子育てに関する講座の参加者数	人	5,845	4,382	5,300	目標	4,400	4,600	4,800	5,050	5,300
							実績	1,838	1,524	1,740	2,003	3,004
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策07 障がい福祉の充実	1	障がい者の社会参加しやすい環境に関する市民満足度	点	38	38	60	目標	45	49	53	57	60
							実績	41	41	41	39	36
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策07 障がい福祉の充実 基本事業① 障がい者の自立支援	1	地域生活移行者数	人	-	-	11	目標	11	11	11	11	11
							実績	6	3	2	0	1
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策07 障がい福祉の充実 基本事業② 就労場の充実	1	一般就労移行者数	人	7	8	9	目標	9	9	9	9	9
							実績	18	22	24	23	27
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策07 障がい福祉の充実 基本事業③ 相談支援体制の充実	1	相談支援事業相談件数	件	4,113	8,659	9,525	目標	8,947	9,091	9,235	9,379	9,525
							実績	10,422	10,125	9,943	10,259	10,698
基本施策Ⅳ 健康でふれあいのある地域づくり 施策07 障がい福祉の充実 基本事業④ 社会参加の促進	1	社会参加機会提供数	回	1,326	1,607	1,767	目標	1,661	1,688	1,715	1,742	1,767
							実績	1,702	1,594	1,590	1,592	1,628
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策01 市民活動の推進	1	①地域自治組織（町内会、自治会等）の活動への参加割合	%	18	18	21	目標	21	21	21	21	21
							実績	16	-	-	18	-
	2	②NP0等の市民活動団体の活動への参加割合	%	1	2	5	目標	5	5	5	5	5
							実績	1	-	-	3	-
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策01 市民活動の推進 基本事業① 地域自治組織への活動支援	1	1-③地域自治組織（町内会、自治会等）の活動への関心度	%	29	31	40	目標	40	40	40	40	40
							実績	29	-	-	28	13
	2	1-③地域自治組織（町内会、自治会等）の活動への参加意向	%	16	16	21	目標	21	21	21	21	21
							実績	17	-	-	28	28
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策01 市民活動の推進 基本事業② 市民活動団体への活動支援	1	2-④NP0等の市民活動団体の活動への関心度	%	22	21	26	目標	26	26	26	26	26
							実績	30	-	-	23	5
	2	2-④NP0等の市民活動団体の活動への参加意向	%	8	7	9	目標	9	9	9	9	9
							実績	7	-	-	23	23
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策01 市民活動の推進 基本事業③ 市民との協働の推進	1	協働の研修会の開催回数	回	2	2	4	目標	4	4	4	4	4
							実績	3	2	6	3	3
	2	参加団体数	団体	33	43	75	目標	75	75	75	75	75
							実績	15	0	38	30	21
	3	参加人数（延べ）	人	66	150	160	目標	160	160	160	160	160
							実績	58	45	63	116	40

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策02 男女共同参画社会の形成	1	①男女共同参画に関する市民満足度	点	42	43	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	45	-	41	39	37
	2	②男女共同参画講座の参加者数	人	1,676	1,381	800	目標	760	770	780	790	800
							実績	340	262	197	262	313
	3	③審議会等の女性委員登用割合	%	24	29	40	目標	40	40	40	40	40
							実績	30	33	32	31	33
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策02 男女共同参画社会の形成 基本事業① 意識の醸成と理念の浸透	1	1-②男女共同参画講座の参加者数	人	1,676	1,381	800	目標	760	770	780	790	800
							実績	340	262	197	262	313
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策02 男女共同参画社会の形成 基本事業② 参画機会の拡大と活動促進	1	審議会等の女性委員登用割合	%	24	29	40	目標	40	40	40	40	40
							実績	30	33	32	31	33
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策03 地域間交流・連携、多文化共生の推進	1	他地域との交流活動に対する市民満足度	%	37	36	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	39	-	45	41	41
	2	国際化の理解活動に対する市民満足度	%	35	34	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	35	-	42	38	38
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策03 地域間交流・連携、多文化共生の推進 基本事業① 国内の他地域との交流・連携の推進	1	国内交流市町村数	市町村	14	24	24	目標	23	24	24	24	24
							実績	23	24	24	24	24
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策03 地域間交流・連携、多文化共生の推進 基本事業② 多文化共生の推進	1	国際交流や多文化理解活動数	回	1	8	10	目標	10	10	10	10	10
							実績	9	11	12	10	10
	2	国際交流や多文化理解活動の参加者数	人	21	236	250	目標	250	250	250	250	250
							実績	141	225	292	196	143
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策04 シティプロモーションの推進	1	地域おこし協力隊員数	人	-	1	13	目標	9	11	11	13	13
							実績	6	6	7	7	5
	2	高校2年生の宮古市への愛着度	%	-	-	65	目標	45	50	55	60	65
							実績	43	39	34	47	53
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策04 シティプロモーションの推進 基本事業① サーモンランドの魅力発信	1	移住者向けホームページアクセス数（年間）	件	-	7,161	50,000	目標	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000
							実績	18,035	21,563	32,665	37,984	69,150
基本施策Ⅴ 交流と連携による地域づくり 施策04 シティプロモーションの推進 基本事業② 移住者増加の促進	1	移住定住相談会参加者数（宮古市ブース）	人	-	13	30	目標	30	30	30	30	30
							実績	4	21	58	155	167
	2	移住定住相談会参加者数（全体参加者）	人	-	913	1,000	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
							実績	-	464	660	1,026	1,810

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実	1	授業理解度調査結果（岩手県学習定着度状況調査）小学校	%	90	88	90	目標	90	90	90	89	90
							実績	91	93	87	89	89
	2	授業理解度調査結果（岩手県学習定着度状況調査）中学校	%	81	76	81	目標	79	79	79	82	81
							実績	79	78	80	80	84
	3	体力・運動能力調査結果（体力合計点の平均値・80点未満）小学校	点	47	47	55	目標	54	54	54	54	55
							実績	-	54	53	41	53
	4	体力・運動能力調査結果（体力合計点の平均値・80点未満）中学校	点	45	46	46	目標	47	47	47	47	46
実績							-	46	44	43	44	
5	不登校出現率（小学校）	%	0	1	2	目標	0	0	1	1	2	
						実績	1	1	1	2	1	
6	不登校出現率（中学校）	%	2	4	5	目標	0	2	3	4	5	
						実績	4	5	5	6	8	
7	中学校進路未決定者数	人	4	6	0	目標	0	0	0	0	0	
						実績	1	4	3	0	3	
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実 基本事業① 確かな学力を育む教育の推進	1	学力調査結果（テスト結果：全国を100とした場合）小学校国語	-	105	103	100	目標	101	103	101	103	100
							実績	103	101	103	94	100
	2	学力調査結果（テスト結果：全国を100とした場合）小学校算数	-	103	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	98	95	99	89	94
	3	学力調査結果（テスト結果：全国を100とした場合）中学校国語	-	102	101	100	目標	100	100	100	100	100
実績							97	99	93	96	96	
4	学力調査結果（テスト結果：全国を100とした場合）中学校数学	-	87	86	100	目標	100	100	100	100	100	
						実績	90	90	83	87	89	
5	学力調査結果（テスト結果：全国を100とした場合）中学校英語	-	90	90	100	目標	100	100	100	100	100	
						実績	94	94	82	85	92	
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実 基本事業② 豊かな心を育む教育の推進	1	読書率（小学校）	%	58	68	69	目標	69	69	69	69	69
							実績	77	82	72	66	69
	2	読書率（中学校）	%	48	58	59	目標	59	59	59	59	59
							実績	59	62	60	53	59
3	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果（全国学力・学習状況調査）小学校	%	90	80	84	目標	88	88	88	88	84	
						実績	-	75	85	83	80	
4	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果（全国学力・学習状況調査）中学校	%	89	77	85	目標	85	85	85	85	85	
						実績	-	72	75	73	80	

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実 基本事業③ 健康な体を育む教育の推進	1	体力テスト結果（小学校）	%	38	40	41	目標	41	41	41	41	41
							実績	-	35	31	45	39
	2	体力テスト結果（中学校）	%	45	50	54	目標	54	54	54	54	54
							実績	-	48	39	41	43
	3	肥満割合（小学校）	%	13	15	12	目標	12	12	12	12	12
							実績	14	15	16	16	15
	4	肥満割合（中学校）	%	15	13	9	目標	9	9	9	9	9
							実績	14	15	15	13	14
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実 基本事業④ 特別支援教育の充実	1	特別支援員充足率	%	100	100	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実 基本事業⑤ 相談・支援体制の充実	1	学校復帰率（サーモン教室）小学校	%	-	50	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	0	0	33	80	33
	2	学校復帰率（サーモン教室）中学校	%	25	80	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	70	36	40	70	50
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実 基本事業⑥ 教育環境の充実	1	コミュニティ・スクール設置率（対計画数）	%	-	-	100	目標	50	75	100	100	100
							実績	0	0	100	100	100
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策01 学校教育の充実 基本事業⑦ 学校施設・設備の充実	1	情報モラル教育実施数	%	-	-	100	目標	100	100	100	100	100
							実績	100	100	100	100	100
	2	非構造部材耐震化率（天井材）	%	-	50	100	目標	75	75	75	100	100
							実績	75	75	75	100	100
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進	1	①生涯学習環境に対する市民満足度	点	41	47	50	目標	50	50	50	50	50
							実績	47	-	-	45	39
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進 基本事業① 推進体制の充実	1	②リーダーバンク及び生涯学習ボランティア登録者数	人	295	180	189	目標	189	189	189	189	189
							実績	178	177	141	138	149
	2	③リーダーバンク・生涯学習ボランティア登録者の派遣延べ人数	人	1,484	399	439	目標	439	439	439	439	439
							実績	258	315	675	702	842
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進 基本事業② 学習環境の整備	1	④公民館事業の実施件数	件	466	395	400	目標	400	400	400	400	400
							実績	182	232	398	421	395
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進 基本事業③ 読書まち宮古の推進	1	市民一人当たりの図書館蔵書数	冊	4	4	4	目標	4	4	4	4	4
							実績	4	5	5	5	5
	2	市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	3	4	4	目標	4	4	4	4	4
							実績	3	4	4	3	4
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進 基本事業④ 学校・家庭・地域の連携と協働	1	事業関係者（児童、地域、学校）の満足度	%	-	-	80	目標	-	80	80	80	80
							実績	-	70	78	78	74
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進 基本事業⑤ 家庭及び青少年の学習活動の支援	1	⑦事業参加者数	人	423	726	726	目標	726	726	726	726	726
							実績	116	136	193	386	515

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進 基本事業⑥ 成人の学習活動の支援	1	⑧事業（講座等）参加者数	人	6,637	6,398	6,400	目標	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
							実績	574	3,140	4,813	6,738	6,703
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策02 生涯学習の推進 基本事業⑦ 生涯学習関係活動団体の支援	1	⑨事業参加者数	人	2,027	2,333	2,340	目標	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340
							実績	437	1,037	1,299	1,084	1,030
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策03 スポーツ・レクリエーションの振興	1	スポーツ・レクリエーション参加延べ人数	人	377,819	432,411	442,000	目標	468,000	462,000	455,000	449,000	442,000
							実績	250,672	259,270	277,241	306,929	341,090
	2	体育協会加入数	人	2,466	2,254	2,300	目標	2,400	2,400	2,300	2,300	2,300
							実績	2,242	2,168	2,059	1,985	1,872
	3	スポーツ推進委員の研修会参加者数	人	84	112	110	目標	120	110	110	110	110
							実績	78	63	97	100	96
	4	各種大会等参加者数	人	7,616	7,576	7,700	目標	8,200	8,100	7,900	7,800	7,700
							実績	659	2,173	3,144	3,554	3,897
	5	大規模大会な大会の成績	人	35	37	40	目標	40	40	40	40	40
							実績	3	20	52	43	33
	6	体育施設等利用者数	人	370,203	424,835	435,000	目標	461,000	455,000	448,000	442,000	435,000
							実績	250,013	257,097	274,097	303,375	337,193
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策03 スポーツ・レクリエーションの振興 基本事業① 推進体制の充実	1	体育協会加入数	人	2,466	2,254	2,300	目標	2,400	2,400	2,300	2,300	2,300
							実績	2,242	2,168	2,059	1,985	1,872
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策03 スポーツ・レクリエーションの振興 基本事業② 指導者等の確保・育成	1	スポーツ推進委員の研修会参加者数	人	84	112	110	目標	120	110	110	110	110
							実績	78	63	97	100	96
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策03 スポーツ・レクリエーションの振興 基本事業③ 活動機会の提供	1	各種大会等参加者数	人	7,616	7,576	7,700	目標	8,200	8,100	7,900	7,800	7,700
							実績	659	2,173	3,144	3,554	3,897
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策03 スポーツ・レクリエーションの振興 基本事業④ 選手の育成強化	1	大規模な大会の成績	人	35	37	40	目標	40	40	40	40	40
							実績	17	20	52	43	33
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策03 スポーツ・レクリエーションの振興 基本事業⑤ スポーツ環境の整備	1	体育施設等利用者数	人	370,203	424,835	435,000	目標	461,000	455,000	448,000	442,000	435,000
							実績	250,013	257,097	274,097	303,375	337,193
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策04 文化の振興	1	芸術文化に関する市民満足度	点	39	41	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	42	-	42	39	37
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策04 文化の振興 基本事業① 芸術文化の推進	1	市民文化会館利用者数	人	-	54,271	60,000	目標	56,181	57,136	58,091	59,046	60,000
							実績	13,962	25,099	37,721	46,256	31,424
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策04 文化の振興 基本事業② 文化財の保存と活用	1	文化財活用事業参加者数	人	1,842	10,569	12,000	目標	11,047	11,286	11,525	11,764	12,000
							実績	5,973	8,630	9,651	9,698	8,790
	2	指定文化財継承件数	件	122	127	127	目標	128	128	129	127	127
							実績	127	128	127	127	127
基本施策VI 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 施策04 文化の振興 基本事業③ 市史の継承	1	市史の作成件数	件	16	17	19	目標	18	18	19	19	19
							実績	18	18	18	18	18

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策01 行財政運営の効率化	1	①システム運用	業務	47	61	63	目標	63	63	63	63	63
							実績	62	63	63	63	63
	2	②実質公債費比率	%	12	10	9	目標	11	9	9	9	9
							実績	8	8	9	10	10
	3	③財政調整基金残高	百万円	8,668	6,863	3,854	目標	5,216	3,854	3,854	3,854	3,854
							実績	6,349	7,114	6,742	6,030	5,053
	4	④職員数	人	640	612	570	目標	602	594	586	578	570
							実績	603	610	603	606	604
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策01 行財政運営の効率化 基本事業① 各システムの導入・運用	1	システム運用	業務	47	61	63	目標	63	63	63	63	63
							実績	62	63	63	63	63
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策01 行財政運営の効率化 基本事業② 行財政改革の推進	1	実質公債費比率	%	12	10	9	目標	11	9	9	9	9
							実績	8	8	9	10	10
	2	財政調整基金残高	百万円	8,668	6,863	3,854	目標	5,216	3,854	3,854	3,854	3,854
							実績	6,349	7,114	6,742	6,030	5,053
	3	職員数	人	640	612	570	目標	602	594	586	578	570
							実績	603	610	603	606	604
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策02 市民との情報の共有	1	市民意識調査における市政への関心度のうち「広報を読んでいる」割合	%	93	91	95	目標	95	95	95	95	95
							実績	93	-	88	94	91
	2	ホームページ及びソーシャルメディアのアクセス件数	万件	93	263	349	目標	292	306	321	335	349
							実績	807	321	339	318	352
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策02 市民との情報の共有 基本事業① 広報の充実	1	市民意識調査における市政への関心度のうち「広報を読んでいる」割合	%	93	91	95	目標	95	95	95	95	95
							実績	93	-	88	94	91
	2	ホームページ及びソーシャルメディアのアクセス件数	万件	93	263	349	目標	292	306	321	335	349
							実績	807	321	339	318	352
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策02 市民との情報の共有 基本事業② 広聴の充実	1	ホームページ及びソーシャルメディアのアクセス件数	万件	93	263	349	目標	292	306	321	335	349
							実績	807	321	339	318	352
	2	市民意識調査における市政への関心度のうち「市民の要望・苦情に答えている」とする割合	%	29	32	37	目標	37	37	37	37	37
							実績	59	-	40	28	43
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策02 市民との情報の共有 基本事業③ 情報の公開	1	情報公開度ランキング（全国オンブズマン会議）	位	59	49	-	目標	70	-	-	-	-
							実績	-	-	-	-	-
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策03 行政の質的向上	1	職員研修の達成度	%	-	85	90	目標	90	90	90	90	90
							実績	88	90	89	91	82
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策03 行政の質的向上 基本事業① 職員研修の充実	1	職員研修の達成度	%	-	85	90	目標	90	90	90	90	90
							実績	88	90	89	91	82

基本施策・施策・基本事業	指標	成果指標名	単位	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)	各年度の目標値及び実績値					
								R2	R3	R4	R5	R6
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策04 民間活力とICTの活用	1	ICTの導入数	件	-	-	115	目標	-	-	93	115	115
							実績	-	-	50	85	115
	2	指定管理者制度運用指針における総合評価	点	-	-	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	61	60	60	61	61
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策04 民間活力とICTの活用 基本事業① アウトソーシングの推進	1	指定管理者制度運用指針における総合評価	点	-	-	60	目標	60	60	60	60	60
							実績	61	60	60	61	61
基本施策Ⅶ 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進 施策04 民間活力とICTの活用 基本事業② 新たなICTの活用	1	ICTの導入数（達成率）	件	-	-	115	目標	-	-	93	115	115
							実績	-	-	50	85	115

# 令和6年度事務事業評価

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績							
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6	
1 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成																
(1) 災害に強い都市間道路交通ネットワークの形成																
(2) 安全で地域の活力向上につながる道路及び河川整備の推進																
1	崎山松月線道路改良事業	建設課	継続	H25	R10	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度及び令和元年度において、異常気象時に被災した路肩の改良工事を実施。</li> <li>令和元年東日本台風により、計画区間外の本路線の一部において道路崩落の被害が発生したため、本事業区間施工時の迂回路として想定していた箇所が通行不可となった。</li> <li>令和3年度において、東日本台風被災箇所は復旧となり、国道45号交差点部の工事に着手した。</li> <li>令和6年度に国道45号交差点部の工事が完了した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸国道事務所と協議を重ね、国道45号交差点部の工事の進捗を図る。</li> <li>年度配分を増額し、R10年度の完成を目指す。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業進捗率（事業費）	千円	目標	1,520,014	1,520,014	1,520,014
											実績		609,773	746,167	917,014	
										2			目標			
											実績					
2	閉伊川水門取付道路整備事業	建設課	継続	H24	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県による閉伊川水門整備事業について、令和元年12月に事業期間の延長と事業費の見直しの説明があった。</li> <li>令和元年12月20日に議員全員協議会にて説明。令和2年1月16日に市民説明会実施。</li> <li>閉伊川水門管理橋への取り付け道路について、市道として供用するため、4mから6mへ拡幅するよう県に対して要望。</li> <li>拡幅による事業費増し分については、市が負担することとした。</li> <li>令和4年3月17日付けで負担金基本協定及び令和3年度協定を締結。（R3～R8 全体額：114,305千円）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県に対し、1日も早い閉伊川水門の整備について働きかけていく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業進捗率（負担金支出実績）	千円	目標	164,305	164,305	164,305
											実績		3,081	3,246	19,746	
										2			目標			
											実績					
3	田鎖老木線外1路線（牛伏地区）道路改良事業	建設課	継続	R3	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年2月に牛伏地区自治会より、本路線の整備要望があった。</li> <li>令和3年度は住民説明会及び予備設計を実施。</li> <li>令和4年度は、牛伏線の詳細設計を実施。</li> <li>令和5年度は、牛伏線流末水路にかかる用地測量及び補償調査を行った。</li> <li>令和6年度は、用地測量及び道路詳細設計を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の計画にあたって、効率的かつ効果的な改修内容を検討する。</li> <li>地域住民及び地権者の意見を取り入れながら実施設計をまとめていく。</li> <li>令和7年度は用地取得、物件移転補償契約を進める。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業進捗率（事業費）	千円	目標	429,972	429,972	429,972
											実績		17,820	32,164	43,472	
										2			目標			
											実績					
												目標				
												実績				

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
4 和井内地区道路改良事業	建設課	継続	H28	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道340号和井内工区が平成30年12月供用開始</li> <li>・国道340号和井内工区の供用開始に伴い、令和元年12月に旧道区間について県から市へ引き渡し。(旧道区間について市道永田清水線として令和元年6月21日市道認定)</li> <li>・令和5年度に第2工区(古館橋から旧和井内小学校側) L=110mの整備が完了した。</li> <li>・令和6年度は第1工区の一部に着手、物件等移転補償を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移設補償物件において建物があることから、円滑な移転ができるよう配慮する。</li> <li>・令和3年度から地権者交渉を実施。8地権者のうち7地権者契約済み。</li> <li>・令和4年度から用地取得・物件補償完了箇所から工事に着手。</li> <li>・令和5年度は狭隘な箇所の拡幅工事L=110mに着手。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業進捗率(事業費)	千円	目標	215,395	215,395	215,395
										実績		68,220	88,893	135,395	
									2	目標					
										実績					
5 近内岩船線道路改良事業	建設課	継続	R1	R13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近内地区区画整理事業区域から岩船地区の区間について、長根岩船線道路整備事業(H13-R1)として整備を進めてきた。</li> <li>・本事業は長根岩船線道路整備事業区間から延長した岩船集落の生活道路区間を整備するもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道が狭く、移転補償物件もあることから、施工時の交通の確保等、支障がないよう施工計画を策定する。</li> <li>・令和4年度で用地交渉は完了。</li> <li>・他事業を優先し、令和7年度まで一時休止する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業進捗率(事業費)	千円	目標	446,855	446,855	446,855
										実績		99,786	139,856	139,856	
									2	目標					
										実績					
6 松山線道路改良事業	建設課	継続	H19	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本路線の起点側の一部用地について、地権者間の用地境界争いが解決不能となり、用地取得を断念し、計画線形の見直しを余儀なくされた。</li> <li>・用地取得不可の区域を避けるよう新たな線形区間を計画した。</li> <li>・他事業を優先し、令和7年度まで一時休止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業期間が長期化していることから、事業の進捗を図る必要がある。</li> <li>・令和3年度は、用地取得難航箇所を避けた計画区間の用地調査、測量設計を実施した。</li> <li>・令和4年度は、修正後の用地測量調査と設計、用地取得交渉を行った。</li> <li>・令和5年度は用地取得・移転補償契約手続きを進め、改良工事に着手。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業進捗率(事業費)	千円	目標	811,340	811,340	811,340
										実績		453,961	475,247	491,340	
									2	目標					
										実績					
7 岩穴線(平片地区)道路改良事業	建設課	継続	R4	R13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新市基本計画事業、令和3年度より事業着手予定であった。</li> <li>・令和4年度は測量設計を実施。</li> <li>・令和5年度より一時休止している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画区間が長大かつ、事業費も増大であることから、他の事業の計画や全体事業費を勘案し、事業計画を策定する。</li> <li>・他事業を優先し、令和7年度まで一時休止する。(和井内地区道路改良事業に引き続き実施)</li> </ul>	休廃止/ 終了	縮小	1	事業進捗率(事業費)	千円	目標	780,000	780,000	780,000
										実績		9,548	9,548	9,548	
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
8 私道整備補助事業	建設課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の生活環境と利便性の向上を図ることを目的として、平成20年度より補助制度施行。</li> <li>・令和元年度より、私有地の私道だけでなく、法定外公共物（赤線）の整備についても交付対象とし、補助率及び補助上限額を見直した。（私道：1/2、法定外公共物：3/4、補助上限額：200万円）</li> <li>・令和元年東日本台風による私道や生活橋への被災が多発したことから、災害復旧に要する費用も補助対象とし、一部補助要件の緩和と補助率を見直した。（災害復旧の場合、補助率：100%、補助上限額：200万円）</li> <li>→台風災害にかかる補助要件の拡大等については、令和3年度交付決定分で終了</li> <li>・物価高騰に伴う工事費の増加や負担率の是正のため、R6年度より上限額を引き上げ（私道：300万円 法定外公共物含：450万円）るとともに、補助率の引き上げる（私道：2/3、法定外公共物含：3/4）要綱の改正を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助制度の周知を図りながら、制度を継続していく。</li> <li>・平成28年台風10号、令和元年台風19号による補助要件の緩和等の特例は令和3年度交付決定分で終了。（一部9件については、年度内に工事未完了につき令和4年度へ繰越）</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	交付決定件数（通常）	件	目標	3	3	3
												実績	6	3	16
									2	交付決定件数（令和元年台風19号）	件	目標	8	-	-
												実績	8	-	-
									3	交付決定件数（平成28年台風第10号）	件	目標	1	-	-
												実績	1	-	-
									4			目標			
												実績			
9 藤原海岸線道路改良事業	建設課	継続	R6	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県で整備を進めている閉伊川水門は令和8年度完成予定である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉伊川水門の整備進捗に合わせて、当該市道の整備を実施する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業進捗率（事業費）	千円	目標	-	-	71,000
												実績	-	-	8,514
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
10 水産学校線道路改良事業	建設課	継続	R5	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県において、宮古商工高等学校敷地内に、商工高校、水産学校の校舎を併設建設する事業を進めている。（令和4年度：設計、令和6年度～令和8年度：建設工事、令和9年度供用開始予定）</li> <li>・商工高校、水産高校の新校舎供用開始時期に併せて、本事業の完了を目指す。</li> <li>・令和6年度でL=121.2mの道路改良が完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施にあたっては、高校通学生徒等歩行者の安全確保に配慮した設計に努める。</li> </ul>	休廃止/ 終了	-	1	事業進捗率（事業費）	千円	目標	-	-	19,276
												実績	-	-	19,276
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
11 道路舗装事業	建設課	新規	R6	R6	・市道認定及び住民要望により実施 ・近内地区、重茂館地区、神林地区の未舗装 区間を整備	・令和6年度は2路線（里団地2号線、横川橋 線）について舗装工事を行った。 ・令和7年度は神林地区実施。	現状維持	現状維持	1	事業進捗率（事業 費）	千円	目標	-	-	20,000
												実績	-	-	19,775
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
12 田老総合事務所道路維持 車両更新事業	田老総合事 務所	新規	R6	R7	納期が長期となると見込まれることから、仕 様書を作成し、発注する。	降雪前に納入するよう、仕様書を早期に作成 する。	現状維持	現状維持	1	車両の更新	台	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
13 道路維持事業	建設課	継続	R2	R8	・定期パトロールや、地域からの通報などで 損傷箇所を把握し、補修工事を実施してい る。 ・郵便局との包括協定により、道路異常個所 の情報提供を受け対応している。 ・LOGOフォームを活用した道路損傷通報サー ビスを運用開始した（R4運用開始）。	・損傷箇所について、道路利用状況等を踏ま え、効率的かつ効果的な補修方法等を検討し ながら、速やかに補修対応を図る。	現状維持	現状維持	1	事業実績（年度毎 事業費）	千円	目標	130,000	130,000	130,000
												実績	129,925	115,712	287,261
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
14 道路維持事業（川井地 域）	川井総合事 務所	継続	R3	R10	令和6年度は、市道達首部沢線、末角寺倉沢 線及び黒沢線の道路維持修繕工事を実施。	限られた予算の中で、優先順位をつけて修繕 工事を行っている。	現状維持	現状維持	1	構造物補修・路面 補修	m	目標	200	200	200
												実績	135	54	279
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
15 道路維持管理事業（舗装補修・災害防除）	建設課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度においては、令和元年東日本台風による災害復旧事業を優先したため、令和元年度実績は低迷した。</li> <li>令和2年度への繰越が多額と見込まれたことから、令和2年度現年度予算は計上しなかった。（令和2年度実績は令和元年度からの繰越予算によるもの）</li> <li>令和5年度から川井地区分の事業を統合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、老朽した舗装の改修工事や、崩落の危険性のある法面保護等の工事を進めていく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業実績（事業費）	千円	目標	24,000	37,000	42,000
												実績	13,970	37,059	28,571
									2			目標			
												実績			
16 道路施設等長寿命化修繕事業	建設課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度において、橋梁、トンネル、横断歩道橋の長寿命化修繕計画を策定。</li> <li>各施設について、5年に1回の法定定期点検を実施。</li> <li>令和4年6月にて、橋梁、トンネル、横断歩道橋長寿命化修繕計画の改訂を行った。（国が示す計画に記載すべき事項の整理、計画期間内の修繕対象橋梁の整理）</li> <li>令和5年度より川井地区分の事業と統合する。</li> <li>橋梁、トンネルの2巡目点検の結果を踏まえ、令和6年12月に長寿命化修繕計画の改定を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則、長寿命化修繕計画に沿って、補修工事を進めていくが、年度毎の補修箇所数や事業費に偏りが生じないように、事業の進捗に応じて見直しを図りながら実施していく必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業実績（橋梁補修）	箇所（施設数）	目標	7	7	8
												実績	10	7	3
									2	事業実績（トンネル補修）	箇所（施設数）	目標	3	3	2
												実績	3	0	2
17 街灯・道路照明LED化事業	建設課	継続	R3	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年、街路灯及び道路照明の修繕を実施するとともに、地元自治会等からの要望により街灯新設を行っている。（R6.3.31時点 LED契約数：4,324、蛍光灯、水銀灯等：2,550、合計：6,874（LED化率62.9%））</li> <li>2021年以降、水銀灯の製造・輸入が中止され、蛍光灯についても生産縮小されている。</li> <li>令和4年度から令和6年度は、県補助（クリーンエネルギー導入支援事業費補助金）を活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的かつ短期間にLED化することにより、光熱水費の抑制と、街路灯等施設の長寿命化を図る。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	照明灯LED化率	%	目標	37	38	57
												実績	42	47	63
									2			目標			
												実績			
18 交通安全対策事業	建設課	継続	R3	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28に「宮古市交通安全プログラム」を策定。R3から、学校関係者、警察署、各道路管理者等で通学路等危険箇所合同点検を実施。</li> <li>R4からの当面の事業については、市内小中学校の通学路上において側溝蓋が無く危険である箇所への側溝蓋設置や、登下校時に暗くなっている箇所について防犯灯設置及び設置のための専用柱の設置工事等を行っている。（R6実績：側溝蓋設置工事、防犯灯設置工事、牛伏橋道路照明改修工事）</li> <li>千徳小学校前交差点について、令和5年度において、県警による信号機の設置と道路管理者（市）において右折レーンと防護柵を設置した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の合同点検では16か所の危険箇所を洗い出した。令和5年度からの繰越箇所6箇所を含め22か所のうち、10箇所において対策を講じた。（国道、県道、警察対応箇所も含む）</li> <li>残り12箇所は、令和7年度以降に対策実施予定。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対策実施箇所数	箇所	目標	40	21	20
												実績	30	17	8
									2			目標			
												実績			
18 交通安全対策事業	建設課	継続	R3	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28に「宮古市交通安全プログラム」を策定。R3から、学校関係者、警察署、各道路管理者等で通学路等危険箇所合同点検を実施。</li> <li>R4からの当面の事業については、市内小中学校の通学路上において側溝蓋が無く危険である箇所への側溝蓋設置や、登下校時に暗くなっている箇所について防犯灯設置及び設置のための専用柱の設置工事等を行っている。（R6実績：側溝蓋設置工事、防犯灯設置工事、牛伏橋道路照明改修工事）</li> <li>千徳小学校前交差点について、令和5年度において、県警による信号機の設置と道路管理者（市）において右折レーンと防護柵を設置した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の合同点検では16か所の危険箇所を洗い出した。令和5年度からの繰越箇所6箇所を含め22か所のうち、10箇所において対策を講じた。（国道、県道、警察対応箇所も含む）</li> <li>残り12箇所は、令和7年度以降に対策実施予定。</li> </ul>	現状維持	現状維持	3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績											
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6					
													目標	実績	目標	実績	目標	実績		
19 道路維持車両等更新事業	建設課	継続	R5	R12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路維持作業、パトロール及び道路除雪作業に必要な車両、重機について、耐用年数等に応じて計画的に更新を行うため、計画を策定した。</li> <li>・令和4年度は、道路維持作業車（宮古）を1台購入した。</li> <li>・令和5年度は、除雪グレーダ（宮古）を1台購入した。</li> <li>・令和6年度は、4tローダダンプを購入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各車両の耐用年数や、老朽の度合いを踏まえ、道路維持業務に支障をきたさないよう、更新を行っていく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	車両更新台数	台	目標	-	2	1					
												実績	-	1	1					
									2			目標								
												実績								
20 河川環境整備事業	建設課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年東日本台風に伴い、市内各地の河川に土砂が堆積、護岸損傷などの被害が発生した。</li> <li>・令和元年東日本台風に関連する浚渫は令和4年度まで、護岸等河川改修は令和3年度までの期間において実施。</li> <li>・来るべく台風等の被害軽減のため令和6年度も浚渫および護岸整備をおこなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年東日本台風に伴い、市内各地の河川に土砂が堆積、護岸損傷など被害が発生しており、土砂の撤去や損傷個所の復旧について、2～3年程度の期間を要する見込みである。</li> <li>・被害の程度が大きい箇所や、台風・豪雨等により災害が発生しやすいか所有優先的に実施し、次の災害での被害抑制を図る必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	浚渫河川数	箇所	目標	61	15	15					
												実績	14	24	22					
									2	護岸改良河川数	箇所	目標	5	5	5					
												実績	7	13	6					
21 浸水対策事業	建設課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の浸水常襲地区及び平成28年台風第10号にて大規模な浸水被害が発生した地域について、被害状況、原因等の調査を実施。下水道区域内の内水対策事業（上下水道部）と事業調整を図り、宮古市浸水対策計画の策定を進めてきた。</li> <li>・令和4年2月において、宮古市雨水対策施設整備の検討結果と今後の施設整備計画について、市議会に説明を行った。</li> <li>・令和6年度は津軽石地区の排水施設整備をおこなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今発生している台風等豪雨災害に備え、甚大な被害が想定される地区を優先的に、令和4年2月に策定した施設整備計画に基づき、事業の推進を図る。</li> <li>・田鎖地区、津軽石地区の2地区を優先的に整備していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対策済地区数	地区数	目標	2	4	4					
												実績	0	0	0					
									2			目標								
												実績								
22 三陸鉄道経営強化支援事業	公共交通推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸鉄道が負担すべき費用に対し支援を行うことで、安全運行及び持続的な運営の確保が図られた。引き続き、支援していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎を含めた鉄道施設の老朽化が見られる。県、沿線市町村で計画的に改修を実施していく。</li> </ul>	現状維持	拡充	1	三陸鉄道の市民1人当たりの年間利用回数	回/人	目標	4	4	4					
												実績	4	4	5					
									2	計画期間中の事故件数	件	目標	-	-	-					
												実績	-	-	-					
																				3

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
23 三陸鉄道支援事業	公共交通推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2、R3は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、団体利用を中心に大幅に利用者が減少した。</li> <li>・R2からR5まで、コロナ感染拡大に伴い、県と沿線自治体による運行支援を実施。</li> <li>・R6から、旧山田線（宮古～釜石間）の運行に係る維持経費に対する支援が発生していることから、事業費が増えている。</li> <li>・R6から、本事業とは別に、新たに「三陸鉄道経営安定化交付金」により支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行経費の増加もあり、厳しい経営状況にある。経営状況の改善が必要である。</li> <li>・利用促進を図り、運賃収入の確保に取り組む。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	三陸鉄道の市民1人当たりの年間利用回数	回/人	目標	4	4	4
												実績	4	4	5
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
24 鉄道利用促進事業	公共交通推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR山田線の市内イベントに合わせた臨時列車の運行への支援を行った。</li> <li>・定期券等への助成により日常利用者の利用促進を図った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者が大幅に減少している。</li> <li>・山田線の収支公表を受け、沿線首長会議を設置した。県、盛岡市、JR盛岡支社とワーキンググループを開催し、利用促進策の検討を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR山田線のツアーに対する支援及び日常利用者への助成により利用促進を図っているが、利用者数は目標値に達していない。更なる利用促進のため、実効性の高い利用促進策を検討する必要がある。</li> <li>・沿線住民のマイレール意識の醸成。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	JR山田線の市民1人当たりの年間利用回数	回	目標	2	2	2
												実績	0	1	1
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
25 公共交通利用環境整備事業	公共交通推進課	継続	R2	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度のマスタープラン及び基本構想において、宮古駅周辺と八木沢・宮古短大駅を重点地区に設定。</li> <li>・宮古駅バリアフリー化及び八木沢・宮古短大駅アクセス路の整備を特定事業とした。</li> <li>・宮古駅は既存跨線橋へのエレベーター棟の接続とし、令和6年3月に供用開始した。</li> <li>・八木沢・宮古短大駅は、踏切整備による平面交差として整備方針を決定。令和7年度工事予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八木沢・宮古短大駅工事に係る財源の確保のため、所要の計画変更を行う。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	宮古駅跨線橋のバリアフリー化	式	目標	0	1	1
												実績	0	1	1
									2	八木沢・宮古短大駅アクセス路整備	式	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
26 生活交通（バス）路線維持事業	公共交通推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスへの運行支援を行うことで、市民の移動手段の確保が図られた。</li> <li>・廃止代替路線：5路線（岩船線、田代線、八木沢団地線、松山線、長沢六組線）</li> <li>・不採算路線：32路線</li> <li>・利用者数はR5以降回復傾向が見られている。しかし、燃油高騰等により運行経費は上昇しており、厳しい経営状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や時間帯によっては、利用が著しく少ない路線がある。路線ごとの利用状況や他路線との関係、幹線交通との接続状況に留意し、より効率的な手法への移行も視野に入れた検討を行う。</li> <li>・更なる利用促進のため、実効性の高い利用促進策を検討。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	岩手県北バスの市民1人当たりの年間利用回数	回	目標	18	19	19
												実績	17	21	21
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
27 路線バス利用促進事業	公共交通推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県北バスが実施する路線バスツアー、PRチラシ等の作成への補助を実施。</li> <li>・地域連携ICカード普及促進事業として、チャージ時のポイント付与、高齢者エリア定期券の経費に対する補助を実施。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者は大幅に減少した。令和5年度はコロナ禍前の水準を上回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の影響により通学定期券の利用が減少。公共交通を取り巻く状況は依然厳しい状況にある。引き続き、岩手県北自動車と連携し、利用促進を実施する必要がある。</li> <li>・高齢者エリア定期券は導入から4年が経過することから、事業検証を行う。</li> <li>・iGUCAの普及促進事業を行っているが、バス利用者の大半がiGUCA利用に移行したことにより、事業検証を行う。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	岩手県北バス市民1人当たりの年間利用回数	回	目標	18	19	19
												実績	17	21	21
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
28 新里地域バス運行事業	新里総合事務所	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の利用者数は3,867人、このうち診療所利用者数は2,205人で57.0%を占めている。</li> <li>・利用者数を前年度と比較すると486人減（診療所利用者91人減）の状況である。通院需要にはそれほど変化はないものの、総計で見るとコロナ禍の影響による利用者数減が回復していない状況である。</li> <li>・路線別では和井内線1,903人（49.2%）、刈屋線528人（13.7%）、臺目線549人（14.2%）、腹帯線476人（12.3%）、茂市臺目線27人（0.7%）、臺目川井線384人（9.9%）の状況でほぼ横ばいの比率である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度には刈屋地区より刈屋線の路線変更について要望があり、10月1日から路線変更し、地域住民の利便性向上を図った。</li> <li>・JR山田線、JRバス岩泉茂市線、岩手県北バスの公共交通を軸に、地域住民の利用しやすい地域バス運行とするため、利用状況や要望を把握し、事業に反映してまいりたい。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	バス輸送人員	人	目標	5,100	5,100	5,100
												実績	4,595	4,353	3,867
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
29 川井地域バス車両更新事業	川井総合事務所	継続	R2	R6	令和5年度納車予定であったが、納期延長となり、令和6年4月30日に納車された。	老朽化した車両をが更新され、安全かつ経済的な運行を行うことができる。	現状維持	現状維持	1	川井地域バス車両更新	台	目標	-	1	-
												実績	-	0	1
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
30 川井地域バス運行管理事業	川井総合事務所	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年11月より患者輸送バスを地域バス（やっほう号）として運行開始。患者のみでなく地域住民の足として運行。</li> <li>・やっほう号の運行開始に合わせ、川井地域バスの使用料を1乗車100円に改正。</li> <li>・通勤、通学、通院、買い物など、地域住民のニーズを支えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー、幹線バス、鉄道などと相互に補完し合う体制を構築する。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	利用者数	人	目標	5,000	8,000	8,000
												実績	5,338	8,135	6,702
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
31 地域間バス運行維持事業	公共交通推進課	継続	R3	R11	<p>【106急行バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3の宮古盛岡横断道路の開通にあたり、106急行バスの運行が見直されたところ。</li> <li>・各駅便は国庫補助路線として運行。各駅便は特急便に比べ掛かり増し経費が発生することから、国庫補助充当後の事業者負担分について支援。（R5、R6は欠損額を国庫補助で賄えたことから、市の負担なし）</li> </ul> <p>【田老小本線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県北自動車から利用の少ない田老～小本間について路線短縮の申し出あり。</li> <li>・関係者協議の結果、路線再編を実施。路線を分割のうえ、田老小本線を新設。</li> <li>・国庫補助充当後の事業者負担分について岩泉町と協調して支援。（R6から）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が減少すると、106バス各駅便の運行が減便される可能性がある。運行便数を維持するため、運行支援と併せ、利用促進を図っていく必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	106急行バスの各駅便の運行回数	回	目標	5	5	5
												実績	5	5	5
									2	田老小本線の運行回数	回	目標	-	-	3
												実績	-	-	3
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
32 広域生活路線運行維持事業	公共交通推進課	継続	R3	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助路線「和井内線」の路線短縮により、新里地域バスを運行。宮古～茂市間は「茂市線」として、県との協調補助により路線を維持。（R2.10月～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県単補助の要件は、平均乗車密度4人以上である。要件割れとならないよう、バス事業者と連携し生産性向上に取り組む。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	広域路線の運行便数	便	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
33 新里地区地域交通補完事業	新里総合事務所	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の輸送人数は472回578人で、令和5年度実績523回666人と比べ51回88人下回った。主な減少の要因は診療所までの利用が減少したことによるが、これは令和5年度にあった新型コロナワクチン接種のタクシー送迎利用がなくなったことに起因するものと分析する。</li> <li>・利用者の75.4%が高齢者、うち女性が73.2%を占め高齢女性の利用率が高い。</li> <li>・降車場所は自宅が50.0%、診療所が19.2%、商店等11.4%、バス停・駅が11.2%となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー、地域バス、デマンドタクシーの利用状況を注視しながら、それぞれの交通機関を連携させ新里地域内の利用しやすい交通体系の構築に務める。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	タクシー利用者数	人	目標	630	630	630
												実績	773	666	578
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
34 川井地区地域交通補完事業	川井総合事務所	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の利用がほとんどであり、地区内での移動や通院、買い物、諸手続きでの利用が多い</li> <li>・R6は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種者送迎運行の終了により利用者が減少した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域バスの運行を柱に、山間部や歩行困難者及び交通空白地へのタクシー事業の展開を図る</li> </ul>	拡充/改善	-	1	利用者数	人	目標	1,800	1,800	1,800
												実績	1,823	1,689	964
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績										
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6				
(4) 港湾機能の整備と充実																			
(5) 情報通信基盤の充実																			
35	携帯電話不感地域解消事業	企画課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来エリア外地域の他、立丸峠や押角峠など新たに整備された道路においても不感エリアがあることから引き続き整備について県と連携し、携帯事業者に働きかけを行う。</li> <li>・KDDIは2024年にSMSなどのテキストメッセージ送信、2025年から音声通話とデータ通信サービス提供を予定していることから、市内エリア外の事業者独自の整備についても動向を見ながら利用可能世帯100%を目指す。</li> <li>・居住エリアについては、各事業者の補助事業への参画を得られない状況が続いているが、事業者による自主整備が進んでおり把握している居住地におけるエリア外は解消される見込みである。</li> </ul>	現状維持	-	1	携帯電話不感エリアの路線整備数	路線	目標	-	-	-				
												実績	-	-	-				
												2	目標						
													実績						
												3	目標						
													実績						
												4	目標						
													実績						
36	情報通信基盤施設維持管理事業	川井総合事務所	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難視聴解消、地域の情報通信の基盤施設として安定的な運用ができるよう施設の維持管理を実施した。▼インターネットは芯線をNTTに貸し出している。加入者である地域内一般家庭・事業所は個別契約を行うものであるが、道の駅（やまびこ館、区界高原）ではフリーWiFiが展開されており公益性もある。</li> </ul>	現状維持	拡充	1	光ケーブルの総延長	m	目標	150,900	150,900	150,900				
												実績	150,900	150,900	150,900				
												2	目標	5	5	5			
													実績	5	5	5			
												3	目標						
													実績						
												4	目標						
													実績						
37	コミュニティエフエム施設保守事業	企画課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の状況調査、更新機器の優先順位を精査し、適切な維持管理を行った</li> <li>・機器トラブルによる停波（放送事故）の発生はなかった。</li> <li>・令和2年度から改修に向けた検討会（市、放送事業者、保守管理事業者）を開催している。（年3回開催）</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	重大事故発生件数	件	目標	0	0	0				
												実績	0	0	0				
												2	目標						
													実績						
												3	目標						
													実績						
												4	目標						
													実績						

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
(6) 賑わいのある市街地の形成															
38 市道末広町線無電柱化推進事業	建設課	継続	H30	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度 市道末広町線整備基本計画策定協議会を組織。</li> <li>令和元年度 第7期無電柱化推進計画(H30~R2)に位置づけ。</li> <li>令和2年度 整備基本計画を策定。</li> <li>令和2年度 宮古市無電柱化推進計画に位置づけ。</li> <li>令和2年度 詳細設計を実施し、令和6年4月の供用開始を目指し整備を進める。</li> <li>令和2年度 電線共同溝整備工事の第1工区分を契約。令和3年度に完了。</li> <li>令和2年度から地上機器を設置するための用地交渉を実施し、令和3年度に用地購入完了。</li> <li>令和3年度 電線共同溝整備工事の第2工区、第3工区を契約。令和5年度に完了。</li> <li>令和4年度 電線の入線・支柱工事に関する電線事業者との調整により事業スケジュール見直し。(令和7年4月供用開始予定)</li> <li>令和4年度 電線共同溝整備工事の第4工区を契約。令和5年度に完了。</li> <li>令和5年度 舗装工事の第1工区、第2工区を契約。</li> <li>令和5年度 街灯設置工事の第1工区を契約。</li> <li>令和6年度 街灯設置工事の第2工区を契約。</li> <li>令和6年度 舗装工事の第3工区、第4工区を契約。</li> <li>令和6年度 工事完了</li> </ul>	-	休廃止/ 終了	-	1	整備計画に対する整備率	%	目標	75	90	100
												実績	56	91	100
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
39 市道新川町保久田線無電柱化推進事業	建設課	継続	R6	R12	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度 宮古市無電柱化推進計画に位置づけ。</li> <li>令和3年度 第8期無電柱化推進計画(R3~R7)に位置づけ。</li> <li>令和6年度 電線共同溝の整備に関する特別措置法に基づく道路指定</li> <li>令和6年度 既存ストックの有効活用による電線共同溝整備に関する基本協定締結</li> </ul>	-	現状維持	現状維持	1	事業進捗率(事業費)	千円	目標	-	-	5,000
												実績	-	-	0
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績																		
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6												
40 立地適正化計画策定事業	都市計画課	継続	R4	R6	令和4年度 ○まちの現状と課題の整理・分析を実施。 ○協議会・有識者会、庁内検討委員会を組織。 ○市民講演会を開催（101名参加）、市民説明会を8地区で開催（51名参加）。 ○協議会開催（第1回～第3回）、有識者会開催（第1回、第2回）、庁内検討委員会開催（第1回） 令和5年度 ○立地適正化計画の基本方針、誘導区域、誘導施設、誘導施策、防災指針を策定。 ○協議会開催（第4回～第6回）、有識者会開催（第3回～第5回）、庁内検討委員会開催（第2回、第3回） 令和6年度 ○立地適正化計画を策定し令和6年12月27日に決定・公表を行った。 ○協議会開催（第7回～第8回）、有識者会開催（第6回～第7回）、庁内検討委員会開催（第4回） ○市民説明会を8地区で開催（95名参加）、パブリックコメントを実施（意見46件） ○都市計画審議会に案の答申令和6年11月11日	-	-	1	計画策定割合	%	目標	50	86	100													
											実績	7	86	100													
											2	目標															
												実績															
											3	目標															
												実績															
											4	目標															
												実績															
											41 宮古市都市計画基本図更新事業	都市計画課	継続	R5	R7	平成27年以降更新していない都市計画基本図を更新し、最新の状態にする。	計画どおり実施している。	現状維持	縮小	1	都市計画基本図更新（面積）	%	目標	-	30	55	
																							実績	-	30	55	
																							2	目標			
																								実績			
3	目標																										
	実績																										
4	目標																										
	実績																										
42 再開発準備事業	都市計画課	継続	R5	R7	令和5年度 ○基礎的な調査を実施。 ○キャトル店舗棟の解体設計に着手。 令和6年度 ○キャトル店舗の解体設計が完了。 ○解体工事の国庫補助事業が採択。 ○宮古駅前エリア検討業務の受託者をプロポーザルにより決定し検討を開始。	-	現状維持	拡充	1	計画策定割合	%	目標	-	10	40												
												実績	-	10	20												
												2	目標														
													実績														
												3	目標														
													実績														
												4	目標														
													実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
2 活気に満ちた産業振興都市づくり															
(1) 農業の振興															
43 農業振興対策事業	農林課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売を目的とする農業者への補助により出荷生産量の拡大につながると考え、農協系統出荷生産量を指標とした。</li> <li>※指標である「農協系統出荷生産量」は野菜、花卉、果樹の合計値</li> <li>・R6実績においては、農協系統出荷生産量は267.725t[R5:204.965t(R5比=130.62%)]となり指標の目標は達成。</li> <li>・今後、より効果的な支援(地域計画における農業を担う者への重点支援)を組み立てていくことが必要。</li> <li>・R6は、R3からの引き続きで補助率を5分の2を維持。また、申請において、販売先ごとの販売額を確認できる書類を提出することとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者から意見を聴取のうえ、規模拡大志向農業者を重点的に支援する事業について検討し、事業の改善を図る。</li> <li>・環境保全型農業支援事業については、廃プラの処理費軽減を目的に、生分解性マルチのみを対象とすることを検討しているが、農業者からの反対意見もある。</li> <li>≪R6改善検討内容≫</li> <li>・規模拡大志向農業者を重点的に支援する事業への切り替えについて検討する。</li> </ul>	現状維持	縮小	1	農協系統出荷生産量	t	目標	200	200	200
									実績			245	205	268	
									2	目標					
									3	実績					
4	目標														
4	実績														
44 ジビエ利用拡大施設整備事業	農林課	継続	R3	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジビエ処理加工施設整備工事に係る基本設計を実施し、整備場所、施設概要、概算工事費等について検討することができた。</li> <li>・基本設計にあたっては、千葉県茂原市の施設(国産ジビエ認証施設)の視察を行い、設計の参考とすることができた。</li> <li>・経営会議や公共建築物等整備検討会議での審議を重ね、内容を検討することができた。</li> <li>・産業建設常任委員会、新里産業開発公社、宮古市鳥獣被害対策実施隊等への事業説明や協力依頼を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R7は実施設計となることから、基本設計の成果を基に、委託業者や関係機関とより詳細に協議し、工事に向けて十分な準備を行う。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	捕獲頭数(シカ)	頭	目標	1,000	1,200	1,400
									実績			879	933	1,341	
									2	目標					
									3	実績					
4	目標														
4	実績														
45 鳥獣被害防止対策事業	農林課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物被害額は、シカ、イノシシ、ツキノワグマ等の個体数増加により、増加傾向である。(R5:9,755千円)※R6被害額は未算定</li> <li>・実施隊員による有害捕獲を実施しており、捕獲数も増加している。(R6実施隊員:101名、R6捕獲数:1,695頭・羽)</li> <li>・クマ出没や捕獲について、実施隊と連携し被害防止に努めた。(R6目撃:163件、R6捕獲数:11件)</li> <li>・電気柵の補助金について、81件(13,935千円)の申請があり、電気柵対策の普及が図られている。</li> <li>・実施隊による捕獲報告について、R6.4からICT活用機器(スマートフォンアプリ)を導入し、手続きの簡素化や事務の省力化を図った。</li> <li>・クマの出没情報について、R6.4に導入したマップを活用し、具体的な出没場所や過去の出没情報の発信を行った。(HP、LINE等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施隊による捕獲数は年々増加しているが、被害額も増加している状況である。R6に導入したICT活用機器、R7に設置予定の簡易埋設設備、R8に工事予定のジビエ処理加工施設等により、捕獲の効率化や強化を図ることで、被害額の低減に努める。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	宮古市鳥獣被害防止計画の農作物被害額	千円	目標	4,720	4,720	4,720
									実績			8,129	9,755	7,639	
									2	目標					
									3	実績					
4	目標														
4	実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
46 畜産振興事業	農林課	継続	R2	R6	<p>・宮古市酪農・肉用牛生産近代化計画に掲げる飼養頭数の目標を指標として設定したが、生産者の高齢化や子牛市場平均価格の低迷等により、畜産農家の増頭意欲に歯止めがかかり目標を達成できていない状況にある。この現状を打開するため、繁殖素牛の導入及び人工授精に係る費用について支援した。</p> <p>・飼養農家戸数(R6)：黒毛和種55戸、日本短角種21戸、褐毛和種5戸、交雑種1戸</p> <p>・補助対象(繁殖素牛)：黒毛和種14頭(4,140,500円)、日本短角種4頭(854,000円)、褐毛和種2頭 計20頭 3,637,500円(人工授精)：422頭(技術料4,000円×1/2×422頭=844,000円)</p>	<p>世界情勢が不安定な中、今後も燃料、飼料価格等の高騰が想定され、肥育農家の買い控えによって子牛市場価格が下落し繁殖農家の収入の減少が見込まれる。</p> <p>このことから、引き続き畜産農家が安心して生産活動ができるよう人工授精、素牛導入の肉用牛振興策を継続していくことが必要である。</p> <p>なお、支援の方向性としては、1戸あたり20頭以上の規模の経営体については増頭、小規模経営体について現状維持を目標として支援を実施し、目標を達成するよう取り組むこととする。</p>	現状維持	現状維持	1	飼養頭数の目標値	頭	目標	960	960	960
												実績	916	771	545
									2			目標			
												実績			
47 公共牧場利用促進事業	農林課	継続	R2	R6	<p>対象牧野：亀ヶ森牧野、飛山・水沢牧野、東金沢山牧野、宮古市川井地域牧野組合連合会(鈴久名、片栗、大仁田、新田、青松牧野)</p> <p>宮古地区及び田老地区は、放牧頭数に応じて助成。川井地区は、肥料購入費、看視人賃金の2分の1を助成</p> <p>亀ヶ森牧野590千円(59頭)、飛山牧野330千円(33頭)、東金沢山牧野330千円(33頭)</p> <p>宮古市川井地域牧野組合連合会2,726千円(133頭) ※新里牧野26頭(市営牧野として業務委託 委託料3,088千円)</p> <p>・JAが実施する種雄牛6頭の越冬管理業務の経費のうち、飼料代、人件費の2分の1を助成した。</p> <p>・R6放牧頭数284頭/飼養頭数418頭(R7.2.1飼養頭羽数2歳以上)=67.9%</p>	<p>・肉用牛子牛生産が図られるよう、環境面、衛生面での牧野管理が必要であることから、引き続き牧野管理経費に対し助成し、農家の放牧料負担を減らし肉用牛生産に繋げる。</p> <p>・老朽化による給水等の設備修繕、草地更新など牧野の維持管理を要する。</p> <p>・今後、飼料及び燃料高騰により、生産者の負担が増え、放牧利用者が増えることが見込まれることから、飼料費負担減少、放牧頭数増加による優良子牛生産及び地力回復を図るため、放牧利用を促進する。</p>	現状維持	現状維持	1	肉用牛の全飼育頭数(子牛除)うち放牧した割合	%	目標	80	80	80
												実績	72	67	68
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
48 地産地消推進事業	農林課	継続	R2	R6	<p>・農業体験により、生産者と消費者を直接結びつけることができ、地元農産物への関心を高めることができた。</p> <p>・農業体験等の実施が報道されることにより、地元農産物への関心が高まるという副次的効果が得られる。</p> <p>・目標値は受入可能人数を鑑み、田植え30人、稲刈り30人、農作物加工体験15人、農作物収穫体験15人の計90人とした。</p> <p>・5/18田植え(24人)、9/23稲刈り体験(荒天により中止、参加予定者数)(30人)、11/30りんご収穫体験(21人)、3/1ごぼう巻き体験(15人)</p>	<p>・市民が地元農産物について関心を持つような事業の実施が必要。</p> <p>・市民が農業について考えるきっかけとなるよう、生産者の思いや取り組みを消費者に伝える工夫が必要。</p>	現状維持	現状維持	1	農業体験の参加者数	人	目標	90	90	90
												実績	66	73	90
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績															
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6									
49 農業担い手確保対策事業	農林課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農に関する相談は年に10件ぐらいはあるが、実際に就農まで結び付くケースは数件にとどまる。</li> <li>・宮古地方農業振興協議会担い手部会では新規就農希望者向けの相談会や体験会を実施している。</li> <li>・関係機関や団体によるサポート体制は整っており、相談があれば随時関係機関を招集し対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関・団体が連携して相談から研修、就農までのサポート体制を継続して行う。</li> <li>・研修生の受け入れ体制ができている農家が市内では限られており、県と関係団体との連携により受入農家の掘り起こしや、受入農家の認定条件を定めていく。</li> <li>・相談から就農に結びつけるため若者にとって魅力のある職業としての農業を発信していく必要がある。</li> <li>・宮古の支援制度が充実しているという声もあるため、今後は「就農フェア」等のイベントに参加し、県内外の就農希望者への周知に力を入れていきたい。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	新規就農希望者（就農相談者：単年）	人	目標	10	10	10									
												実績	23	13	11									
									2	研修生受入農家・雇用推進農家支援事業者（単年）	経営体	目標	3	3	3									
												実績	4	4	4									
									3			目標												
												実績												
									4			目標												
												実績												
									50 農業相談員設置事業	農林課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区に農業相談員を配置し農業者が相談できる体制は整っているものの、令和6年度の相談件数は0件となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員の再周知のため、令和6年7月1日号広報みやこに掲載した。</li> <li>・新規就農者の育成指導については、各関係機関によるサポート体制が整っており、相談業務内容の見直しが必要である。</li> </ul>	縮小	縮小	1	年間活動時間（5人合計）	時間	目標	200	200	200
																					実績	24	15	0
																		2			目標			
																					実績			
3			目標																					
			実績																					
4			目標																					
			実績																					
51 農業次世代人材投資事業	農林課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国における担い手対策として、経営にリスクを負っている認定新規就農者（市町村長より青年等就農計画の認定を受けた新規就農者）の経営が軌道に乗るまでの間、年間150万円の給付金を交付している。</li> <li>・給付金を受ける者に対しては、農業改良普及センターやJAの関係機関・団体が技術的な指導や経営に関する相談への対応を行っており、経営継続を支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の採択基準が厳格に定められており、就農前から関係機関・団体が連携してサポートする体制が必要である。引き続き、宮古地方農業振興協議会担い手部会員を中心とした組織での対応を強化していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持										1	新規就農者の数（独立自営・単年）	人	目標	3	3	3
																					実績	2	3	1
																		2	認定新規就農者の数（給付金受給者・単年）	人	目標	7	7	7
																					実績	4	4	4
									3			目標												
												実績												
									4			目標												
												実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
52 地域農業計画実践支援事業	農林課	継続	R2	R11	<p>・目標値は、合計が中心経営体数（約130人）となるように年度ごとに按分した値。  ・農業機械導入による省力化や施設の整備に伴い経営規模が拡大している。  【令和5年度実績】  2団体への機械整備等補助：1,080千円  ※導入機械：にんじん選別機、にんじん線上げ機、ハウス用遮光シート、ハウス用小型温風機  ※対象品目等：にんじん、トマト、いちご  【令和6年度実績】  2団体への機械整備等補助：1,467千円  ※導入機械：播種機、土入れ機、ハウス用遮光シート、狭畦用中耕機  ※対象品目等：ブロッコリー、花き、トマト、ピーマン、きゅうり、いちご、キャベツ、白菜</p>	<p>・事業要望調査については、毎年、翌年度分を実施しているが、計画的な機械導入及び施設整備を図るため複数年分を調査し長期的な導入計画を樹立する必要がある。  ・規模拡大志向農業者の事業要望を優先的に採択し、地域農業の核となる中心経営体の育成を図る方向にシフトする必要がある。</p>	現状維持	現状維持	1	受益者数（事業導入農家数）	人	目標	20	20	20
												実績	9	11	14
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
53 耕作放棄地解消事業	農林課	継続	R2	R6	<p>・農作物価格の低迷や農業者の高齢化等によって、年々耕作放棄地が増大し、周辺の優良農地や地域の景観に悪影響を及ぼす事態が発生している。こうした背景にあって、耕作放棄地を再生利用しようとする農業者等も不在であり、事業活用者が目標に達していない。ただし、国の同事業が平成30年度で終了しており、規模拡大を目指し事業の活用を希望する農業者も出てきていることから、今後の活用が見込まれる。</p>	<p>・事業に関して、市HPをはじめ、広報紙やJA広報紙を活用した周知を実施し、農業者等への浸透を図る。  ・市農業委員会との連携により、再生可能な耕作放棄地を把握して規模拡大を図ろうとする農業者等への貸付けを進め、併せて同事業の活用を促進する。  ・農業経営基盤強化促進法の一部改正により、市町村は令和6年度末までに、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るための「地域計画」を策定することとなったため、耕作放棄地解消の動きがより活発になると思われ、次年度以降も必要な予算を確保し継続していく。</p>	現状維持	現状維持	1	耕作放棄地解消面積（年間）	ha	目標	0	0	0
												実績	0	1	0
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
54 機構集積協力金	農林課	継続	R2	R6	<p>・農業の生産性を高め、競争力を強化していくためには、中心経営体等の担い手への農地集積・集約化を加速する必要がある。農地を中間管理機構に貸し付けた個人及び地域を支援することは、農地の集積・集約を加速化するために有効である。事業自体が地域に浸透していないため、令和6年度末までの「地域計画」の策定に向けた取組を進める中で広く周知を図り、目標面積を達成したい。</p>	<p>・農地の借り手が担い手である場合、農地中間管理事業による貸借が可能であるか、協力金の交付対象となるかを確認し、農地中間管理事業による貸借を進めていく。  ・「地域計画」の策定に向けた取組を進める中で、農地の集積・集約化は農地中間管理事業が核となることから、制度の周知を図る。</p>	現状維持	現状維持	1	機構への貸付面積	ha	目標	4	4	4
												実績	2	1	15
									2	機構集積協力金の対象面積	ha	目標	1	1	1
												実績			
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
55 中山間地域等直接支払交付金事業	農林課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落等を単位とする農業者等が地域の特性と将来の農業への方向性を話し合い、協定を作成する仕組み</li> <li>・集落協定12協定72.4ha、個別協定4協定90.5ha</li> <li>・耕作農地面積が狭小で耕作条件が不利な農用地が多くみられる</li> <li>・組織を構成する農業者等の高齢化、後継者不足が深刻な課題となっており、協定維持が困難となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本交付金を活用しながら集落の農業者等が農業を継続できるよう収益性の高い農業の推進を図る</li> <li>・不耕作農地を作らない取り組みとして、比較的條件が良いとされる農地を中心経営体や拡大希望の農業者への集約を図る</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	協定締結農地面積	ha	目標	200	200	200
												実績	163	163	163
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
56 多面的機能支払交付金事業	農林課	継続	R2	R6	<p>活動組織：8→7（令和6年度に1組織減） 各活動組織とも、高齢化が進んでおり、活動及び組織の維持が難しく、活動のをやめることを検討している組織もある。 令和5年度で花輪地区基礎活動組織が活動終了した。 各活動組織からは活動を通して、地域の人たちと話す機会が増えたという報告も見受けられ、地域コミュニティの形成にも役立っていることが伺える。</p>	<p>農地やその周辺の農道の維持には、多面的機能支払交付金による各活動組織は不可欠なので、今後も組織的な活動ができれば支援し、各活動組織と連携し離農等による対象面積の減少に歯止めをかける。</p>	縮小	縮小	1	活動組織を結成した地域の田、畑の面積	ha	目標	200	200	200
												実績	141	142	121
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
57 農業用施設長寿命化事業	農林課	継続	R2	R11	<p>R5、小黒橋の長寿命化工事を実施。 R6、松草橋の長寿命化工事の実施設計を行う。</p>	<p>老朽化度合い等により順序を定めて順次改修を行う。 今後の予定は、R7年度に松草橋長寿命化の工事となる。</p>	現状維持	現状維持	1	揚水ポンプ及び農業用水路の更新等（田鎖地区）に係る工事・業務委託	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									2	橋梁の長寿命化に係る工事・業務委託等の実施	件	目標	-	1	1
												実績	-	1	0
									3	農道の舗装等に係る工事・業務委託等の実施	件	目標	1	-	-
												実績	1	-	-
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績										
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6				
(2) 林業の振興																			
58 公有林造成事業	農林課	継続	R2	R11	<p>■県費（森林整備補助金68%）の配分が見込まれず、ほぼ実施に至らなかった。</p> <p>■市は、作業種別のうち除伐や保育間伐を実施したく、補助金を県に要望している。一方で県は、（記録が確認できた）H28年度以降、同補助金を「人工造林、下刈り及び鳥獣害被害防止施設等整備」以外には配分しないことにしている。理由は、県内全域からの補助金要望額の合計に対して国からの補助決定額が不足しており、優先度が高い作業種別に優先して配分しているため。</p>	<p>■財源確保と事業遂行のために、森林整備補助金以外の補助金活用を検討する必要がある。</p>	拡充/改善	現状維持	1	公有林造成事業	ha	目標	62	62	62				
												実績	24	0	0				
									2			目標							
												実績							
			3				目標												
							実績												
			4				目標												
							実績												
59 分収林保育事業	農林課	継続	R2	R11	<p>■県費（森林整備補助金/補助率68%）の配分が見込まれず、実施に至らなかった。</p> <p>■市は、作業種別のうち除伐や保育間伐を実施したく、補助金を県に要望している。一方で県は、（記録が確認できた）H28年度以降、同補助金を「人工造林、下刈り及び鳥獣害被害防止施設等整備」以外には配分しないことにしている。理由は、県内全域からの補助金要望額の合計に対して国からの補助決定額が不足しており、優先度が高い作業種別に優先して配分しているため。</p>	<p>■財源確保と事業遂行のために、森林整備補助金以外の補助金活用を検討する必要がある。</p> <p>■森林整備事業は、森林経営計画を策定した森林施業のみ補助金の優遇措置が受けられる。市は森林経営計画の策定率が約16%（R5年度末時点）と低いことから、策定を進め整備を促進していく。</p>	拡充/改善	現状維持	1	森林整備面積（分収林）	ha	目標	62	62	62				
												実績	0	0	0				
									2			目標							
												実績							
			3				目標												
							実績												
			4				目標												
							実績												
60 森林整備補助事業	農林課	継続	R2	R11	<p>・県の森林整備事業（森林環境保全直接支援事業等）に対して、市が嵩上げをすることで森林整備を促進した。</p> <p>[施業内容]</p> <p>・人工造林（八木沢 外）：24.11ha（森林組合）</p> <p>・下刈（刈屋 外）：57.01ha（森林組合）</p> <p>・枝打（田老）：0.80ha（森林組合）</p> <p>計 81.92ha</p> <p>・間伐材搬出（宮古木材流通センター外）：3,734,242立米 計 3,734,242立米</p> <p>令和5年度以前は県の森林整備事業（国県補助）に対してのみ嵩上げを実施していた。令和6年度からは、県の森林整備事業の補助対象外年齢について単独補助を行うことで、より一層森林の有する公益的機能の維持及び森林資源の活用を推進し、持続可能な林業経営による林業生産活動の活性化を図っている。</p> <p>・活用率低い。</p> <p>・人手が足りない。</p> <p>計画の精査、実績の精査（測量成果、単価表の適用、県補助との関連性のチェック等）に時間を要する。</p>	<p>・補助事業活用率の向上。</p>	拡充/改善	現状維持	1	森林づくり事業実施面積	ha	目標	150	150	150				
												実績	54	49	82				
									2	森林づくり事業実施面積（間伐材搬出）	立方メートル	目標	1,500	1,500	1,500				
												実績	775	860	3,734				
												目標							
												実績							
												4				目標			
																実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
61 森林山村多面的機能発揮 対策交付金事業	農林課	継続	R2	R11	里山林などの保全管理や山村活性化に取り組む6団体に対し、交付金を交付した。 ・周知の状況 いわて里山再生地域協議会のHPによる告知と、クチコミによる。 ・事業実施面積 23ha・・・添付資料参照	・活動組織を増やすため、森林所有者への呼びかけを行う。 ・活動の周知促進を行うため、他事業やイベントで活動について呼びかける。	拡充/改善	現状維持	1	活動組織数	団体	目標	3	3	3
												実績	3	5	6
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
62 林道施設長寿命化事業	農林課	継続	R6	R11	長寿命化計画に基づき、林道橋の補修に係る実施設計業務委託を行った。 令和6年度 2橋 (①林道豊峰沢線・無名1橋、②林道大鰐谷線無名1橋) 令和6年度は計画どおり実施できた。 事業費については、令和2年度の計画段階では概算であった。実施際には、予算についても設計書を作成するため計画事業費と予算との不一致が生じる。	実施設計を行った翌年度に施工をする計画としているが、令和7年度の工事費予算がっていないため計画を先送りすることとなる。	現状維持	現状維持	1	林業施設長寿命化事業費(単年)	千円	目標	-	-	9,920
												実績	-	-	11,583
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
63 林業成長産業化総合対策事業	農林課	継続	R2	R11	森林経営計画作成に向けた森林所有者との条件整備・地域活動を実施した宮古地方森林組合に対して1haあたり8,000円を上限として補助金を交付した。 宮古地方森林組合では、当初4地区(4協定)を計画した。うち2地区目の協定が不調に終わり、他の地域との調整を行った。 結果として、事業実施面積は全体で200haを超えることとなり、補助対象分を林班単位で調整して196.18haとなった。 補助実績としては計画面積が200haに達しなかったがおおむねの計画値は達成した。 森林経営計画は林班単位での計画であるため、4地区の林班の合計面積がちょうど200haとなるよう調整を行うものである。 単年度事業であり、県の補助金交付決定が8月となるため、事業期間が短い中で、宮古地方森林組合が調整を行い、事業計画変更(縮小)を最小減にとどめた。	今後の事業においても地域事情により対象地区が変更になることが想定されるが、対象面積を確保するよう事業対象者に働きかけを行う。	現状維持	現状維持	1	事業実施面積	ha	目標	200	200	200
												実績	200	68	196
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
64 森林経営管理事業	農林課	継続	R2	R11	<p>▼意向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営管理制度の対象になると思われる森林10,397ヘクタールのうち、令和5年度は488.96ヘクタールの森林所有者に対し森林経営管理意向調査を実施した。</li> <li>・令和6年度は、刈屋地区等林野火災の復旧対応を優先したため実施に至らなかった。</li> </ul> <p>▼現況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度まで意向調査が完了した地区のうち委託意向のある森林の現況調査を実施した。</li> </ul> <p>▼経営管理（施業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・至っていない。</li> </ul>	<p>令和7年度において集積計画の策定業務を委託することとしている。</p> <p>実際の経営管理に先立ち、林業経営体へ委託（斡旋）する民有林、志位が管理する民有林のすみわけを行い、市が管理する民有林の向こう10年間の施業計画を立てて山林所有者を契約をむすぶ段取りを行う。</p> <p>これらの業務委託により事業の進捗を図る。</p>	拡充/改善	拡充	1	年間意向調査面積	ha	目標	760	727	756
									実績			433	489	0	
									2			目標			
									実績						
3			目標												
実績															
4			目標												
実績															
65 林地台帳更新事業	農林課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度、所有者による届出や税務課からの情報等を基に更新作業を実施。</li> <li>・3年毎に法務局からの登記情報及び地図情報を更新するため、該当年度は事業費が増加する。（令和4年度に実施。次回は令和7年度。）</li> <li>・森林の位置、植生及び地形等の確認には森林クラウドシステムを用い、所有者等の確認には林地台帳を用いている。</li> <li>・令和6年度は情報提供の申請が6件あった。5件が個人の土地所有者であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林地台帳は、森林の土地の所有者や林地の境界に関する情報を整備・公表することで、林業事業者による施業の集約化を行いやすくするために整備したものであることから、林地台帳制度についてホームページや窓口等で周知を図りたい。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	閲覧・情報提供申請者数	人	目標	10	10	10
									実績			7	5	6	
									2			目標			
									実績						
3			目標												
実績															
4			目標												
実績															
66 【R6末で休止】地域林政アドバイザー事業	農林課	継続	R2	R11	<p>■R6年刈屋地区等林野火災対応の影響で、R6年度の意向調査は準備にとどまり、実施に至らなかった。</p> <p>■当該委託を発注したことで、林業技術者という専門的立場の者から、市職員に知見・技術が無い下記のような森林・林業行政業務の遂行に有益な指導・助言を受けることができた。</p> <p>1)森林経営管理制度に係る意向調査結果に基づく森林の経営方針 2)市有林の経営管理計画作成における施業方針や作業道の作設箇所 3)森林クラウドシステム（森林簿、林地台帳）、森林GIS等の地図システム系の運用及びメンテナンス</p>	<p>■意向調査に基づく集積計画の作成や森林経営計画作成において、引き続き指導助言を受けることで森林整備を推進していく。</p>	-	-	1	年間意向調査面積	ha	目標	760	727	756
									実績			433	489	0	
									2			目標			
									実績						
3			目標												
実績															
4			目標												
実績															
67 森林作業道維持管理事業	農林課	継続	R2	R11	<p>実施前の現地確認時に施行後に壊れにくい作業道となるよう、水切り（横断溝）の位置及び形状の指導を行った。</p> <p>6年度実績 7件</p>	0	現状維持	現状維持	1	森林づくり事業補助金	件	目標	15	15	15
									実績			20	8	7	
									2			目標			
									実績						
3			目標												
実績															
4			目標												
実績															

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
68 森林作業道開設事業	農林課	新規	R5	R11	実施前の現地確認時に施行後に壊れにくい作業道となるよう、水切り（横断溝）の位置及び形状の指導を行った。 6年度実績 2件	0 現状維持	現状維持	1	森林作業道開設事業補助金	件	目標	-	-	10	
											実績	-	-	2	
								2	目標						
									実績						
								3	目標						
									実績						
								4	目標						
									実績						
69 木材利用促進事業（木質バイオマスストーブ設置事業）	農林課	継続	R2	R11	<p>■令和6年度</p> <p>▼件数 6件のストーブ設置に対し補助金を交付した（うち薪ストーブは5件）。</p> <p>▼製品 海外製の製品の需要が高い。</p> <p>▼備考 リフォームと併せてストーブを設置（新調）する者が1件あった。</p> <p>■過去5年間</p> <p>▼件数 39件のストーブ設置に補助金を交付した（薪34件（87%）、ペレット5件）。</p> <p>▼傾向 年度によりばらつきはあるが、補助件数は減少傾向にある。</p> <p>▼周知 補助金制度についてホームページへの掲載を行った。</p> <p>▼燃料の確保</p> <p>▼需要 令和5年度に補助金活用者を対象として実施したアンケートの結果、薪の調達に区了している者が多い。</p> <p>▼新設 令和5年度から令和6年度にかけて、市内2箇所に薪ステーションが新設された。1件は林業経営体、1件は土木業者による。</p>	周知の拡大が必要である。 ・ホームページ 告知については引き続き行うが、みやっこ木材活用補助金（住宅）と連動した告知の工夫が考えられる。 ・チラシ 補助金チラシを作成の上、販売店への配架が有効と考えられる。 ・薪ステマップ 市内の薪ステーションマップを作成の上、販売店への配架、補助金活用者への配付が有効と考える。	現状維持	現状維持	1	設置台数	台	目標	12	12	12
												実績	11	6	6
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績															
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6									
70 木材利用促進事業（地域木材利用住宅推進事業）	農林課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度からは、リフォームを補助対象に加えたことにより、前年度に比べて補助件数が増加した。</li> <li>（令和5年度：7件、令和6年度：21件）</li> <li>・東日本大震災の被災者を対象とした加算は、令和5年3月31日までに完成した住宅が対象。令和4年度で終了。</li> <li>・令和元年台風19号の被災者を対象とした加算は、令和5年11月11日までに完成した住宅が対象。令和5年度で終了。</li> <li>・令和6年度から、リフォームを補助対象に加えた。また、補助金名称を「みやっこ木材活用事業補助金」に変更し、6款2項1目103（森林環境譲与税活用事業）からの支出とした。</li> <li>・周知については、広報・ホームページで行った。</li> <li>・新築に係る制度活用件数は減少傾向にある。</li> <li>・リフォームについて、同一の施工業者による小規模のリフォームに係る複数申請が目立った。</li> </ul>	<p>地域木材の活用を促進するため、引き続き市広報やホームページ等での周知を行う。</p>	拡充/改善	拡充	1	地域木材補助件数	棟	目標	16	16	16									
												実績	8	7	21									
									2	地域木材補助件数（東日本大震災及び令和元年台風19号の被災者加算分）	棟	目標	5	3	-									
												実績	2	0	-									
									3			目標												
												実績												
									4			目標												
												実績												
									71 しいたけ等特用林産物生産施設整備	農林課	継続	R2	R11	<p>宮古市しいたけ生産地化推進協議会を組織し、その中に地域ごとの生産組合を組織することにより、共同作業による生産規模の拡大に取り組んでいる。専業生産者など主業型の経営体は安定した生産を続けており、一定の成果は現れているが、生産者の高齢化が進んでおり、後継者不足が課題となっている。今年度は刈谷で発生した火災によって、下刈屋しいたけ生産組合の生産者が植菌を行えなかった。</p>	<p>生産者の高齢化による廃業や生産規模縮小が進行しており、後継者の育成なくして生産量の増加は見込めない状況にある。主業型の経営体の育成を目指す担い手育成支援対策の推進も必要であるが、個人経営の枠を超えた経営体（法人等）の育成や閑散期の収入確保対策（副業型の経営体）なども検討していく必要がある。</p>	現状維持	現状維持	1	ほだ木整備本数	本	目標	120,000	120,000	120,000
																					実績	98,500	102,600	71,000
																		2			目標			
																					実績			
3			目標																					
			実績																					
4			目標																					
			実績																					
72 原木マイタケ生産振興事業	川井総合事務所	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の高齢化により生産量（額）は、平成15年頃をピークに右肩下がり。</li> <li>・原木マイタケは、1年に一度、9月中旬から10月上旬にかけて収穫期を迎え、ほぼ生で販売される。（販売18%、贈答57%、自家消費25%）</li> <li>・地域の特産品として、産直での販売、また贈答用川井そば、まいたけごはんの素に利用及び学校給食に提供されている。</li> <li>・マイタケ菌木販売額の増を見込むため、令和3年度から単価の引き上げを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入：菌木の値上げ（R元年秋配布：1個当たり約20%増⇒R3年春配布：1個当たり約22%増⇒R6年春配布：1個当たり約44%増）</li> <li>・歳出：計画的な生産による歳出抑制（R元年：20,000個⇒R2年：15,000個⇒R3年：12,500個⇒R4年12,500個⇒R5年：0個）</li> <li>・令和6年度に菌木価格の引き上げによる歳入の確保を断念した。</li> <li>・令和7年度から、2か年で安定的な菌木の提供を継続できるよう、現施設の譲渡を検討することとした。</li> <li>・令和7年度からの2か年は在庫菌木を販売し、施設の運営費に充てる。</li> </ul>	縮小	縮小	1	まいたけ菌木販売個数	個	目標	15,000	15,000	15,000									
												実績	7,764	9,141	4,438									
									2	菌木等販売額	千円	目標	9,301	9,301	9,243									
												実績	6,378	7,734	6,186									
									3			目標												
												実績												
									4			目標												
												実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
73 林業担い手確保対策事業	農林課	継続	R2	R11	令和6年度実績 ・自伐型林業希望者2名が、指導林家のもと、研修を受けた。研修に係る補助を行った。 ・令和5年度末で 研修を修了した1名に対し、施設等整備支援としてバックホウ導入の補助を行った。 令和7年度支援対象者 ・令和6年度末時点で令和7年度における研修対象者がいない。 ・内外へのPRが必要である。 ・ホームページによる告知は行っている。	令和7年度の研修対象者がいないことについて、周知を強化する。 ・ホームページによる周知は継続。広報による告知を行う。 ・県内外での就業支援イベントにおいてPRを行う。 ・林業環境教育推進・林業就業者人材育成事業（Ⅱ-02-⑤-02）におけるスキルアップ研修（経験者向け：作業道開設・伐木造林研修）において、本格的に林業従事を希望する者（一人親方または林業経営体への就業）を募集することとする。	現状維持	現状維持	1	新規就業希望者（就業相談者：単年）	人	目標	5	5	5
												実績	4	5	2
									2	研修生受入林家（単年）	経営体	目標	3	3	3
												実績	1	3	2
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
74 みやこ市民の森整備事業	農林課	継続	R2	R11	・川井小学校及び川井中学校の児童を対象に、区界高原ウォーキングセンター付近の市有地で植樹体験を開催した。 [参加人数] ・植樹体験（区界）：50人	-	現状維持	現状維持	1	イベント参加者	人	目標	150	150	150
												実績	0	49	50
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
75 森林環境教育推進・林業就業者人材育成事業	農林課	継続	R2	R11	自伐型林業に精通したNPO法人に業務を委託し、技能研修として県外講師を招いてのチェーンソー講習、作業道開設研修、伐木造材研修、また、研修受講者によるモデル林整備や宮古市内における自伐型林業可能な山林調査を行った。 広報への折り込みチラシによる周知を行った。実践的な研修により、受講者は自伐型林業の流れをつかむことができた。 令和6年度において、（任意団体）宮古もりづくり協議会が結成された。構成員は当該事業の参加者であり、自伐型林業を営む者、森林・林業や環境に関する活動を行っているボランティア団体等に所属している者などである。また、受講者のうち2名の者が自伐林業を始めた。 イベント参加者のアンケートとして 初めて参加する方 初心者でも安心して参加できた。とても勉強になったという声があった。 林業従事者（山林所有者） 知りたかった情報を得ることができた。基本的な知識から学べたので、安心して作業ができるという声があった。	参加者数が目標値を上回ることが望ましい。	現状維持	現状維持	1	事業実施回数	回	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2	受講者数（のべ人数）	人	目標	110	75	80
												実績	108	46	67
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
76 木の博物館推進事業	川井総合事務所	継続	R3	R10	市主催の分館ツアーや他団体主催の分館ツアーが継続的に行われ実績は伸びており、入館者数が目標に達した。	他事業者との連携を図り入館者の増を目指すとともに、ツアー等の周知のため、市HPや広報などの活用を継続していく。	拡充/改善	現状維持	1	分館の入館者数	人	目標	300	300	300
												実績	257	279	302
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(3) 水産業の振興															
77 トラウトサーモン養殖調査事業	水産課	継続	R2	R6	・宮古トラウトサーモンは食味等の評判が良いことから市場の引き合いが強く、水産加工業者等からは増産を求められている。 ・トラウト増産に係る種苗生産（中間育成）施設を令和4年度から整備。令和5年度よりトラウト種苗の中間育成を開始している。 ・令和6年度に管理棟兼倉庫を整備し、一連の工事が終了した。	・市場において引き合いが強く、生産量の増大が必要である。 ・市内において種苗から一貫生産することによりブランド力の向上と関連事業者の仕事量の増加が期待できる。 ・活動指標については、後期基本計画から見直す。	休廃止/終了	無	1	魚市場水揚量	トン	目標	-	-	-
												実績	20,315	16,560	14,355
									2	養殖漁業生産量	トン	目標	-	-	-
												実績	9,888	5,825	7,419
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
78 ホシガレイ養殖調査事業	水産課	継続	R2	R6	令和元年度に第1期調査を開始し、現在第5期（その2）調査を実施中。 第4期調査の途中（R5.3）まで宮古漁協が実施し、現在は田老町漁協が調査を受託している。	1キロサイズまで育成するのに2年要しており、飼育期間の短縮が課題 採算性が見極めが必要である。	縮小	縮小	1	魚市場水揚量	トン	目標	-	-	-
												実績	20,315	16,560	14,355
									2	養殖漁業生産量	トン	目標	-	-	-
												実績	9,888	5,825	7,419
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
79 栽培漁業推進強化事業	水産課	継続	R2	R6	東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた管内のアワビ種苗生産施設は、平成25年度に復旧し、平成27年度から種苗放流を行い、これにより目標とする放流数を確保できるようになった。 宮古市のアワビの生産量は日本一であるが、海洋環境の変化等により、本市を含め全国のアワビの生産量は長期的にみると、減少傾向にある。 アワビの緊急的な資源回復には、早急にアワビの種苗生産及び放流を実施し、安定した資源造成を行う必要がある。国は令和4年度から令和6年度にかけて被災海域における種苗放流支援事業（国庫）を実施し、国・県の補助事業として水産資源回復の取り組みを支援している。これに併せ、市では漁協に対して国・県の補助対象経費のうち補助金が交付されない部分を栽培漁業推進強化事業（市単）で支援している。	引き続き支援を継続する。	現状維持	現状維持	1	アワビ種苗放流数	個	目標	3,000,000	3,000,000	3,000,000
												実績	3,005,000	2,940,000	2,905,000
									2	アワビ混獲率	%	目標	28	28	28
												実績	35	36	34
									3	アワビ水揚げ数量	t	目標	44	47	54
												実績	31	26	16
									4			目標			
												実績			
80 魚類栽培事業	水産課	継続	R2	R6	震災後、ヒラメの水揚げは安定しているが、海況の変化により大きく変動すること、近年は海況の変化が著しいことから、資源が減少する可能性がある。現在の資源水準の維持には、天然資源の補てん（下支え）が必要である。 本事業は岩手県栽培漁業基本計画に基づき実施されており、第8次計画（R4～R8）では生産経費等の削減、関係県との協同種苗生産体制の構築、費用対効果を踏まえた種苗生産・放流に要する費用負担のあり方を検討するなど、放流事業体制の見直しを行う。	近年の主要魚種の不漁により、漁協の経営が厳しい状況の中、国は「被災海域における種苗放流支援事業」を拡充し、平成5年度からヒラメも当該事業の対象種として認められた。補助対象事業費は種苗生産経費から水揚げ負担金を差し引いた額で補助率は10/10。これにより令和6年度も市の負担無しで事業を実施した。	現状維持	現状維持	1	ヒラメの放流数	千尾	目標	1,100	1,100	1,100
												実績	1,107	1,100	1,100
									2	ヒラメの漁獲量	トン	目標	-	-	-
												実績	16	16	21
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
81 水域環境美化推進事業	水産課	継続	R2	R6	河川の増水時に上流からの流木などが漁場に流出する。養殖施設等への影響が懸念され、沿岸漁業漁場水域ではその処理に苦慮している状況。海岸漂着物の減少は見込めないため、安定した漁業生産活動を行う必要がある。指標目標は過去5年の平均値より算出。		現状維持	現状維持	1	海岸漂着物の回収量	トン	目標	10	10	10
												実績	0	0	0
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
82 畜養調査事業	水産課	継続	R5	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に田老町漁協でウニとナマコを陸上で複合養殖し、通年でのウニの出荷が可能な飼育条件について調査を実施する。</li> <li>令和5年度の出荷はないことから、活動指標の設定は令和6年度に行う。</li> <li>令和6年度から上記調査結果を受け、希望する漁家が実施する複合養殖に必要な資材の購入に対し補助した。</li> </ul> (総合計画への記載なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しくウニの陸上養殖を始める漁業者へ補助する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	出荷サイクル数	サイクル	目標	-	-	3
										実績	-	-	2		
									2	補助した畜養水量	トン	目標	-	-	30
										実績	-	-	10		
											目標				
												実績			
83 県営漁港整備事業負担金	水産課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方財政法27条の規定により、県漁港の整備事業費の1/10を市が負担している。</li> <li>音部漁港は震災後に掘り込み漁港として整備することとしており、令和8年度の完成が望まれている。</li> <li>漁港施設の老朽箇所を補修するものであり、計画的に進めることにより補修に係る総費用を縮減させるものである。</li> <li>水産環境整備事業がR6田老(摂待)地区で実施され、今後の藻場の回復が期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に継続して整備を進めていく。</li> <li>計画年度の見直しにより活動指標を修正。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	R元~R7年度の事業費合計に対する執行割合	%	目標	85	90	95
										実績	75	80	90		
									2			目標			
										実績					
											目標				
												実績			
84 地域水産物供給基盤整備事業	水産課	継続	R2	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域水産物供給基盤整備事業の事業計画に基づき、計画的に整備している。</li> <li>平成13年度からの継続事業である。</li> <li>臨港道路及び用地、上屋を整備するものである。本漁港は未完成であるため、早期の完成が望まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に継続して整備を進めていく。</li> <li>計画年度の見直しにより活動指標を修正</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	R元~R7年度までの事業費合計に対する執行割合	%	目標	85	90	95
										実績	20	42	68		
									2			目標			
										実績					
											目標				
												実績			
85 漁村再生交付金事業	水産課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁村再生交付金事業の事業計画に基づき、計画的に整備している。</li> <li>平成31年度からの継続事業である。</li> <li>千鷲漁港は臨港道路、用地、用地背後の法面の整備をするものであり、令和4年度完成。</li> <li>津軽石漁港は西風対策の防波堤と、不足している物揚場の整備を行うものであり、早期の完成が望まれている。</li> <li>令和元年台風19号の影響で、進捗が遅れが見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に継続して整備を進めていく。</li> <li>計画年度の見直しにより活動指標を修正</li> </ul>	休廃止/終了	縮小	1	R元~R6年度の事業費合計に対する執行割合	%	目標	80	90	100
										実績	70	80	100		
									2			目標			
										実績					
											目標				
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
86 漁港施設機能強化事業	水産課	継続	R2	R9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港施設機能強化事業の事業計画に基づき、計画的に整備している。</li> <li>・平成30年度からの継続事業である。</li> <li>・小堀内漁港は、防波堤の嵩上げと延伸することにより、港内静穏度を改善させるものであり、早期の完成が望まれている。</li> <li>・石浜漁港は、防波堤の嵩上げと延伸することにより、港内静穏度を改善させるものであり、早期の完成が望まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に継続して整備を進めていく。</li> <li>・計画年度の見直しにより活動指標を修正</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	R元～R9年度までの事業費合計に対する執行割合	%	目標	40	50	60
										実績	33	40	51		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
87 水産物供給基盤機能保全事業	水産課	継続	R2	2024	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物供給基盤機能保全事業の事業計画に基づき、計画的に整備している。</li> <li>・平成30年度からの継続事業である。</li> <li>・本事業は、漁港施設の老朽箇所を補修するものであり、計画的に進めることにより補修に係る総費用を削減させるものである。</li> <li>・R2→R3海象条件の影響により船揚場工事が繰越となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に継続して整備を進めていく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	R元～R5年度までの事業費合計に対する執行割合	%	目標	95	100	-
										実績	95	100	-		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
88 漁港施設等整備事業	水産課	継続	R4	R9	R4開始。補助事業等の対象外となる整備等工事を実施する。 地元からの要望。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に継続して整備を続けていく。</li> <li>・計画年度の見直しにより活動指標を修正</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	R4～R6年度までの事業費合計に対する執行割合	%	目標	20	50	60
										実績	14	49	49		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
89 漁業集落環境整備事業	水産課	新規	R6	R6	漁村整備事業（国庫補助事業）を活用し、小堀内（摺待）地区において水産飲雑用水施設の整備を行う。	-	休廃止/ 終了	縮小	1	事業費合計に対する執行割合	%	目標	-	-	100
										実績	-	-	100		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
90 東日本大震災漁業経営復興特別資金利子補給	水産課	継続	R2	R12	漁業近代化資金と同様に、漁業者目線では実質無利子の資金である。罹災証明書の提出を要するものの、漁業近代化資金と異なる点として、中古品の購入も対象となるため利用者が多かった。令和12年完済につき事業終了予定。	-	現状維持	縮小	1	返済中人数の残数	人	目標	44	31	20
												実績	44	29	11
									2	制度利用者数	人	目標	-	-	-
												実績	44	29	11
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
91 漁業担い手確保対策事業	水産課	継続	R2	R6	・漁業担い手の確保・育成は喫緊の課題となっている。 ・事業の開始から72名が就漁計画を満了し、現在8名が就漁計画を履行中である。	-	拡充/改善	拡充	1	就漁計画認定者数	人	目標	6	6	6
												実績	5	5	6
									2	新規就漁者	人	目標	-	-	-
												実績	6	8	4
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
92 魚市場改修事業	水産課	継続	R5	R6	令和5年度に実施設計を行い、令和6年度に工事を実施した。	-	休廃止/終了	無	1	事業進捗率	%	目標	-	50	100
												実績	-	50	100
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
93 廻来船誘致対策事業	水産課	継続	R2	R6	・指標となる宮古市魚市場水揚額4,566,901千円のうち1,989,572千円(43.6%)が廻来船による水揚げである。 ・主要魚種であるサンマの水揚げ(R5:67,300千円)は100%廻来船による水揚げである。 ・沖合底引船は岩手県内に6ヶ統(地元3ヶ統、廻来3ヶ統)あり、全てが宮古市魚市場を中心に水揚げをしている。これにより、キチジヤマダラは全国有数の水揚げを達成している。	-	縮小	縮小	1	魚市場水揚額	千円	目標	7,871,429	8,121,429	8,371,429
												実績	5,234,463	5,760,200	4,566,901
									2	宮古市魚市場水揚額に占める廻来船水揚げの割合	%	目標	-	-	-
												実績	47	47	44
3	宮古市魚市場への廻来船水揚額	千円	目標	-	-	-									
			実績	2,452,625	2,688,809	1,989,572									
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績															
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6									
94 水産物消費拡大事業	水産課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好交流都市等他地域との交流を通して地域水産物の消費拡大を推進する。</li> <li>・令和5年度と6年度は、目黒のさんま祭りが中止となったが、青森県黒石市の黒石りんごまつり、秋田県大仙市の大仙秋の稔フェア、宮古市産業まつり等のイベントに参加し、宮古トラウトサーモンをはじめとした地元水産物のPRを行い、消費拡大を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋環境の変化等により、主要魚種（サケ、サンマ、マダラ、イカ）の水揚げが大きく減少している。</li> <li>・従来からの魚種に加え、宮古トラウトサーモンなど新たな海産物、現在の水揚状況に応じた海産物のPRを行っていく必要がある。</li> <li>・後期基本計画においては、活動指標を見直す必要がある。</li> </ul>	縮小	縮小	1	目黒のさんま祭り来場者数	人	目標	20,000	20,000	-									
												実績	0	-	-									
									2	都市交流イベント参加	回	目標	2	2	2									
												実績	3	2	2									
									3	さんまふるさと便出荷数量・さんまゆうパック取扱量	件	目標	40,000	40,000	-									
												実績	0	0	-									
									4			目標												
												実績												
									95 海産物等地域ブランド化販売促進事業	水産課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化戦略策定検討会の開催について、令和元年事業は台風第19号の影響により翌年度に繰り越した。令和2年度は検討会を3回開催し、元年度事業であるブランド化戦略の策定、2年度事業であるパンフレット制作を予定どおりに実施した。</li> <li>・全国の祭り・物産展等への参加については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イベントの中止や県外への移動が制限されたため、参加しなかった。</li> <li>・令和2年度に宮古真鱈まつり実行委員会を立ち上げ、令和6年度まで水産課が事務局となって宮古真鱈まつりを開催。悪天候の影響もあり来場者数目標は達成できなかったが、各メディア等による情報発信により真鱈の産地としての知名度向上を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真鱈ブランド化戦略に基づき、今後はGI登録に向けた関係者協議及び手続きを進める。</li> <li>・令和4年度をもって実行委員会補助金の主財源である地経営推進費が3ヶ年経過により終了。</li> <li>・令和5年度以降の地域経営費再確保には事業の新規性が求められることから、今後3年間は県内陸部での「宮古の真鱈」及び「宮古真鱈まつり」に係るPRイベントを追加開催することとした。なお、市から実行委員会への補助金は新規PRイベント開催に伴い400千円の増額となる。</li> <li>・令和6年度には地域経営推進費事業に宮古トラウトサーモンまつりを加え、海産物のブランド化を図った。</li> <li>・令和7年度には宮古トラウトサーモンまつりを海産物等地域ブランド化販売促進事業に加え、地域経営推進費を申請の上実施する。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	ブランド化戦略策定検討会の開催	回	目標	0	0	0
																					実績	0	0	0
																		2	全国の祭り、物産展等への参加	回	目標	3	3	3
																					実績	3	2	2
3	宮古真鱈まつり来場者	人	目標	6,500	7,000	7,500																		
			実績	4,000	3,000	4,000																		
4			目標																					
			実績																					
96 魚市場入札システム更新事業	水産課	継続	R5	R6	東日本大震災後に整備した魚市場の新棟整備に合わせて導入したシステムであり、サーバーが耐用年数を超えたことから、令和5年度と6年度で更新した。		休廃止/終了	-										1	事業進捗率	%	目標	-	50	100
																					実績	-	50	100
																		2			目標			
																					実績			
									3			目標												
												実績												
									4			目標												
												実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
97 閉伊川漁協等増殖事業	水産課	継続	R2	R6	・遊漁者が減少したのは、遊漁料が倍額になったため、日釣り券ではなく年券を購入した方が増えたためと考えられる。	・遊漁者が増えるよう、アユだけではなく、サクラマスが狙える河川としての知名度向上を図っていく。	現状維持	現状維持	1	閉伊川漁協遊漁券(行使を含む)発行件数	件	目標	-	-	4,160
										実績	-	-	2,813		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
(4) 工業の振興															
98 工業団地創出事業	企業立地港湾課	継続	R5	R6	令和5年度に工業団地(産業用地)造成に係る「適地選定評価等業務」を実施。それにより適地2箇所を選定し詳細な評価を行った結果、いずれの適地においても造成に多額の費用がかかることが判明し、大規模造成は保留とした(令和6年10月7日経営会議審議、令和7年1月7日産業建設常任委員会報告)	市内に潜在する用地の情報収集を併せて実施すべきであった。費用削減のため基礎調査を直営で実施したが、土木技師等の協力をもっと仰ぐべきであった。	現状維持	現状維持	1	製造業総生産額(実績値は当該年度-2年度、根拠は「岩手県市町村	億円	目標	200	200	200
										実績	211	220	224		
									2	工場等の新・増設等件数	件	目標	1	1	1
										実績	1	2	1		
									3	工場等の新・増設による増加従業員数	人	目標	5	5	5
										実績	2	20	7		
									4	産業用地の適地選定数	箇所	目標	-	1	-
										実績	-	2	-		
(5) 商業・サービス業の振興															
99 商業振興対策事業	産業支援センター	継続	R2	R6	・商店街や商業団体等のイベント経費や防犯カメラ等の整備に係る経費、情報発信事業(リーフレット作成)に係る経費等の補助に活用されている。 ・令和4年度はイベント事業2件、新規創業者支援事業6件、事業拡大等事業1件の補助実績となった。広報みやこや市HPでの情報周知に加え、積極的な事業者訪問や創業スクールでの制度説明を通じて制度が認知されるよう努めた。 ・令和5年度はイベント事業3件、新規創業者支援事業8件、研修事業1件、商業活性化補助金活用支援事業1件、情報提供事業1件の補助実績となった。広報みやこや市HPでの情報周知を行った上、末広町商店街、中央通商店街に商店街の活性化に繋がる取り組みとして活用してもらうことができた。 ・令和6年度はイベント事業3件、新規創業者支援事業8件の補助実績となった。広報みやこや市HPに加え、創業スクールでの情報周知を行い、制度の認知度向上に努めた。	・主な補助対象者が、商店街や商業団体に属している事業者であるため、イベント事業以外の利用を積極的に促すことで、平時の個店の魅力化・活性化を図る必要がある。 ・11項目ある補助事業を幅広く活用してもらうため、支援事業内容の周知をさらに強化する必要がある。また、事業者のニーズに合わせ、今後、必要に応じて補助内容を見直す必要がある。	拡充/改善	現状維持	1	商業振興対策事業費補助件数	件	目標	5	5	5
										実績	9	14	11		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
100 鉾ヶ崎地区賑わい創出事業	産業支援センター	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各地域に同様の取り組みが波及するよう、鉾ヶ崎地区をモデルに実施している。</li> <li>鉾ヶ崎元気市の会が定期市を開催。事業者、住民らにより地区に適した賑わい創出を図っている。</li> <li>定期市は、令和2年度-3回、令和3年度-6回、令和4年度-6回、令和5年度-4回、令和6年度-4回の開催。</li> <li>会独自の活動としてスタートした「水曜の市」も地域に浸透し、商店が無い同地区において重要な役割を担っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度から宮古市提案事業として採択を受けた事業として、市と協働で市を開催している。共通の課題認識を、協働することで改善させ、実施団体主体で継続して実施するべく、今後も協議を重ねていきたい。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	定期市の来場者数	人	目標	20,000	20,000	20,000
												実績	23,000	9,000	8,000
									2	定期市への出店者	者	目標	250	250	250
												実績	375	114	120
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
101 被災中小企業者支援事業	産業支援センター	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災、台風災害で被災し借入をした利子を最大10年間補助することで、事業者の返済負担を軽減している。</li> <li>設備貸与費補助については、平成27年度以降の実績がない。</li> <li>東日本大震災被災資産復旧費補助は、補助金の1/2を岩手県、1/2を宮古市が補助し、被災中小企業の事業再開を支援している。令和2年度以降の実績がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災利子補助については、令和4年に新規受付を終了したため、令和14年には補助終了予定。</li> </ul>	現状維持	縮小	1	東日本大震災中小企業利子補助	件	目標	150	100	100
												実績	107	69	33
									2	平成28年台風10号被災中小企業利子補助	件	目標	100	100	100
												実績	77	69	55
									3	令和元年台風19号被災中小企業利子補助	件	目標	30	30	30
												実績	27	22	19
									4	東日本大震災中小企業資産復旧費補助	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
(6) 観光の振興															
102 浄土ヶ浜環境管理事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>浄土ヶ浜園地内において、倒木による道路・建造物の破損や落枝が懸念される危険木及び、ナラ枯れ等による支障木の伐採処分を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も危険木及び支障木が発生することが考えられるため、利用者等の安全性を確保するために園地内の適切な維持管理を図る。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	撤去危険木数	本	目標	212	140	102
												実績	72	38	14
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
103 浄土ヶ浜ビジターセンター事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>全線開通5周年を迎えたみちのく潮風トレイルの情報発信や、トレイルコースの巡視を実施した。</li> <li>Facebook等のSNSで、イベント情報や園地内の動植物に関する投稿により、情報発信を継続して行ったことがアクセス数を増やすことに繋がった。</li> <li>トレイルや観察会等のイベントを開催し、自然について学び体感する場としての役割を果たした。</li> <li>みちのく潮風トレイルのパネル展示や動画放映を常設し、浄土ヶ浜への誘客を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者数が目標値に達していないため、周知方法等を検討する必要がある。また、来館者数は天候等にも左右されるため、雨天時でも楽しむことができるようビジターセンター内の展示を充実させる。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	来館者数	人	目標	350,000	400,000	400,000
												実績	297,786	289,261	271,564
									2	ホームページ及びフェイスブックアクセス数	件	目標	100,000	100,000	100,000
												実績	102,350	114,546	142,015
									3	主催イベント参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000
												実績	453	544	507
									4	トレイル及びジオパーク連携イベント実施回数	回	目標	25	25	25
												実績	30	34	10

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
104 浄土ヶ浜園地内周遊バス 運行事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率性を高めるため、利用が見込まれる土・日・祝日や海水浴場設定期間に合わせて運行している。</li> <li>・周遊バスの利用者はR5に比べ約3,000人減少(参考:浄土ヶ浜ビジターセンター来館者も令和6年度は前年比約17,000人減)</li> <li>・岩手県北自動車で所有している電気バス入れ替えのため、R6は低床バスを運行した。</li> <li>・R5まではバスガイドをつけていたが、周遊バス運行日数確保のため、R6からはバスガイドを廃止し経費を削減した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に対して利用者数が少ない。観光客の利便性の向上については、周遊バス運行の日別利用者数を把握し、利用者数が多い期間の運行に絞って運行させるなど、効率的な周遊バス運行を検討する余地がある。その場合、目標値の見直しも必要である。</li> </ul>	現状維持	縮小	1	利用者数	人	目標	25,000	30,000	35,000
												実績	23,642	25,073	22,065
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
105 グリーンピア三陸みやこ 改修事業	観光課	継続	R1	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設利用者(宿泊、日帰り、屋外施設)の人数が、感染症流行前の令和元年度(64,466人)を超え、令和5年度には第三期(R2-6年度)活用計画期間中の最大数を記録したが、令和6年度利用者は少し減少した。</li> <li>■令和5年4月1日から老人憩の家事業(小田代山荘)のサービスの移行を受け、公共施設としての役割が増した。</li> <li>■令和5年9月に「SDGs宣言」を公表し、企業イメージや社会的価値の向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■敷地内の各施設・設備の老朽化が著しいため、必要な改修等を実施していく必要がある(継続)。</li> <li>■施設利用者数が増加傾向である。利用者数に影響しないよう、施設運営に必要な施設・設備等を改修していく必要がある。</li> <li>■施設運営者も独自の催しを実施したが利用者数は減少した。さらなる集客への取り組みが必要と思われる。</li> </ul>	拡充/改善	-	1	施設利用者数	人	目標	78,520	78,520	86,300
												実績	57,797	77,073	73,204
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
106 シートピアなあと施設改 修事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度に出崎地区先端部(しおかぜ公園、先端部駐車場)が利用開始、出崎発着所からも乗船できる遊覧船の運航開始など、令和4年度は施設の利用者も増加した。</li> <li>■令和5年度は横ばいであったが、令和6年度は利用者が増加した。施設運営者による独自イベントや、近隣で開催されたイベントとの相乗効果が考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設運営者も独自の催しを企画・実施した。</li> <li>■継続して出崎地区、遊覧船(出崎発着所)への来訪者の施設利用が見込まれることから、今後も必要な改修を行う。</li> <li>■施設が設置され約20年が経ち(H23東日本大震災によりH23-25一部復旧工事を実施)、老朽化が進んでいることから、施設利用者数に大きく影響しないよう、必要な改修を行う。</li> </ul>	現状維持	-	1	利用者数	人	目標	350,000	350,000	350,000
												実績	309,174	293,144	320,876
									2	利用者数(貸室)	人	目標	9,500	10,000	10,500
												実績	5,101	3,540	3,771
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
107 リバーパークにいさと施 設改修事業	新里総合事務 所	新規	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は主に以下の施設改修事業を実施した。</li> <li>・リバーパークにいさと電気自動車用急速充電設備設置工事 7,858,400円</li> <li>・リバーパークにいさと電気自動車用急速充電設備設置工事監理業務委託 385,000円</li> <li>・リバーパークにいさと設備改修工事 61,378,900円</li> <li>・リバーパークにいさと設備改修工事監理業務委託 1,518,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リバーパークにいさと敷地内に電気自動車用急速充電設備1基を設置し、施設利用者の利便性の向上を図った。</li> <li>・湯ったり館浴室棟において、耐用年数を迎えた真空式温水発生器、貯湯槽及び関連する機械設備について、安定したサービスを提供するため改修工事を行った。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	施設利用者数	人	目標	89,000	89,500	90,000
												実績	63,980	60,737	60,826
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
108 道の駅やまびこ館施設改修事業	川井総合事務所	継続	R2	R10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまびこ館は、国道106号宮古盛岡の中心に位置していることから休憩場所として利用も順調に推移している。</li> <li>・令和3年に宮古盛岡横断道路、三陸沿岸道路の全線開通に伴い。交通量の増加がみられ、駐車場も一時満車になることもあった。</li> <li>・魅力ある目的地型の施設にするため幼児・児童が楽しめる複合型遊具整備や、屋外ファーストフードで飲食できる屋根付休憩所を設置し、それらを活用して特産品販売やイベント開催などにより集客力を向上させ、交流人口の増加を図り、「道の駅やまびこ館」を中心とした地域活性化に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮古盛岡横断道路の全線開通に伴い、交通量の増加がみられ、駐車場も一時満車になるほど、利用者が増加している。快適な道の駅を提供できるよう、ソフト、ハードの両面でのサービスの維持に取り組む。</li> <li>・将来、箱石～達曾部間の自動車専用道路の整備により、やまびこ館付近にIC新設が検討されている。宮古盛岡間の中間地点であり、観光や物流の活発化による交流人口の拡大とともに、魅力ある目的地型施設となるよう施設の維持に取り組む。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	利用者	人	目標	400,000	400,000	400,000
												実績	332,741	356,532	346,960
									2	年間売上金額	千円	目標	160,000	170,000	170,000
												実績	169,143	188,241	193,294
109 市道御殿山線整備事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6 (R5繰越) 道路改良工事 (総延長3.7km) 終点～約3.2km区間の危険箇所へのガードレール設置等 擁壁工、防護柵基礎、ガードレール、カーブミラー、路盤工</li> <li>R6 (現年) 道路改良工事 (総延長3.7km) 起点～約0.5km区間の道路改良等 擁壁工、防護柵基礎工、ガードレール、路盤工</li> </ul>	特になし	休廃止/終了	-	1	御殿山線道路工事、月山山頂整備工事	千円	目標	100,000	44,600	44,700
												実績	47,100	33,441	79,505
									2			目標			
												実績			
110 宮古もてなしプラン事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮古の歴史・文化・観光などを学ぶことで魅力を再認識し、観光案内の質的向上を図るため「宮古もてなし観光・文化検定試験」を実施した。</li> <li>・浄土ヶ浜園地内において繁忙期にもてなし隊を配置し、観光客に対するおもてなしの向上を図った。</li> <li>・「宮古秋の味覚まつり」、「宮古鮭まつり」及び「宮古毛ガニまつり」において、もてなし隊員の配置を行った。</li> <li>・短大生及び高校生にPRするため、簡易版リーフレットを作成した。</li> <li>・もてなし隊の観光知識向上のため、三陸観光フォーラム2024へ参加した。</li> <li>・市内の事業者向けにもてなし研修会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的が分かりにくいため、目的を明確化する必要がある。目的と手段が整合しているか再検討する必要がある。</li> <li>・もてなし検定の受講者、もてなし研修会の参加者が少なかったため、実施時期や募集のやり方を検討する必要がある。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	宮古もてなし検定参加者	人	目標	50	50	50
												実績	16	24	14
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
111 遊覧船運航事業	観光課	継続	R3	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週火曜日に「宮古うみねこ丸」PRデーとして職員がポロシャツを着用し、市内外に対し広く周知宣伝活動を行った。</li> <li>・法改正なども見据え、情報収集を常に行った。</li> <li>・乗船客のデータを収集し、効率的な周知活動、営業活動を行う必要がある。</li> <li>・情報発信を十分に行いながら誘致、集客活動を更に充実させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本丸寄港に合わせた花火運航や初日の出クルーズを運航した他、浄土ヶ浜夜市や真鱈まつり等のイベントに合わせた運航を行い、出崎地区を中心とした周遊体験型観光の強化を図った。</li> <li>・悪天候により中止となった「第56回宮古夏まつり・海上花火大会貸切遊覧船」を「宮古海上花火大会鑑賞貸切遊覧船」として実施し、乗船客数の確保を図った。</li> <li>・欠航率や団体旅行等の予約状況などのデータ収集も継続して行い、初年度との比較・分析を行った。</li> <li>・台湾旅行博や訪日旅行会社商談会等でPRを実施し、外国人の誘客を図った。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	遊覧船乗船者数	人	目標	20,000	40,000	40,000
												実績	25,203	43,709	38,881
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
112 和井内ふるさと会館施設改修事業	新里総合事務所	継続	R5	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度に舞台設備改修工事実施設計業務を行い、令和6年度は舞台設備改修工事を実施した。</li> <li>・コロナ禍で中止していた和井内区文化講演会及び和井内ふるさと収穫祭について、令和5年度から継続実施したことにより施設利用者数が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化している施設、設備等の突発的な事故や故障を未然に防止するため、施設及び設備の改修を行う。</li> </ul>	休廃止/ 終了	-	1	施設利用者	人	目標	5,500	5,500	5,500
												実績	4,257	10,276	9,408
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
113 浄土ヶ浜園地内道路改修事業	観光課	新規	R5	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5 浄土ヶ浜園地内道路改良工事調査業務委託 2,400,000円</li> <li>R6 浄土ヶ浜園地内道路改良工事調査業務委託 4,156,000円</li> <li>浄土ヶ浜園地内道路改良工事設計業務委託 4,015,000円</li> <li>浄土ヶ浜園地内道路改良工事費18,338,300円</li> </ul>	-	休廃止/ 終了	-	1	改修工事費	円	目標	-	23,200	21,000
												実績	-	2,400	35,509
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
114 観光イベント開催支援事業	観光課	継続	R2	R6	<p>【宮古サンマまつり（宮古秋の味覚まつり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンマ不漁の状況を鑑み、「宮古秋の味覚まつり」として実施した。新たな試みとして、親子客を誘客ターゲットとした貸竿を実施した。</li> </ul> <p>【宮古鮭まつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鮭の不漁が続いている中、宮古鮭まつりの一環として、さけ稚魚壮行会や小学生鮭図画コンクールを実施し、機運醸成を図った。店舗数を12店（令和5年度）から16店へ拡充させた。</li> </ul> <p>【宮古毛ガニまつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宣伝広告としてフェイスブック、Instagram、Googleでのインターネット広告（青森、秋田、宮城対象）、フジテレビ系列テレビへのCMを出した。また関連ツアーとして宮古市内参加宿泊施設、三陸海岸魚彩王国9施設とタイアップし、宮古毛ガニまつりへの優先入場券を2,000枚配布した。</li> <li>・北東北をエリア対象としてSNS広告を掲出した他、宿泊施設と連携してパッケージプランを造成し、宿泊客に対し優先入場サービスを提供するなどの取組の結果、大幅に来場者数を増やすことができた。</li> <li>・令和5年度の訪問人数分析では少人数来訪が増えているため、飲食スペースに一人用・二人用のテーブルを追加で配置した。</li> </ul> <p>【浄土ヶ浜まつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の大型連休の日中に開催していた「浄土ヶ浜まつり」とは別に、閑散期誘客の一環として、「浄土ヶ浜夜市」を令和4年度から「浄土ヶ浜まつり」の一部として開催。</li> <li>・夜間の浄土ヶ浜を活用し、既存の観光資源の魅力の再発見、また宿泊施設の利用促進につなげるイベントとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ前の来場者数に回復していないイベントもあるため、コロナ前に戻すことを目標としていく必要がある。</li> <li>・水産物の水揚げ量に影響されるイベントは、水揚げ量に影響されない内容にするなどの工夫をしていく必要がある。場合によっては目標値の見直しも検討。</li> <li>・イベントが宿泊や商店街利用、遊覧船利用につながるよう工夫していく必要がある。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	宮古サンマまつり（宮古秋の味覚まつり）来場者数	人	目標	2,500	2,500	2,500
												実績	1,800	1,000	2,800
									2	宮古鮭まつり来場者数	人	目標	3,000	3,000	3,000
												実績	2,800	2,800	2,400
									3	宮古毛ガニまつり来場者数	人	目標	5,000	7,000	8,000
												実績	7,200	7,500	11,000
									4	浄土ヶ浜まつり来場者数	人	目標	1,500	2,000	2,000
												実績	2,000	3,479	2,000
115 体験型観光推進事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄土ヶ浜SUP体験は、7月は定員に達したが、9月は定員を下回った。開催時期により集客に影響があることが分かったが、9月でも参加者があることも分かった。</li> <li>・首都圏からの親子ツアーへの協力をを行い、市内体験型観光を活用したモニターツアーを開催した。</li> <li>・「食」を素材とした体験型観光のモニターツアーとして「みやこグルメ体験会」を無料で実施した。満足度は平均して88%だった。</li> <li>・遊覧船「宮古うみねこ丸」のPRのため、乗船10万人記念セレモニー等を行った。</li> <li>・中京・関西圏等で開催された旅行会社商談会及び教育旅行商談会に参加し、プレゼン等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターツアーの商品化にあたっては、受入態勢が整っていない体験型観光事業者もあり、受入れ側の課題の把握、改善方法の検討が必要である。</li> <li>・体験プログラム・旅行商品としての販売に向け、有料でのモニターツアーを実施し、適正価格等を分析していく必要がある。</li> <li>・観光体験事業者が個別に観光客からの予約等を受け付ける現状を改善するためには、観光協会が一本化して受付・販売等することにより、観光客の利便性を高めるとともに、事業者側の事務負担を減らす体制を構築する必要がある。</li> <li>・SNSを十分に活用した情報発信が必要である。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	体験型観光ツアー参加者	人泊	目標	100	100	100
												実績	100	80	80
									2	パンフレット掲載体験プログラム数	件	目標	42	44	44
												実績	42	42	40
									3	体験観光モニター参加者	人	目標	150	150	150
												実績	957	392	293
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
116 防災学習ツアー促進事業	観光課	継続	R2	R6	・利用人数は減少したが、料金収入は昨年度を上回った(料金の変更に伴う)。 ・クルーズ船入港もあり、外国人旅行者の利用が急増している。 ・震災後に生まれた児童生徒が増えていることから、地元小中学校の防災学習の一環として利用するケースも増えている。	・ガイド料金の見直しを行ない(個人料金と団体料金を設定)、一部値上げを実施した。 ・外国人旅行者に対応するため、英語版のパンフレットをリニューアルした。 ・旅行エージェントの他、県内小中学校14校に対し、営業活動を実施した。	現状維持	現状維持	1	利用人数	人	目標	15,000	15,000	15,000
												実績	13,630	14,013	11,831
									2	利用件数	件	目標	1,500	1,500	1,500
												実績	761	818	664
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
117 やまびこフェスタ開催事業	川井総合事務所	継続	R4	R10	9月7日(土)8日(日)の二日間開催となった。 令和6年度の入込数については、2日間開催で8,700人の集客ができた。 出場者数、出店(展)数は、前年度から増となった。	・幅広く広報活動を行い、南部木挽唄全国大会の出場者及び出店(展)者を応募した。 【以前の参加者・出展者・SNS・広報・市民カレッジ・ポスターの掲示】 ・地元の方々と協議して、ステージイベント等の企画を練り上げた。	拡充/改善	拡充	1	やまびこフェスタ入込数	人	目標	8,000	9,000	10,000
												実績	8,000	4,500	8,700
									2	南部木挽唄全国大会出場者数	人	目標	120	120	120
												実績	89	77	92
3	出店(展)者数	店	目標	23	25	25									
			実績	18	17	20									
4			目標												
			実績												
118 三陸ジオパーク推進事業	観光課	継続	R2	R6	・地域住民等にジオパークに広く親しんでもらうため、学習会等のイベントを開催した。 ・国指定重要無形民俗文化財の「黒森神楽」を楽しむモニターツアー造成を働きかけ、ジオパークを活用した誘客に取り組んだ。 ・認定ガイド等がFMラジオに出演して活動をPRしたり、ジオを活用したアイデアを検討することを目的とした研修会を行うなど、ボトムアップを活性化させた。 ・三陸ジオパーク推進協議会と連携し、市内小学生を対象に自由研究新聞「さんりくジオパークかわらばん」を募集し、小学生への普及拡大を図った。 ・協議会員4名、認定ガイド等8名の合計12名で県外(むつジオパーク)の研修会に参加し、他地域のジオ関係者との交流促進を図った。	・三陸ジオパーク推進協議会、中部ブロック会議と連携し、市町村の垣根を超えて研修等を開催し、交流機会を創出に取り組みたい。 ・三陸ジオパーク認定ガイドの活用を市内事業者呼びかけ、ボトムアップの具体的な成果につなげていきたい。 ・小中学生や高校生・短大生等の若い世代への普及の働きかけを行なって行きたい。	拡充/改善	縮小	1	フェイスブック及びインスタグラム閲覧回数	回	目標	135,000	150,000	150,000
												実績	63,050	78,431	84,043
									2	三陸ジオパーク認定ガイド試験合格者	人	目標	10	10	10
												実績	4	2	3
3	出前授業参加者数	人	目標	250	300	300									
			実績	229	235	295									
4	主催イベント及び研修会参加者数	人	目標	1,200	1,300	1,400									
			実績	988	1,369	1,860									

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
119 宮古版観光DMO事業	観光課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年11月から活用している東北観光DMPのデータ及びアンケートデータを活用して、毛ガニまつりの改善を行った。</li> <li>・具体的には令和5年度のアンケートから毛ガニの一本釣り体験（抽選）ができない場合に不満が高くなる傾向がわかったため、令和6年度は宿泊者限定で毛ガニ一本釣り体験（先着順）ができる入場券を発行。宿泊者の増加につなげることができた。</li> <li>・また、北東北（青森・秋田・宮城）の居住者を対象にインターネット広告を掲出し、当該地域からの宿泊者増につなげた。</li> <li>・毛ガニまつりやハンゴずしを事例に、市内外の事業者を対象として、ビッグデータの活用方法（ターゲット設定、宿泊促進等）について共有した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントについては、分析に必要なデータを宮古観光文化交流協会が取得できておらず、取り組みの効果を評価できない等の課題があることから、取り組みの目的、必要となるデータ等について観光協会と事前に共有する必要がある。</li> <li>・イベント以外にも各種データを活用し改善を行い、効果的な取り組みにしていく必要がある。</li> <li>・DMOの役割はデータ分析のほかに戦略の策定、観光資源の磨き上げ、事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり等も役割として求められている。</li> </ul>	拡充/改善	-	1	アンケート調査件数	件	目標	1,000	1,000	1,000
												実績	1,603	1,896	1,296
									2	マーケティング研究会開催回数	回	目標	3	3	3
												実績	1	1	2
3	瓶ドン販売数	食	目標	22,000	23,000	24,000									
			実績	20,657	23,135	18,628									
4			目標												
			実績												
120 閉伊川流域振興事業	新里総合事務所	継続	R3	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源を活用した体験型イベントを実施した。（Hey-river自然体験、そば打ち体験等）</li> <li>・観光資源の現状確認を実施した。</li> <li>・観光資源ポイント及び拠点施設に看板を設置した。</li> <li>・ガイドマップを作成し、市内に配布した。</li> <li>・観光関係者を対象とした研修会を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の観光資源の磨き上げを行うとともに、体験型観光メニューの新設を検討する。</li> <li>・観光資源及び体験型観光について広く情報発信する。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	閉伊川流域体験型観光ガイドブックの配付部数	部	目標	500	700	1,000
												実績	300	1,000	1,500
									2	閉伊川流域イベントの参加者数	人	目標	3,320	3,620	3,820
												実績	4,004	5,424	6,845
3	閉伊川流域への案内看板設置箇所数	箇所	目標	8	8	8									
			実績	3	5	2									
4	観光施設職員を対象とした研修会の開催数	回	目標	1	1	1									
			実績	1	1	1									
121 区界高原観光資源活用事業	川井総合事務所	継続	R3	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>①兜明神岳を中心とした四季折々のトレッキングイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>5月26日（日） 「不拔の森」観察と兜明神岳登山 参加者36名</li> <li>6月23日（日） 水晶探索と閉伊川源流コース 参加者31名</li> <li>7月21日（日） 閉伊川あそびと夏の自然観察 参加者31名</li> <li>9月22日（日） 樹木観察と岩神山登山 参加者16名</li> <li>10月20日（日） 水晶探索とコースター作り 参加者32名</li> <li>2月2日（日） 雪原トレッキング 参加者13名</li> </ul> </li> <li>②「区界高原 雪のゆうえんち」の開設（子供用ソリ遊びコース、かまくらなど） <ul style="list-style-type: none"> <li>2月2日（日）、9日（日）、11日（祝）、16日（日） 参加者5,200名</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、雑誌掲載、ラジオ、市内、小中学校全児童、生徒に広報をした。雪のゆうえんちについては、市外からの来場が半数となった。観光資源を活用した地域活性化には、市内に加え市外からの集客が必要。トレッキングイベントについては、低コストで安定的な参加者が見込めることから、参加料等を財源とした事業者による実施が可能。雪のゆうえんちについては、地元の協力が必要であり、引き続き行政の関与が必要。</li> </ul>	拡充/改善	縮小	1	参加人数	人	目標	1,000	1,500	3,180
												実績	2,429	4,026	5,359
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
122 横沢温泉静峰苑整備事業	川井総合事務所	継続	R5	R7	令和3年度から給湯設備の木質ボイラー化を検討しており、令和6年度に薪ボイラーを導入した。 令和6年度は、悪天候等により利用者数が減少したが、薪ボイラーの導入による施設の付加価値が増した。	市の方針である脱炭素社会を推進するとともに、温泉施設としての魅力向上を図るため、木質バイオマスボイラーを導入した。 導入後は適切な維持管理、運用体制の構築に取り組む。 薪ボイラーの導入による施設の付加価値をPRし、集客に取り組む。	現状維持	現状維持	1	利用者数	人	目標	4,000	4,000	4,000
												実績	3,303	4,072	3,659
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
123 観光宣伝事業	観光課	継続	R2	R6	・イベント開催時や各種PRキャラバンで観光パンフレットを配布した。 ・観光関係施設にパンフレットを配架した。 ・令和5年度にラッピングしたバスを継続して運行した。	・年代によって情報収集の媒体の傾向が異なるため、広告内容を媒体（SNS、新聞、テレビ等）に合わせて作成。 ・10～30代の情報収集は、SNSの比重が高いことから、SNSの情報発信を強化する。 ・パンフレットやポスター等について、市外への配架・掲示場所を検討。	拡充/改善	現状維持	1	観光パンフレットの作成部数	部	目標	50,000	50,000	50,000
												実績	50,000	26,000	37,000
									2	ラッピングバス運行本数	本	目標	365	365	365
												実績	247	326	316
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(7) 連携・高付加価値型産業の形成															
124 産業支援センター事業	産業支援センター	継続	R2	R6	・国、県、関係機関と連携をとり、事業の効率化を図っている。 ・産業支援フォーラム・セミナー・研修等コロナ前の状況、昨年度に近い形で開催することができた。 ・物価高騰対策事業の窓口業務を通じて事業者の状況を把握することができた。	・事業者訪問や電話等のコーディネーター対応の件数が減少しているため、事業者のニーズ把握、情報収集を図るため事業者訪問を強化していく。 ・物価高騰対策を実施したことにより、事業者の動向がより幅広く確認できていることから、継続して幅広く事業者の動向を把握していく。	拡充/改善	現状維持	1	相談等（CD対応）の件数	件	目標	660	660	660
												実績	324	238	183
									2	セミナー・研修等参加者数	人	目標	160	160	160
												実績	240	345	303
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
125 産業振興補助事業	産業支援センター	継続	R2	R6	・補助件数は目標値を下回っているが、当補助金活用の相談を通じ、より具体化した事業計画の策定を支援した。 ・企業間や産業間連携の取り組みを増やしていきたい。 ・採択事業が長期間継続していないケースが見受けられることから、長期的な計画のある申請を増やしていきたい。	・年度で3回の申請及び事前相談を設けることで熟度の低い計画の申請を抑制し、実現性の高い事業を補助対象とした。 ・事業計画を策定する上で、外部支援機関からアドバイスを受けることを必須とし、より具体的な内容の計画となるよう促した。 ・申請内容が決まらない状態での申請も多々あり、相談があっても補助対象になる事業が少なかった。 ・パッケージ変更、商品改良となると補助率が1/2のため費用や申請・審査会の手間を考えると申請まで至らないケースもあり。 ・商品の売上向上につながる新パッケージ開発や、既存の売れ筋商品の強化にも活用しやすい補助率、申請方法の検討が必要。	拡充/改善	現状維持	1	補助事業実施件数	件	目標	5	5	5
												実績	3	3	1
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
126 食産業支援事業	産業支援センター	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税について、返礼品写真の撮影や文字入れを行い、個社支援などを行った。</li> <li>・返礼品の見せ方の強化、返礼品の変更・追加・改善等を行った。</li> <li>・国、県や関係機関との連携を強め、事業費の圧縮を図っている。</li> <li>・大型客船寄港時の事業者の販売支援・促進を行った。</li> <li>・事業者のECサイトのPR及びサイト、ふるさと納税PRチラシを発行し、各イベント等でPRを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発から売れ筋商品の強化、商品販売に重点を置く事業内容とする。</li> <li>・ふるさと納税の返礼品における売れ筋返礼品の発掘、強化を行う。</li> <li>・ふるさと納税のアイテム数、見せ方の充実を図る。</li> <li>・企業訪問・情報発信を強化する。</li> </ul>	現状維持	-	1	展示商談会等に出展した事業者数	件	目標	75	75	75
												実績	30	38	31
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
127 川井産業振興公社特産品加工施設整備事業	川井総合事務所	継続	R2	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茶葉加工</li> <li>しそ生産者数(人)：R5年度：20⇒R6年度：17《前年度比較▲3》、栽培面積(a)：R5年度：887⇒R6年度：701《前年度比較▲186》、収穫量(kg)：R5年度：133,366⇒R6年度：100,043(前年度比較▲33,323)。しそ生産者数の減少に伴い収穫量も減少した。</li> <li>○野菜加工</li> <li>原材料やエネルギー価格の値上げが原価に影響し、前年対比8%の減少となった。</li> <li>○飲料加工</li> <li>原材料やエネルギー価格の値上げが原価に影響し、前年対比9.5%の減少となった。加工施設の売り上げは、目標値に達しなかったが、年々増加傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特産品の販路拡大、販売価格の値上げ、受注計画に基づいた生産、新商品開発などに引き続き取り組む必要がある。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	しそ収穫量	kg	目標	124,000	121,000	120,000
												実績	118,952	133,366	100,043
									2	【参考】加工施設の売上	千円	目標	90,000	90,000	90,000
												実績	79,265	82,154	82,690
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(8) 再生可能エネルギー事業による地域内経済循環の推進															
128 再生可能エネルギーによる地域内経済循環推進事業	エネルギー推進課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー基金に積み立て(基金利子3千円、市有地貸付料15,129千円、宮古発電合同会社配当金12,404千円、宮古新電力株式会社配当金196千円)、省エネ・再エネ事業に繰り入れた。</li> <li>・「脱炭素先行地域」「脱炭素重点対策実施地域」として、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(脱炭素先行地域づくり事業、重点対策加速化事業)を活用した事業を進めた。</li> <li>・脱炭素先行地域づくり事業の中で設立した「田老発電合同会社」に出資した(12月、60,000千円)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネ講演会の回数を見直す(脱炭素先行地域づくり事業の設備導入に係る取組を優先するため)。</li> <li>・その他事業体(SPC)設立に向けた検討を進める。</li> </ul>	現状維持	縮小	1	再生可能エネルギー基金積立	千円	目標	30,000	30,000	27,000
												実績	32,695	32,137	27,732
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(9) 港湾の利用促進															
129 港湾施設使用料補助事業	企業立地港湾課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受けて、取扱いが減少した貨物がある一方で、新規貨物の取扱いが増加している。</li> <li>・道路網及び宮古港インターチェンジの整備により、藤原ふ頭から県内各地へのアクセスが飛躍的に向上したことをセールスポイントに、取扱貨物量の増加に向けたポートセールスの強化を図っている。</li> <li>・令和6年以降、陸上風力発電用資機材の利用が見込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係企業等に対する制度周知を継続していく必要がある。</li> <li>・令和6年度は令和5年度より減となっており、かつ、目標値には達していないことから、代理店や関係部署とも連携したさらなるポートセールスの強化が必要である。</li> <li>・上屋に保管されている貨物がストック用途として長期間動かないことから補助金の対象外となり、また、上屋内のスペースが有効に活用されていない状況がある。このため、比較的空きがある野積場の活用を進め、バラ貨物の取扱量を増やしていくことが必要である。野積場の利用拡大により、補助金の利用を促進し、取扱貨物量の底上げを図る。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	一時預り貨物取扱補助額	千円	目標	3,500	3,500	3,500
												実績	743	1,225	1,061
									2	(参考)一時預り貨物使用延べ面積【補助対象分】	㎡×日	目標	-	-	-
												実績	371,085	769,540	573,540
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
130 コンテナ航路補助事業	企業立地港湾課	継続	R2	R11	ここ数年実績がないものの、宮古港の貨物取扱量を増加させるためには、必要な制度である。	新規荷主の開拓のためのポートセールスやいわてポートフォーラムにおける企業に対しての制度紹介等により、制度を一層周知していく必要がある。	現状維持	現状維持	1	コンテナ航路補助額	千円	目標	170	170	170
												実績	0	0	0
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
131 宮古港利用促進事業	企業立地港湾課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の誘致に向けて、積極的に企業を訪問してセールスを実施している。</li> <li>R6年度のクルーズ船の寄港数は過去最多の10回となった。</li> <li>外国クルーズ船の寄港が増加傾向にあり、着実にポートセールスの成果が表れている。</li> <li>企業訪問は、R3年度に実施した「宮古港利用貨物の動向調査」やR4年度に実施した「北海道・東北間における水産品流通実態調査」の結果に基づき、北海道道東や北関東方面への企業訪問を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同課内の企業立地推進係を中心に、港湾利用企業の誘致・立地に向けたポートセールスの強化を図る必要がある。</li> <li>宮古港利用貨物の掘り起こしのため、R3年度に実施した調査で抽出された貨物を扱う物流・荷主企業、船舶運航会社(RORO船、バルク船)に対し、宮古港利用による輸送時間・コストの優位性を具体的に示したポートセールスを展開する必要がある。</li> <li>クルーズ船寄港時の対応の評価が今後の寄港地選定につながることから、受入方法についてさらなる工夫を図る。</li> <li>藤原ふ頭に17万総トンクラスのクルーズ船の寄港が可能となったことから、これまでのセールス先に加え、新たな船社やチャーターに対して積極的なポートセールスを展開する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	企業誘致数	件	目標	1	1	1
												実績	0	0	0
									2	客船寄港回数	回	目標	6	8	10
												実績	5	8	10
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
132 フェリー利用促進事業	企業立地港湾課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度4月1日から宮古・室蘭フェリー航路の宮古寄港が休止となり、令和4年2月には室蘭・八戸航路も休止となっている。</li> <li>フェリーの寄港再開及び宮古港の利用促進に向けた貨物の確保、増加を図るため、「宮古港フェリー利用貨物の動向調査」を実施し、フェリー利用可能性貨物と物流動向を調査した。</li> <li>R3年度に実施した調査結果などを基に、北海道・東北及び関東地区の物流企業を中心としたポートセールスを実施した。</li> <li>港内の静穏度対策など、再開に向けた港湾整備を進めるよう国土交通省などに要望活動を行った。</li> <li>フェリーの宮古寄港一時休止に伴い、当面の間はフェリーの寄港再開が目標となるため、目標値を1便に設定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備による宮古港のアクセス・利便性の向上等をセールスポイントとしながら、R3年度に実施した調査の結果などを基にフェリー貨物の掘り起こし、港湾利用企業の立地及び新規航路誘致に向けたポートセールスの強化を図る必要がある。</li> <li>寄港再開に向けた港内環境の整備を進めるため、要望活動を継続して行っていく必要がある。</li> <li>室蘭市と連携して取り組むことが重要であり、市民交流などの活動を継続して実施していく必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	フェリー航路数	便	目標	1	1	1
												実績	0	0	0
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
133 タグボート常駐補助事業	企業立地港湾課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タグボートは船舶の安全な航行のため重要な港湾施設であり、宮古港の機能維持・向上のためにはタグボートの常駐は必要である。</li> <li>・令和2年4月1日から宮古・室蘭フェリー航路の宮古寄港が休止し、フェリー運航でのタグボート利用はない。</li> <li>・大型貨物船の入出港には、タグボートの稼働が必要である(必要時は入出港で2隻ずつ)。</li> <li>・クルーズ船の寄港にも、タグボートの稼働が必要である(必要時は入出港で1回ずつ)。</li> <li>・タグボートが常駐していることで、宮古沖で海難事故等が発生した際にも早期の救助が可能である。</li> <li>・R4年度にタグボート運航会社に、条件の再度の見直しによる経費の再積算を依頼した。</li> <li>※R6年度は、29,940千円(R5年度同額)で常駐補助金の交付契約を継続することとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県・市をはじめ関係者でフェリー航路の再開に向けて活動しているため、フェリーの安全運航に必要なタグボートも継続して常駐が必要である。</li> <li>・宮古港に寄港するクルーズ船が年々大型化しており、タグボートの必要性も高まっている。</li> <li>・貨物船の寄港増加を目指すうえで、タグボートの常駐は必要である。</li> <li>・船舶のタグボート利用による収入のみで常駐できる体制を確立するため、港湾取扱貨物量増加に向けた取り組みを強化する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	タグボートの宮古港への常駐	隻	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
134 Sea級グルメ全国大会参加事業	企業立地港湾課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年度は鳥取県境港市で開催され、宮古市は「サーモンスティック」で出店。</li> <li>・2日間で1,500食を販売した(完売)。</li> <li>・H27年度に開催された第6回みなのオアシスSea級グルメ全国大会inみやこで、「真崎焼き」がグランプリを受賞。</li> <li>・H23年度の第1回大会(広島県三原港)、H28年度の第8回大会(岡山県宇野港)、R元年度の第12回大会(新潟県佐渡両津港)を除き、毎年参加。(その他、R2、R3年度は新型コロナウイルスの影響により開催中止)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会へ参加することにより宮古のPRにつながっていることから、継続して参加していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	大会への参加	回	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2	宮古ブース来場者数	人	目標	800	800	1,500
												実績	800	800	1,500
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(10) 雇用の促進と労働者の福祉の充実															
135 雇用促進対策事業	産業支援センター	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規卒者等就業奨励金については、企業や補助対象者への周知が広がり増加傾向で推移している。</li> <li>・若者就職活動支援補助金については一昨年と同等の数値となった。</li> <li>・国のトライアル雇用事業により、事業所の協力を得ながら試用雇用された求職者が、常用雇用へ移行している。</li> <li>・資格取得者数は減少傾向にある。資格取得講座の受講者数を増加させる取り組みが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各制度とも採用企業側、求職者側、双方にとってメリットが大きいものであることから、今後も事業を継続していく必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	資格取得者数	人	目標	100	100	100
												実績	68	61	59
									2	市トライアル雇用適用常用雇用企業数	事業所	目標	10	10	10
												実績	3	2	1
									3	新規卒者等就業奨励金申請件数	件	目標	100	100	100
												実績	88	123	103
									4	若者就職活動支援補助金申請件数	件	目標	30	30	30
												実績	10	17	10

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
136 労働就業支援事業	産業支援センター	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと就職面談会は、令和3年度に新型コロナウイルス感染所拡大の影響により中止し、令和4年度より再開。令和5年度はコロナ禍以前より参加者が減少したものの、求職者と事業所が直接面談をすることができる貴重な場であり、管内の就業者の増加につながっている。また、令和6年度は、年度内に2回開催をし、参加事業所、参加者数ともに大幅な増加となった。</li> <li>・シルバー人材センターの会員数は前年度比で若干の減少、年間就業延べ人員は若干の増加となった。</li> <li>・勤労者生活資金等預託金は、需要が落ち着いていることから、令和4年度より預託金を5,000千円減少。勤労者にとって公的なセーフティネットとして活用されるよう、周知に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部集中型から地方での就労を検討する者が増加しており、今後も継続してU・Iターン就労希望者に対する取り組みを実施していく。</li> <li>・例年2月頃に開催していた「ふるさと就職面談会」について、お盆に帰省する学生や、宮古出身のUターン者を取り込むため、令和5年度より8月開催とした。令和5年度はお盆期間中の開催のため来場者が少なかったが、令和6年度は開催日をお盆前に開催した。また、2月に第2回目を開催した。令和7年度も同様に2回開催の予定。</li> <li>・若年者が減少している昨今において、高齢者の経験と能力を發揮する場、また自ら生きがいとして社会参加を目指す場を提供するため、今後も支援を継続していく。</li> <li>・勤労者生活資金等預託金は、今後も突発的な災害や、燃油・物価高騰等で生活が困窮する就労者のため継続していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	ふるさと就職面談会参加企業数	社	目標	50	50	50
										実績	37	33	54		
									2	ふるさと就職面談会参加者数	人	目標	80	80	80
										実績	69	41	133		
									3	シルバー人材センター会員数	人	目標	400	400	400
										実績	292	297	293		
									4	シルバー人材センター就業延べ人員	人	目標	35,000	35,000	35,000
										実績	25,255	24,979	25,470		
3 安全で快適な生活環境づくり															
(1) 防災・危機管理体制の充実															
137 津波避難誘導施設整備事業	危機管理課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度：海外からの半導体等の部品流通が困難となり、2基の設置となった。</li> <li>・令和5年度：部品の流通も平常通りに戻り、適正数の設置となった。</li> <li>・令和6年度：令和6年度は当初予定していた鎌ヶ崎地区のほかに日立浜の1箇所を追加して設置をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度：海外からの半導体等の部品流通が困難となり、2基の設置となった。</li> <li>・令和5年度：部品の流通も平常通りに戻り、適正数の設置となった。</li> <li>・令和6年度：令和6年度は当初予定していた鎌ヶ崎地区のほかに日立浜の1箇所を追加して設置をした。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	避難誘導標識設置数	基	目標	5	5	5
										実績	2	6	6		
									2			目標			
										実績					
									3			目標			
										実績					
									4			目標			
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
138 防災行政無線整備事業	危機管理課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度（繰越事業）、田老地区の防災行政無線のデジタル化を完了。</li> <li>令和3年度、屋外拡声子局整備（新設2基：岩船地区、移設2基：田の沢地区及び小堀内漁港）を実施。</li> <li>令和4年度、屋外拡声子局整備（新設2基：出崎埠頭及び女遊戸海岸、移設1基：鉦ヶ崎地区、改修2基：宿漁港及び平津戸地区）を実施。（うち、海岸高性能スピーカ局は女遊戸海岸に2局整備）</li> <li>令和5年度、屋外拡声子局整備（新設2基：高浜地区及び横須賀地区、移設1基：小国永田地区）を実施。（うち、海岸高性能スピーカ局は高浜地区に整備）</li> <li>令和6年度、屋外拡声子局整備（新設2基：白浜地区及び崎山箱石地区、移設2基：磯鶏地区及び田老長畑地区）を実施。（うち、海岸高性能スピーカ局は白浜地区に整備）</li> </ul> （※海岸高性能スピーカ局：海岸に向けて広角且つ高出力のスピーカとLEDフラッシュライト等を備えた屋外拡声子局。海上で作業する漁家等に音声と光で緊急情報を伝達することを目的とするもの。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後海上でのニーズの高まりに対応し、海岸高性能スピーカ局も整備していく。</li> <li>陸上の難聴地区解消のため、新たなまちづくり等により難聴となっている区域に防災行政無線を整備（新設、移設及び改修）する。</li> <li>再送信子局及びFWA回線の更新検討時期となっており、不具合発生を未然に防ぐため、早期更新を検討のうえ、整備していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	デジタル化	式	目標	1	1	1
										実績		1	1	1	
									2	海岸高性能スピーカ局整備数	局	目標	2	1	1
												実績	2	1	1
									3	防災行政無線難聴解消数	局	目標	5	3	4
												実績	5	3	4
									4			目標			
												実績			
139 急傾斜地崩壊対策事業	建設課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年東日本台風により土砂崩れが発生した築地地区は、令和2年度より事業着手し、令和6年度に完成。</li> <li>令和6年度から太田二丁目に着手。</li> </ul> 【近年の整備箇所】 山口五丁目(H23～H30)162,000千円 補強土工・擁壁工 鉦ヶ崎(H27～R3) 60,000千円 法面工 愛宕(H27～R2) 35,000千円 法面工 築地(R2～R6) 250,000千円 法面工	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県が整備を進める急傾斜地崩壊対策事業の進捗に応じて、受益者負担金を支出していく。</li> <li>市民生活の安全を確保するため、岩手県に対し、施設整備の促進について継続して要望していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	急傾斜地崩壊対策事業施設整備済み箇所数	箇所	目標	44	44	45
										実績		43	43	44	
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
140 危機管理型水位計整備事業	危機管理課	継続	R6	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6年度は、市管理河川において不足する1箇所（二幹線2号支線橋）に整備を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の水位計の運用を図りながら、市管理河川において不足する箇所を検討し、必要な整備を図る。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	水位計設置数	基	目標	26	29	30
										実績		26	29	30	
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			



基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
145 災害資料アーカイブシステム構築事業	田老総合事務所	継続	R4	R6	令和6年度の利用者について、防災・減災や教育、研究に活用していることを把握することができた。 また令和7年6月に開館予定の「宮古市災害資料伝承館」の展示に災害資料アーカイブを活用した展示の充実を図ることができた。 今後はさらに伝承館との連携を強めると同時に、内容の充実を図るため、資料収集や情報収集、コンテンツの充実化を図り、利用者にはわかりやすいサービスについて検討していく。	令和7年6月に開館予定の「宮古市災害資料伝承館」との連携を強化し、相互で情報発信を行い、ニーズに合わせた内容の充実化、新たな情報や資料の収集を行う必要がある。	休廃止/ 終了	縮小	1	Webサイト閲覧数	人	目標	50,000	36,000	48,000
												実績	0	34,191	51,404
									2	学ぶ防災プログラム利用者	人	目標	22,000	25,000	30,000
												実績	13,630	14,010	11,832
									3	道の駅たろう入れ込み数	人	目標	330,000	340,000	350,000
												実績	251,901	242,333	239,004
									4			目標			
												実績			
(3) 消防・救急の充実															
146 消防屯所等整備事業	消防対策課	継続	R4	R6	・火災、自身、風水害等の災害から市民を守るため、消防団員数933名の活動に必要な施設を整備した。 第1期消防施設再配置計画総合管理計画に基づく消防屯所等の計画的な整備の実施により、施設の長寿命化を図り継続して消防屯所等を整備することができた。 【令和6年度】 ・第4分団屯所2階全面雨漏り、照明修繕 ・第8分団屯所2階全面雨漏り修繕 ・第12分団屯所屋根塗装、シャッター及びトイレ修繕 ・第17分団ホース乾燥塔塗装修繕 ・第22分団屯所トイレ及びシャッター修繕 ・第27分団屯所シャッター修繕、ホース乾燥塔塗装及び散水栓修繕 ・第40分団ホース乾燥塔塗装修繕	・消防屯所等は、発災時に異常なく使用できるよう現地確認調査を十分に行うことが重要であり、常に状態を把握し消防団の意見を伺いながら整備を継続していく。	現状維持	現状維持	1	消防屯所等の更新整備	棟	目標	5	2	5
												実績	3	2	7
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
147 消防ポンプ自動車整備事業	消防対策課	継続	R4	R6	宮古市消防団消防ポンプ自動車更新計画に基づき、事業を完遂した。 令和5年度更新の26分団ポンプ車は、繰越明許により令和6年度に納入、配置された。 令和6年度は事業計画どおり年度内に納入、第5分団に配置された。	更新時期を概ね20年から25年に、毎年度2台更新だったものを1台に変更し、かつ、損耗度合いを勘案しながら更新する。	現状維持	現状維持	1	消防ポンプ自動車更新台数	台	目標	1	1	1
												実績	1	0	2
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
148 小型動力ポンプ整備事業	消防対策課	継続	R4	R6	令和6年度計画なし	更新時期を概ね20年経過から25年経過に、かつ、損耗度合いを勘案しながら隔年2台を計画的に更新する。	現状維持	現状維持	1	小型動力ポンプ更新台数	台	目標	-	2	-
										実績	-	2	-		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
149 小型動力ポンプ積載車整備事業	消防対策課	継続	R4	R6	令和6年度の計画なし。	更新時期を概ね20年から25年に、毎年度2台更新から隔年1台に変更し、かつ、損耗度合いを勘案しながら更新する。	現状維持	現状維持	1	小型動力ポンプ積載車更新台数	台	目標	1	-	-
										実績	1	-	-		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
150 防火水槽築造事業	消防対策課	継続	R4	R6	全域にわたり消防水利を確保するため、必要性の高い地域を把握し築造した。	事業費の低減を図るため、公有地に築造することを前提にした。	現状維持	現状維持	1	防火水槽築造数	基	目標	1	1	1
										実績	1	1	1		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
151 消火栓整備事業	消防対策課	継続	R4	R6	年度計画どおり、地下式消火栓1基を新設した。 【令和6年度】新規1基（臨港通）	①道路整備及び水道管布設替えの情報を関係課と共有し、効率的に設置した。 ②資材費及び諸経費の上昇など社会的背景に鑑み、新設整備を1基とした。	現状維持	現状維持	1	消火栓新設・更新数	基	目標	4	3	1
										実績	4	4	1		
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
152 消防団活動環境整備事業	消防対策課	継続	R4	R6	<p>【消防団員情報管理システム運用】 令和4年度4月から年額報酬、出勤報酬が個人口座への支払いとなったため、支払い事務を円滑に行うために導入したシステムである。このシステムの導入により人為的ミスが減り、報酬をより確実に個人口座へ支払うことが可能となっており、当該システムの使用及びサーバーの賃貸契約を継続している。</p> <p>【消防団員の被服整備】 令和6年度中の計画はなかったもの。</p>	<p>【消防団員情報管理システム運用】 情報管理の一元化を進めるため、庁内ランシシステムとオンラインにする必要がある。</p> <p>【消防団員の被服整備】 消防団員の被服は半纏や活動服など様々あることから、補助金等の財源を確認しながら計画的に更新する必要がある。</p>	現状維持	現状維持	1	消防団員の被服整備数	着	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									2	消防団員情報管理システム運用	式	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(4) 交通安全の推進															
(5) 防犯体制の充実															
(6) 市民相談の充実															
153 消費者保護対策事業	生活課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活相談員の資質向上を目的とした研修会への参加は、オンラインで参加できるようになったこともあり、目標どおりの受講ができています。</li> <li>出前講座は依頼を受けての実施のため、目標には届いていない。</li> <li>消費者月間(5月)に合わせて「消費生活パネル展」を実施。また、若者、高齢者など年代に合わせた啓発チラシ等の配布により、啓発活動は実績を上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の消費者トラブル防止を中心に、出前講座等を実施し啓発を行う必要がある。</li> <li>啓発活動の指標を「出前講座、街頭啓発」に限定することなく、「消費生活パネル展」の実施及びホームページでの注意喚起などの実績を含めることも検討したい。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	消費生活相談員の研修回数	回	目標	20	20	20
												実績	23	36	21
									2	啓発活動(出前講座、街頭啓発)	回	目標	12	12	12
												実績	2	5	10
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
154 被災者生活支援事業	生活課	継続	R3	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査を基に支援が必要な世帯や、アンケート未回答の75歳以上の高齢者がいる世帯、計1,100件を抽出し訪問対象とした。</li> <li>さらに、65歳以上の独居高齢者、75歳以上の高齢2人世帯を訪問対象世帯加えた。</li> <li>ただし、これらの中から若年代と同居または介護サービス等を活用し見守りが十分な高齢世帯と、就労している若年世帯を控除。対象を838世帯に絞った。</li> <li>令和4年度から令和6年度で838世帯の訪問完了。ただし、課題があり訪問が必要な世帯が46世帯となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な訪問計画を策定し、訪問率を増加する。</li> <li>社協を含めた被災者連絡調整会議の参加部署等関係機関との連携を維持する。</li> </ul>	現状維持	-	1	訪問相談率	%	目標	10	40	70
												実績	5	71	70
									2	支援不要世帯数	件	目標	500	500	500
												実績	73	431	454
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績							
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6	
(7) 住環境の整備																
155 市営住宅ストック改善事業	建築住宅課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅は市内に26団地934戸、災害公営住宅は18団地563戸が整備されている。</li> <li>・入居率は、市営住宅60.9%(政策空き家含む)、災害公営住宅95.4%となっている。</li> <li>・市営住宅26団地の建築年次(住棟)別内訳は、昭和30年代3団地、昭和40年代9団地、昭和50年代7団地、昭和60年代以降12団地となっており、一部団地では設備の老朽化も進んでいる。</li> <li>・令和2年度は、館合住宅の受水槽改修工事、日の出1号棟の外壁改修工事を行った。</li> <li>・令和3年度は、日の出2号棟の外壁改修工事を行った。</li> <li>・令和4年度は、西ヶ丘団地住宅の外壁改修工事及び太陽光発電設備設置工事の実施設計を行った。</li> <li>・令和5年度は、西ヶ丘団地住宅1号棟の外壁改修工事、太陽光発電設備設置工事を行った。また、日の出団地住宅2号棟受水槽改修工事及び西町災害住宅1・2号棟太陽光発電設備設置工事の実施設計を行った。</li> <li>・令和6年度は、西ヶ丘団地住宅2号棟外壁改修、太陽光発電設備設置、日の出町団地住宅2号棟受水槽改修工事を行った。また、西ヶ丘団地住宅1・2号棟の受水槽改修工事の実施設計を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画に基づき、人口減少に伴う公営住宅需要の減少や、老朽化した市営住宅の設備状況等を考慮しながら、維持管理、改修、建替、用途廃止を行い、公営住宅の管理戸数の適正化を図っていく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	改修棟数(戸)	部屋	目標	-	48	48	
												実績	-	48	48	
									2	目標						
										実績						
									3	目標						
										実績						
									4	目標						
										実績						
156 災害復興再建住宅融資利子補給事業	建築住宅課	継続	H24	R8	<p>平成24年度から東日本大震災被災者が住宅債務建設または購入のために資金を借入れに係る利子相当額や被災住宅の補修、改修を行う場合の費用に対して補助している。</p> <p>令和5年度までに1,612件832,365千円を補助し、住宅の早期復興を支援している。</p>	令和3年度で新規受付を終了している。(R8年度事業終了予定)	現状維持	現状維持	1	住宅建築利子補給	件	目標	14	14	7	
												実績	14	11	6	
									2	目標						
										実績						
									3	目標						
										実績						
									4	目標						
										実績						
157 生活再建住宅支援事業(浸水宅地復旧)	都市計画課	継続	H24	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、制度の周知を行い、早期の宅地復旧を支援する必要がある。</li> <li>・東日本大震災については令和2年度に終了、台風10号分については令和3年度で終了、台風19号分については令和6年度までとしている。(東日本大震災については発災から10年、台風については発災から5年を目的)</li> </ul>	-	休廃止/終了	-	1	復旧費用を助成した件数	件	目標	10	6	6	
												実績	1	0	0	
									2	目標						
										実績						
									3	目標						
										実績						
									4	目標						
										実績						

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
158 被災者定住促進住宅建築 利子補給事業	建築住宅課	継続	H24	R6	平成24年度から被災者が住宅建設または購入のために資金を借り入れた場合の利子相当額を補助している。 令和6年度までの補助件数は563件1,074,440千円を補助し、住宅の早期復興に対して支援している。	東日本大震災における被災者生活再建支援法に基づく加算支援金が令和3年4月10日まで再延長することから、被災者定住促進住宅建築利子補給事業を令和3年度まで延長し事業実施した。 東日本台風（令和元年台風19号）の被災者に対する支援はR7.3.31まで延長した。 申請者に対して、市広報及び市HP等を活用して周知を図った。	休廃止/ 終了	無	1	住宅建築利子補給 件数	件	目標	1	1	1
												実績	1	0	0
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
159 危険住宅移転事業	建築住宅課	継続	R2	R8	危険住宅移転事業の実績 ・東日本大震災 平成24年～令和2年度 116件 223,787千円 ・通常がけ近 平成27年2件5,754千円、 令和元年1件957千円、令和3年1件975千円、 令和4年1件4,947千円、 令和6年度1件1,334千円	・復興交付金が令和2年度で終了となったことから、東日本大震災による危険住宅移転事業（津波がけ近）は令和2年度で終了した。 以降、がけ近事業は、社会資本整備総合交付金事業として実施する。 ・近年の頻発化、激甚化する自然災害を背景に、「災害リスクの高い場所には、原則として住まない、住ませないことが重要」（R3財政審建議）との観点から、所有者意向等に 応じたハザードエリア内から自発的な移転の支援を強化する必要がある。 ・国ではハザードエリア内の住宅の除却を一層推進するため、令和5年度から危険住宅の除却費に係る限度額を「住宅局標準建設費等通知に定める除却工事費」に拡充したところである。	現状維持	現状維持	1	危険住宅の除却等 の件数	件	目標	1	1	1
												実績	1	0	1
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
160 木造住宅耐震支援事業	建築住宅課	継続	R2	R8	・耐震改修工事の支援についての説明資料を、これまで耐震診断を受けた方に対して郵送し、制度の周知、申し込みの誘引を図った。 ・広報やHP・固定資産税納付書等により事業案内を行った。 ・地元ラジオで、耐震診断、改修工事支援事業の周知を行った。 ・対象住宅が集中する地域を中心に戸別訪問を行い、耐震化の必要性を伝え、事業の周知を行った。	・建築士会の会員へ耐震診断・改修工事支援事業の周知を行い事業の活用化を促した。 ・国の補助制度の変更に伴い支援額の拡充を図り耐震改修が取り組みやすい環境整備を図った。 ・対象建築物の経年（40年以上）から取組件数が停滞しているが、地震への対策を再度周知し住宅の耐震化を図る。 ・耐震改修工事に係る費用が補助金の限度額を超過し、耐震化が進まない一因となっている。	拡充/ 改善	拡充	1	診断・改修申込件 数	件	目標	12	12	12
												実績	4	3	4
									2	耐震改修相談件数	件	目標	10	10	10
												実績	6	10	10
									3	戸別訪問戸数	戸	目標	60	60	60
												実績	70	80	127
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
161 ブロック塀等安全確保対策事業	建築住宅課	継続	R4	R8	・令和3年度は、一般財源で事業実施した。 ・令和4年度以降は、社会資本整備総合交付金を財源として実施する。	申込件数が減少傾向にあることから事業の周知を図る必要がある。	現状維持	現状維持	1	申込件数	件	目標	10	10	10
												実績	6	4	4
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
162 空き家対策事業	企画課	継続	R2	R6	空家バンクへの新規登録件数は12件にとどまったが、目標値を大きく上回った。年度内に9件成約しており、高い成約率を維持している。 空家等活用補助金を交付し、除却や利活用の促進を図った。(除却46件、リフォーム3件) 除却の申請件数が、昨年度をはるかに上回り、補正予算対応を行った。 相続に関するセミナー及び個別相談会を1回開催(参加者数133名)、参加者数が多く空家対策の意識啓発を行うことができた。	空家等活用補助金の交付を継続し、管理が行き届いていない空家の除却を進めるとともに、さらなる利活用の促進を図る。 空き家バンクについては登録件数を増加させるとともに、ホームページやSNS等を活用し、事業の認知度向上を図る。	拡充/改善	現状維持	1	空家の件数	件	目標	1,280	1,152	1,036
												実績	1,436	1,436	1,436
									2	市への空家の苦情件数	件	目標	25	24	23
												実績	16	11	15
									3	空家バンク新規登録件数(再登録を除く)	件	目標	7	8	9
												実績	8	24	12
									4	空家相談会を開催した回数	回	目標	2	2	2
												実績	2	1	1
(8) 安全・安心な水の供給															
163 上水道施設整備事業(旧田老簡水統合)	施設課(総合計画管理入力用)	継続	H20	R7	令和4年度で、旧田老簡水統合にかかる配水管整備と給水切替はすべて終了した。 令和5年度は、県道の歩道部分の舗装復旧工事を行った。 令和6年度は、県道の車道部分の舗装復旧工事を行った。	令和5年度は、県道の歩道部分を復旧した。 令和6年度は、県道の車道部分を復旧し事業完成となる。	現状維持	現状維持	1	配水管布設工事(延長)	m	目標	0	-	-
												実績	11	-	-
									2	給水切替工事(地区ごと)	箇所	目標	19	-	-
												実績	19	-	-
									3	舗装復旧工事(舗装面積)	m <sup>2</sup>	目標	1,800	1,000	2,000
												実績	671	851	986
									4	目標					
										実績					
164 上水道施設整備事業(基幹改良 旧去石田代簡水)	施設課(総合計画管理入力用)	継続	H27	R8	令和4、5年度は、電気料金の改定により事業費が不足したことから、本事業を見送りとした。 令和6年度は、給水管の切り替えを行った。	令和2年度に本管の布設工事は完了した。 給水切替工事は去石地区(14カ所)と松草地区(16カ所)が未実施であり、この工事が完了しなければ、本事業の効果が得られないことから確実に実施する必要がある。 舗装復旧工事は、本管部は完了しているもので、未実施である給水切替箇所について、給水切替工事と工程を調整をしながら進めていく必要がある。	現状維持	現状維持	1	配水管布設替工事	m	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									2	給水切替工事(件)	件	目標	-	-	12
												実績	-	-	19
									3	舗装復旧工事(舗装面積)	m <sup>2</sup>	目標	-	-	1,000
												実績	-	-	0
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
165 上水道施設改修事業（電気・機械）	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R5	R6	津軽石ポンプ場整備工事は、建築・土木・電気設備・機械設備工事の4工種が同時進行し、機器類の納期や受注者間の施工調整など工程管理に苦慮したが、定例会議（毎月）の徹底により工期内に完成し良好な成果が得られている。	水道水源の変更に伴い送水施設の耐震化率と更新率は向上したが、送水管路や配水施設などの耐震化と更新を継続して取り組む必要がある。また、工事の分離発注における施工区分について、今後も継続して検証し現場に即した発注に努める必要がある。	拡充/改善	拡充	1	八紘台送配水場低圧配電盤更新工事	式	目標	-	1	-
												実績	-	1	-
									2	津軽石系施設改修工事	式	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
166 上水道施設改修事業（土木）	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	令和5年度に、津軽石ポンプ場の用地を買収した。津軽石ポンプ場にポンプ井を築造した。令和6年度に、津軽石ポンプ場にポンプ室、ポンプ設備、場内配管を築造した。これにより、目標としていた令和7年4月の供用開始が可能となった。	津軽石ポンプ場は、令和7年4月の供用開始にむけ令和5、6年で施設を完成させなければならない。老朽化により、施設のフェンスが損傷しているところがあるので早期の復旧が必要である。施設の場内舗装が未実施のところがあるので、早急に実施したい。	現状維持	現状維持	1	施設改修及び更新実施件数	件	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2	施設改修に係る設計委託件数	件	目標	1	-	-
												実績	2	-	-
3	フェンス改修等	件	目標	3	3	3									
			実績	5	0	3									
4			目標												
			実績												
167 上水道配水施設改修事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	津軽石地区における水質汚染対策として、津軽石地区の送水管の布設工事を実施した。佐原地区、藤原地区、南町地区で老朽管の更新を行った。近内橋水管橋の塗装工事を行った。	老朽管更新は、継続して実施する。水管橋の点検は、令和5年度から職員による定期点検を実施しているため、その点検で異常が確認できれば速やかに詳細点検に移行する。	現状維持	現状維持	1	配水管更新	m	目標	2,400	1,200	500
												実績	2,242	741	507
									2	耐震化率	%	目標	28	30	31
												実績	26	26	26
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
168 水質検査機器更新事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	水質検査機器は法定耐用年数が5年となっているが、購入後概ね10年が経過した機器を対象に、メーカーのサポート体制や機器の状態等を考慮しながら、年次計画を策定の上、更新を行っている。基本的に予備となる機器は所有していないので、機器の故障の際には保守部品の製造終了に伴い、修理不可能にならないように、毎年、更新計画の見直しを行い実施している。	水質検査機器は1台当たりの価格が高価であることから、年次計画を策定の上更新を行っている。できるだけ長く使えるようにするため機種を選定が重要となるが、ポイントは次のような点が挙げられる。 ・分析項目の検出感度が十分にある機種を選定する。 ・販売実績の豊富な機種を選定する。（売れている機種は、保守部品の供給期間も長くなる） ・毎年、9月に分析展が開催されるので、新製品発表の情報をよく確認する。	現状維持	現状維持	1	更新機器台数	台	目標	2	2	8
												実績	2	2	8
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績							
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6	
169	マッピングシステム・データ更新事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	毎年度の上水道施設、管路、修理履歴、家屋等のデータを落とし込んで、上水道の情報を整備し、使用者、行政が円滑に利活用している。	現状維持	現状維持	1	水道施設管理システム更新業務委託	件	目標	1	1	1	
												実績	1	1	1	
									2	目標						
										実績						
									3	目標						
										実績						
									4	目標						
										実績						
(9) 衛生的な水環境の確保																
170	公共下水道整備事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	補助の要件に該当する管渠の整備は令和2年度末で、概ね完了となっている。現在は、補助要件に該当しない末端管渠の整備を行っている。令和6年度は、公共樹設置のみであった。	現状維持	現状維持	1	水洗化人口の割合	%	目標	76	77	77	
												実績	76	76	77	
									2	目標						
										実績						
									3	目標						
										実績						
									4	目標						
										実績						
171	公共下水道耐震化事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	令和6年度は、国費の配分が少なく、予算不足により事業を進めることが出来なかった。	現状維持	現状維持	1	耐震化改修箇所数	箇所	目標	25	1	1	
												実績	25	0	0	
									2	目標						
										実績						
									3	目標						
										実績						
									4	目標						
										実績						
172	下水道管路施設長寿命化事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R8	管渠の布設替えについては、入札不調が続いており進捗していない。鉄蓋交換については、管渠布設替を見込んでいた事業費を鉄蓋交換に充てているため予定より早く進んでいる。	早期発注を行う。	現状維持	現状維持	1	管渠布設替実施延長	m	目標	54	33	35
													実績	0	0	0
										2	鉄蓋交換実施個数	枚	目標	8	6	2
													実績	25	36	11
										3	目標					
											実績					
										4	目標					
											実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
173 下水道施設長寿命化事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	令和6年度は、防災安全交付金の配分が要望額どおりとならなかったため、機器の更新計画を変更し対応した。		現状維持	現状維持	1	機器更新数	基	目標	3	3	2
												実績	0	4	2
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
174 雨水排水施設整備事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	令和6年度は、築地雨水ポンプ場を整備するための詳細設計を行った。事業の進め方として、日本下水道事業団と設計業務の協定を締結し、進めている。	日本下水道事業団及び設計のコンサルタントと定期的に協議の場を設け、設計内容の確認を行いながら工程管理もしている。	現状維持	現状維持	1	委託業務及び工事の発注件数	件	目標	2	1	1
												実績	2	1	1
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
175 下水道台帳調査・データ更新事業	施設課（総合計画管理入力用）	継続	R2	R6	毎年度の下水道工事の情報を年1回台帳に落とし込んで、下水道の情報を整備し、使用者、行政が円滑に利活用できるようにしている。		現状維持	現状維持	1	下水道台帳調査・データ更新事業	件	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
176 市営浄化槽整備事業	生活排水課	継続	R2	R6	浄化槽の整備を推進し、浄化槽処理人口の増加を目指す。本事業の推進により、汚水処理人口普及率の向上が期待できる。		現状維持	現状維持	1	浄化槽整備	基	目標	50	50	50
												実績	51	36	35
									2	浄化槽維持管理	基	目標	1,523	1,584	1,624
												実績	1,494	1,565	1,602
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
177 市営浄化槽整備事業（付帯事業）	生活排水課	継続	R2	R6	当該住宅付近に放流先がなく、排水路の確保にかかる費用の一部を補助するもので、浄化槽整備を推進していくうえで必要性が高い。	-	現状維持	現状維持	1	放流管設置補助	件	目標	10	10	4
												実績	3	1	0
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
178 生活排水路対策事業	生活排水課	継続	R2	R6	浄化槽整備には、排水放流先が必要になる。当該住宅付近に道路側溝等がないために排水放流先に苦慮している市民に対し、住民要望等も併せて、選定、計画して実施する本事業は柔軟性と効率性がある。	-	現状維持	現状維持	1	道路側溝等の排水路整備	m	目標	136	144	150
												実績	138	71	52
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
179 農業集落排水処理施設機能保全事業	生活排水課	継続	R2	R6	予定価格に対して、落札額が最低制限価格と同額となったため、執行差金を次年度計画をしていた機器の更新工事に充てることができ、事業が進捗した。	-	現状維持	現状維持	1	更新機器数	ヶ	目標	-	4	6
												実績	-	10	7
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
180 水洗化促進事業（特別会計分）	生活排水課	継続	R2	R6	浄化槽の整備を促進し、処理人口の増加を目指すため、水洗化に関する制度、要する費用の内容説明により、促進が図られる。新規利子補給利用者は現在3件、令和6年度の新規利用者はなかったが、継続して行っている。	低金利基調であり、利子補給利用のニーズは低調傾向である。	現状維持	縮小	1	水洗便所改造資金無利子補助金	件	目標	4	4	4
												実績	2	3	3
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
181 水洗化促進事業（企業会計分）	生活排水課	継続	R2	R6	本件を含めた事業の展開により、水洗化率は向上しているものの、未だに水洗化に至っていない世帯もあり、継続して働きかけを行う必要がある。 下水道及び水洗化PRのためにマンホールカードを作成し、道の駅なあと（公共下水道分）、道の駅たろう（特定環境保全公共下水道分）で配布している。 令和5年度からは、道の駅に設置したマンホールの位置がわかるようにのぼり旗等を設置した。 令和6年度からは、産業まつりの下水道ブース出展を廃止した。	-	現状維持	現状維持	1	マンホールカード作成	件	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2	宮古市産業まつり出展	回	目標	1	1	-
												実績	1	1	-
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(10) 環境衛生の充実															
182 家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託事業	生活課	継続	R5	R7	・委託による収集体制を維持し、家庭系廃棄物の適正処理を行った。 ・廃棄物の分別を促進するため、誤った分別を行った場合、廃棄物に誤りを記載したシールを貼り指導を行い必要に応じて、きれいなまち推進員が直接指導を行った。 ・収集日以外に集積場にごみを出したり、分別が全くされていない場合には、推進員が注意喚起のラベルを作成し、地元町内会と協力し掲示するなど、正しいごみ出しの指導を行った。	-	現状維持	-	1	不法投棄のパトロール	回	目標	52	52	52
												実績	49	41	53
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
183 公園環境整備事業（旧：都市公園等環境整備事業）	都市計画課	継続	R2	R6	・老朽化などにより危険となった遊具、施設の修繕を行っているが、C判定（危険）以下の遊具施設の解消には至っていない。 ・安全領域（公園遊具・施設は、他の遊具・施設との距離が十分に確保されているか。）が見直されたため、見直し前に整備された公園が、安全領域が確保されていないとしC判定を受けている。 ・遊具設置基数447基 ・公園施設長寿命化計画の策定に伴い、令和5年度に指標を見直した。	-	現状維持	現状維持	1	前年のC判定以下の遊具数	件	目標	76	117	104
												実績	89	117	104
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
184 都市公園等公園施設バリアフリー化事業	都市計画課	継続	R2	R6	公園トイレのバリアフリー化の件数（1箇所/2年）は、令和2年度までは目標どおり達成している。 ただし、令和4年度からは3年間で1箇所整備することとする。 ※1年目：実施箇所選定、2年目：実施設計、3年目：工事施行	-	現状維持	現状維持	1	公園トイレのバリアフリー化の件数	件	目標	26	26	27
												実績	26	26	27
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
185 公園施設整備事業（旧：開発公園整備事業）	都市計画課	継続	R2	R6	R6は実施事業なし	-	縮小	縮小	1	整備公園数	箇所	目標	3	2	-
												実績	4	5	-
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
186 みやこ斎苑維持管理事業	総合窓口課	継続	R5	R6	日常的に利用する4基の火葬炉について、定期点検をもとに維持管理計画を策定し、維持管理に努めている。 令和6年度は大規模改修工事のうち、空調設備の更新を行った。	令和5年度に行った大規模改修の実施設計に基づき計画的に改修工事实施し、令和6年度は老朽化により稼働率が低下している空調機器の更新を行った。 以後、令和7年度には外壁、屋根等の改修工事、令和8年度には照明LED化及び太陽光発電設備設置工事を行う。	現状維持	-	1	維持管理に係る設計	件	目標	1	2	-
												実績	1	2	-
									2	維持管理にかかる工事	件	目標	1	1	2
												実績	1	1	2
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
187 公園施設等長寿命化事業（旧：都市公園等長寿命化事業）	都市計画課	継続	R4	R6	令和4年度は、都市公園を対象とした長寿命化計画を策定した。 令和5年度は、都市公園以外を対象とした長寿命化計画を策定した。	令和4・5年度に策定した計画を基に、令和6年度より、遊具更新工事を実施する。	現状維持	現状維持	1	長寿命化計画の策定割合	%	目標	80	100	-
												実績	80	100	-
									2	更新した遊具の基数	基	目標	-	-	13
												実績	-	-	13
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
188 公害対策事業	環境課	継続	R2	R6	・崎山地区と磯鶏地区において大気環境（二酸化硫黄、浮遊粒子状物質）を常時測定しており、環境基準を下回っている。 ・騒音調査及び小河川水質分析を実施しており、環境基準を下回っている。	大気の常時測定には多額のコストを要しており、大気測定局の廃止も含めた方向性の検討が必要。	現状維持	縮小	1	大気汚染基準値達成率	%	目標	100	100	100
												実績	100	100	100
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績									
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6			
(11) 自然環境の保全																		
189 自然保護事業	環境課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会 春季：姉ヶ崎（6月22日開催） 市民8人が参加</li> <li>秋季：黒森山（11月2日開催） 市民10人が参加</li> <li>・水生生物調査 7団体、278人が参加 参加団体：宮古小、重茂小、千徳小、磯鷄小・高浜小（合同）、宮古高校自然科学部、 八木沢川を守り育てる会、さんりくESD閉伊川中学校</li> <li>・自然環境保全専門委員による市域の自然環境調査を実施</li> </ul>	自然観察会はリピーターが多く、幅広い層に関心を持ってもらうための工夫が必要。	拡充/改善	現状維持	1	自然観察会の参加者数	人	目標	110	120	120			
									実績			252	219	296				
									2			目標						
									実績									
									3			目標						
									実績									
									4			目標						
									実績									
(12) 循環型社会の形成																		
190 再生可能エネルギー設備導入促進事業	エネルギー推進課	継続	R2	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電 24件（新築19件、既築4件、建売1件）5,445千円→R5実績27件から減。</li> <li>・蓄電池 20件（新築12件、既築7件、建売1件）3,940千円→R5実績36件から減。</li> <li>・R6からⅢ12①地域脱炭素推進事業と統合。</li> <li>・R6からPPAを追加、太陽電池が10kW以上でもパワコン10kW未満を対象など拡充。</li> </ul>	-	縮小	縮小	1	住宅用太陽光発電システム導入件数	件	目標	1,220	1,260	1,300			
									実績			1,236	1,263	1,287				
									2	住宅用蓄電池システム導入件数	件	目標	80	130	180			
									実績			105	141	161				
									3			目標						
									実績									
									4			目標						
									実績									

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
191 地域脱炭素推進事業	エネルギー推進課	継続	R4	R9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮古新電力再エネ電力供給促進事業費補助金 30件（太陽光+蓄電池+EMS 26件、蓄電池+EMS 4件） ※R6新規</li> <li>・再エネ電力供給促進事業費補助金 20件 ※R6新規</li> <li>・住宅用PPA太陽光発電・蓄電池導入事業費補助金 4件 ※R5～</li> <li>・住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金 24件（新築19件、既築4件、建売1件）5,445千円→R5実績27件から減。 ※H21～</li> <li>・蓄電池システム導入促進費補助金 20件（新築12件、既築7件、建売1件）3,940千円→R5実績36件から減。 ※R3～</li> <li>→・目標達成に至らなかったが、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した新規事業を開始した。</li> <li>・PPAによる公共施設太陽光発電・蓄電池設備導入事業費補助金 5施設（PPA事業者2者） ※R6新規</li> <li>・市営工事による太陽光発電設備等導入 1施設（災害資料伝承館）</li> <li>→・目標達成に至らなかったが、PPAによる事業実施にあたり、複数施設を対象としたプロポーザルを実施するなど手法を工夫した。</li> <li>・プロポーザルにより選定したPPA事業者ではメリットのある提案とならなかった低圧施設について、住宅用PPA事業者により導入可能となった。</li> <li>・住宅省エネルギー推進補助金 315件（空調196件、換気1件、照明62件、給湯56件） ※R6新規</li> <li>→・地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した新規事業を開始し、目標を達成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建住宅及び民間施設への再エネ導入については、件数増に向け、金融機関と連携しながら周知を図る。</li> <li>・公共施設PPAについては、中心市街地拠点施設導入について導入可能な手法を検討する。低圧施設の洗い直しを実施する。</li> <li>・住宅省エネ化については、R7から無料省エネ診断の対象に事業所を追加するほか、住宅断熱リフォーム補助金（国等の補助金へのかさ上げ）を開始し、拡充を図る。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	戸建住宅及び民間施設へのオンサイト太陽光発電の導入件数	件	目標	0	10	128
										実績	0	0	74		
									2	公共施設へのオンサイト再エネ電源の導入件数	件	目標	-	-	11
										実績	-	-	6		
									3	省エネ住宅リフォーム推進事業の申請件数	件	目標	-	-	265
										実績	-	-	315		
									4			目標			
										実績					
192 住宅・建築物省エネ改修推進事業	建築住宅課	新規	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度まで県が国の補助を受けて実施</li> <li>・R6年度から市が国、県の補助を受けて実施</li> <li>・広報やホームページにより事業の周知を図った。</li> </ul>	令和6年度から事業を開始したが申込がなく、事業の周知を図る必要がある。	現状維持	現状維持	1	省エネ診断・改修件数	件	目標	-	-	4
										実績	-	-	0		
									2			目標			
										実績					
									3			目標			
										実績					
									4			目標			
										実績					
193 ごみ減量化・資源化対策事業	生活課	継続	R5	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンポストは野生動物（熊等）による被害が懸念され、生ごみ処理機への移行。</li> <li>・登録団体数の促進を実施し前年度より増であるが、人口変動による排出量の減、活動回数低下により回収量は、達成出来ない状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動生ごみ処理機の設置を推奨する。</li> <li>・登録団体に対し啓発により活動の促進を図る。</li> </ul>	現状維持	-	1	生ごみ処理機設置数	基	目標	26	26	26
										実績	26	9	14		
									2	資源集団回収量	t	目標	453	460	460
										実績	272	266	263		
									3			目標			
										実績					
									4			目標			
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績							
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6	
194	きれいなまち推進事業	生活課	継続	R5	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に設置されている集積場の分別不適合物の回収処理を行った。</li> <li>・廃棄物に対する市民からの情報および苦情に対して、直接対処・指導を行った。</li> <li>・令和6年4月より資源物の分別方法が変更されることに伴い、市内11箇所において資源物の分別説明会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいなまち推進員配置の継続</li> <li>・町内会等と連携し集積場の清潔な維持管理の推進</li> <li>・不法投棄パトロールの計画的な巡回</li> <li>・広報およびホームページ等を活用した廃棄物減量化に向けた発信</li> </ul>	現状維持	-	1	不法投棄のパトロール	回	目標	52	52	52
													実績	49	41	53
										2	不法投棄件数	件	目標	20	20	20
													実績	17	16	16
3	ごみ分別講習会の実施	回	目標	5	5	5										
			実績	3	13	5										
4			目標													
			実績													
4 健康でふれあいのある地域づくり																
(1) 健康づくりの推進																
195	母子保健事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出数が見込み数を下回ったことにより、妊婦健康診査委託料（△6,200千円）及び出産子育て応援給付金（△4,000千円）の減額補正を行った。</li> <li>・妊婦健康診査受診率は、前年度と比較し、20.7ポイント減少した。妊婦健診未受診者はいなかった。健診受診率が減少した要因として考えられることは市内開業医で分娩取り扱いが中止となり、途中転院件数が増加。転院の際の予約取得時期により、受診時期がずれることで医療側の判断で健診回が飛ばされてしまう可能性である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる受診率向上を目指し、定期的に受診勧奨を実施する。（継続）</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	妊婦健康診査受診率	%	目標	90	90	90
													実績	84	97	76
										2	1歳6か月児健康診査受診率	%	目標	99	100	100
													実績	99	98	98
3			目標													
			実績													
4			目標													
			実績													
196	特定不妊治療費助成事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年3月まで県の助成「特定不妊治療支援事業」の対象者に対し市の要綱により助成を行ってきた。令和4年4月から体外受精などの基本治療が保険適用となり、特定不妊治療支援事業助成は令和3年度から治療期間が年度をまたぐ方への助成のみとなっている。</li> <li>保険適用により、医療費自己負担額は減少しているが、対象者の経済的負担軽減のため、今後も継続が必要である。</li> <li>令和4・5年度は、申請件数が少なく、減額補正を行っている。（令和5年度補正額△3,400千円）</li> <li>令和6年度は、当初の計画を上回る申請件数となった。令和6年度当初予算額 3,000千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療が保険適用になったが、保険適用外の治療もあり、一部が保険診療との併用が認められ、認定を受けた県内医療機関で、実施されるようになっている。先進医療は、全額自己負担になるが、受ける夫婦が増えており、現状のままでは、経済的負担の軽減につながらない状況も考えられ、保険診療と併用できる先進医療の助成について検討が必要である。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	特定不妊治療費助成件数(延べ)	組	目標	30	30	30
													実績	10	0	0
										2	特定不妊治療費助成件数(実)	組	目標	20	20	20
													実績	9	-	-
3	生殖補助医療費助成件数(延べ)	組	目標	30	30	30										
			実績	5	30	37										
4	生殖補助医療費助成件数(実)	組	目標	20	20	20										
			実績	5	18	22										
197	成人健康診査事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き盛りの年代の受診者数を増やすため、令和5年度から夕方からの大腸がん検診を3回（宮古地区2回、田老地区1回）実施し、平均31人の受診者となっている。働き盛りの年代や初回受診者が多い傾向となっている。</li> <li>・40歳到達の方には、個別に各種がん検診受検票を郵送した。</li> <li>・継続受診を促すため、前年度受診者には、氏名印字の各種がん検診受検票にキットを同封して郵送した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未受診者及び新規対象者への受診勧奨を継続する。</li> <li>・インターネットを利用した予約制の導入を行い、検診を受けやすい体制を作る。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	大腸がん検診初回受診者	人	目標	1,100	1,100	1,100
													実績	283	306	206
										2			目標			
													実績			
3			目標													
			実績													
4			目標													
			実績													

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
198 健康増進事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話や来所による相談件数が増加。地区・定期健康相談の参加者数は若干減少したが、全体として目標値の達成につながっている。</li> <li>保健推進委員に対し、チラシの回覧以外にも実施1週間程前に電話をかけ、地域住民への参加呼びかけの依頼を行った。</li> <li>参加者が興味を持ち参加できるよう、医療機器での測定や試食を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の関心が高い内容や市の健康課題等を踏まえながら、ニーズに応じた健康相談を実施していく。</li> <li>普及啓発物品や医療測定機器等を活用するとともに、健康教育と調理実習を同時に行うなど、参加者の興味を引くような組み立ての工夫をしていく。</li> <li>SNSの活用による周知方法の工夫や、関係機関等との連携を図り、健康づくりの無関心層や新たな参加者にアプローチできるよう工夫を図る。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	健康相談参加者割合（4月1日人口に対する割合）	%	目標	10	10	10
												実績	12	10	10
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
199 健康寿命延伸推進事業（旧：健康ポイント事業）	健康課	継続	R6	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年4月1日に宮古市の健康情報を1つにまとめたポータルサイトをホームページ上に開設した。</li> <li>広報みやこ4月15日号への掲載、保健推進委員によるチラシの全戸配布、成人けんしん等でのQRコード入りポケットティッシュの配布を行いポータルサイトを周知した。</li> <li>令和7年1月に利用者アンケートを行い、アンケート結果を関係各課と共有し掲載内容の修正を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータルサイトについて市民に広く周知し、利用を促進する。</li> <li>ポータルサイトに掲載されている内容について関係課で協議し、より活用しやすいサイトの作成を行う。</li> </ul>	現状維持	無	1	(参考) 利用者数	人	目標	-	-	-
												実績	0	1,541	3,409
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
200 後期高齢者健康診査事業	総合窓口課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者が受診しやすい環境となるように、がん検診と併せた日程を設定している。</li> <li>受診率は、23.11%で県平均（30.78%）を下回った。令和6年度受診者数2,277人は、前年度比で57人の増。</li> <li>総合判定結果が「要医療」と判定された割合は、受診者の半数以上（51.25%、1,167人）であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>75歳になり、新たに後期高齢者医療制度に加入する人（障害が一定程度ある人は65歳以上から加入可能）に対して健康教室を実施しており、その際に健診の重要性を訴え、受診につなげる。</li> <li>岩手県後期高齢者医療広域連合第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）で、令和2年度から、高齢者の特性を踏まえた新たな健診が開始され、対象除外者の見直しがあった（生活習慣病で通院・入院中の者を含む）ことから、健診受診率の目標値の設定と実績が下がった。見直し後の実績が目標値、県平均を下回っているため、受診率の向上に努めていく。</li> <li>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、令和5年度より広域連合から受託。医療機関の受診履歴も無く健康診査も未受診の「健康状態不明者」を個別訪問するアプローチを始めた。令和6年度に訪問対象地域を全域に拡大。今後も継続して取り組んでいく。</li> <li>実施回数について、各会場毎の受診者数のバラつきもあり、集団検診の従来通りの規模を維持するのが困難となりつつある。3日間の会場を2日間に整理するなど日数を見直したことから、令和6年度計画値を60回→55回へ修正。今後も適正な健診と治療や生活習慣の改善が実施されるよう、体制について各方面と協議したい。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	後期高齢者健診実施回数	回	目標	60	60	55
												実績	60	60	55
									2	後期高齢者健診受診率	%	目標	31	32	32
												実績	22	23	23
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績															
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6									
201 介護予防事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業方法、内容を見直し、参加しやすい教室について検討を重ね、フレイル予防等に関する普及啓発を行うことができた。また、住み慣れた地域で地域介護予防教室を実施している地区への活動支援を行った。</li> <li>・高齢者健康教室は70歳と75歳を対象に実施したが、70歳の教室参加率は低迷しており、検討を重ね、同時実施とした。</li> <li>・被訪問指導者の割合は計画値を上回っており、健診結果要医療者への受診勧奨の訪問に注力した。また、特定保健指導を参加者の状況に応じ、訪問にて対応することを強化した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者健康教室の案内を見やすく、伝えたいポイントを入れ込んだものに作成し、フレイル予防に関するリーフレットを同封し、ポピュレーションアプローチを行う。また、教室に参加した際には健康づくり事業の周知を行い、参加者増加に努める。</li> <li>・地域介護予防教室を実施している教室リーダーの情報交換会を開催し、介護予防の知識の普及とリーダー同士が情報を共有できるよう努める。</li> <li>・地域介護予防教室支援事業として、地域で実施している各教室参加者の状況把握を行うとともに必要時教室の支援を行う。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	高齢者健康づくり事業への65歳以上市民の参加者数	人	目標	8,600	8,900	9,000									
										実績	5,421	4,971	5,283											
									2	65歳以上市民の被訪問指導者の割合	%	目標	9	10	10									
										実績	11	12	11											
									3			目標												
										実績														
									4			目標												
										実績														
									202 こころの健康づくり推進事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「宮古地区介護支援専門員」「宮古市民生委員・児童委員」に対し、ゲートキーパー養成講座を実施。対象者本人のみでなく、その家族や生活をみて、寄り添い、支援する職種に介入できた。</li> <li>・宮古市内自殺対策ネットワーク会議構成課より、各課1名以上がゲートキーパー養成講座を受講。受講した職員が所属課全体に復命、伝講することで、より市内ネットワークが強化されていると考える。</li> <li>・今後も普及啓発の対象を広く深く捉え、市民誰もがゲートキーパーであることの認識を広げていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の周知方法では、参加希望者数が少ない現状であった。そのため、今後の周知においては、これまで受講した方々の感想等を活用しながら、興味、関心をもってもらえるような周知方法を工夫していきたい。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	ゲートキーパー養成講座受講者数(市民)	人	目標	100	100	100
																			実績	139	108	103		
																		2	(参考)ゲートキーパー養成講座受講者数(市職員)	人	目標	40	40	40
																			実績	41	38	41		
3			目標																					
	実績																							
4			目標																					
	実績																							
203 歯科保健事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳6か月児歯科健康診査におけるう歯有病率は目標達成に至っておらず、R5年度と比較すると2.75%上昇、1人あたりのう歯本数も増加した。</li> <li>・成人歯科健康診査の受診率は、14.3%で目標値13.0%を上回った。40歳、50歳の再受診勧奨通知の発送時期を令和5年度は11月下旬に実施したが、今年度は9月下旬に早めたことや、受診勧奨チラシの内容を検討したことが受診率増加の要因と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳6か月児歯科健康診査については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止していた歯の染め出しを令和5年度から再開した。今後も、口腔内の汚れの状況を保護者と確認しながら、各児の状況に応じた歯科保健指導を継続して実施していく。</li> <li>・成人歯科健康診査については、早期の再受診勧奨通知が受診率向上に有効であったことから受診勧奨は早期に行うこととし、受診率を確認しながらSNSでの周知や訪問での勧奨を行っていく。</li> </ul>	拡充/改善	拡充										1	(参考)2歳6か月児歯科健康診査のう歯有病率	%	目標	0	0	0
																			実績	6	2	5		
																		2	成人歯科健康診査の受診率	%	目標	13	13	13
																			実績	12	13	14		
									3			目標												
										実績														
									4			目標												
										実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
204 予防接種事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MRは1期・2期ともに目標値を下回った。2期対象の未接種者へは、個別に勧奨はがきを送付し接種勧奨を行った。目標値より下回った原因としては、MRワクチンの全国的な不足により接種予約が取りづらく、延期したことにより年度内に接種できなかったことが考えられる。</li> <li>・小児インフルエンザについては、全国的なインフルエンザの流行が見られたため接種期間を延長したが、接種率は目標値を下回った。罹患したことによる接種控えがあり、接種率が伸びなかったことが考えられる。</li> <li>・子宮頸がんキャッチアップ接種は、昨年度より接種者が約430人増加した。当初令和6年度で事業終了であったが、テレビ報道でも周知されていたことに加え、広報やSNS等を活用して周知したことにより、接種者が増加したと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MR1期対象者については、これまで同様に個別通知を行う。2期対象者については、保育所等を通じてお知らせを配布したり、未接種者へは受診勧奨はがきを送付し接種勧奨していく。また、地区担当保健師より電話や訪問などを通じて接種勧奨を行う。</li> <li>・小児インフルエンザ予防接種については、継続して保育所・小学校等を通じてお知らせを配布し、接種勧奨を行う。</li> <li>・接種年齢(時期)が年度をまたぐ範囲の予防接種もあり、単年度での評価は難しいが、全体的に接種率が昨年度より下回っている。予防接種の全体的な接種率を高めるために、SNS等を活用し、より保護者や本人に呼びかけられるように接種勧奨を行う。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	MR1期接種率	%	目標	95	95	95
												実績	88	84	71
									2	MR2期接種率	%	目標	95	95	95
												実績	97	97	92
									3	小児インフルエンザ接種率(13歳未満1回目)	%	目標	80	80	80
												実績	58	60	55
									4			目標			
												実績			
205 結核予防事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区集会所等でこまめに実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診率は年々低下している。</li> <li>・保健推進委員を通じて、検診受付票を対象者全員に配布している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診率向上のため、けんしんでの呼びかけ、各保健事業での受診勧奨や地区回覧等を利用して周知を継続していく。</li> <li>・要精密検査者のうち未受診者に対し、確実に受診に結びつけられるように勧奨を送付して、受診を働きかけていく。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	結核健康診断受診率	%	目標	72	76	76
												実績	54	52	51
									2	結核健康診断実施回数	回	目標	130	130	130
												実績	126	126	124
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
206 予防接種事業(コロナ)	健康課	新規	R5	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度まで特例臨時接種として無料で予防接種を実施したが、予防接種法の改正により令和6年度からは有料の定期接種として実施されることとなった。</li> <li>・これに伴い、定期接種の対象である高齢者等に対し、経済的負担の軽減と重症化予防を図るために接種費用を助成した。</li> <li>・制度を広く知ってもらうために、広報への折り込みで周知を行った。</li> <li>・自己負担額が発生することや、目立った流行が見られなかったことから、接種率は低調であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接種を希望する定期接種対象者が、必要な時に必要な情報を得られるように、引き続き適時に広報等を活用した周知を行う。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	新型コロナワクチン接種率	%	目標	-	-	60
												実績	-	-	15
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
207 食育推進事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期食育指導は、健康診査や健康相談、食育教室の場などで適切な食についての知識の普及啓発や個別の状況に合わせた栄養指導を行った。幼児期の肥満予防対策として、関係機関との連携を強化するため、教育・保育施設職員向けの研修会を開催した。</li> <li>・小学校での「めざせ！元気なみやこっ子食育教室」の実施の他、キッズ食育教室など、こども達が主体的に調理に取り組めるよう体験型の教室を開催した。</li> <li>・みやこっ子「元気・体カアップ60運動」は、県の事業が充実され各小学校で年間を通して実施する体制になったことから、市の取り組みとしての実施は終了した。</li> <li>・朝食レシピコンテストの入賞作品を掲載したリーフレット配付による朝食摂取普及啓発は、令和5年度で終了した。令和6年度はリーフレットを活用した体験型の食育教室での普及啓発を行った。</li> </ul>	食育教室の参加者が増えるよう、内容の充実やSNSを使用した周知、申込方法等工夫をする。	拡充/改善	現状維持	1	幼児期食育被指導者数	人	目標	1,700	1,700	1,700
												実績	1,416	1,476	1,383
									2	思春期食育被指導者数	人	目標	3,500	3,500	3,500
												実績	6,978	6,721	1,064
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(2) 医療の充実															
208 患者輸送車運行事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮古地区は、毎週水曜日に北川目地区、毎週金曜日に南川目地区、月1回木曜日に追切・石浜方面へ運行した。</li> <li>・田老地区は、令和4年12月から田老地区患者輸送車を廃止し、田老地域バスとして運行している。</li> <li>・新里地区は、令和2年10月から新里地区患者輸送車を廃止し、新里地域バスとして運行している。</li> <li>・川井地区は、令和3年11月から川井地区患者輸送車を廃止し、川井地域バスとして運行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域バスは、利用者を限定せずに安価で利用しやすい公共交通であり、診療所受診の場合には無料で利用可能であるため、本事業の目的を引き継ぐ事業である。このため、地域バスの運行開始によって、本事業は縮小となっている。</li> <li>・今後も、本事業あるいは地域バス運行によって、引き続き、公共交通のない、又は不便な地区の住民に対して、医療機関の受診の機会を確保する必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	運行日数	日	目標	356	107	111
												実績	272	108	112
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
209 休日急患診療所運営事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日、祝日のほか感染症流行時などに、民間診療所が休診した際の初期医療が受けられる医療体制を確保する事業であり、有効である。</li> <li>・令和2年11月より診療を予約制の発熱外来とし、必要に応じて新型コロナウイルス感染症の検査を行っている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、令和5年7月より内科・外科の応急的な診療を再開している。</li> <li>・冬期のインフルエンザの流行期には、宮古医師会と協議し、医師の人数を増やすなどの対応を行っている。</li> <li>・利用者の利便性の向上のため、令和7年1月よりキャッシュレス決済を導入した。</li> </ul>	今後も引き続き宮古医師会等の関係機関と連携し、発熱外来の継続等も含め、よりよい運営体制について協議を重ねながら、事業の継続に努める。	現状維持	現状維持	1	日曜日、祝日、1月2日、3日における開設率	%	目標	100	100	100
												実績	100	100	100
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
210 医師・看護師養成事業	健康課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の貸付者数は11人で、目標を達成している。</li> <li>11人の内訳は、継続の医師が1名、看護師が7名、新規看護師が3名である。</li> <li>平成29年度を最後に医学生からの応募がない状況が続いていたが、令和5年度に1名応募があり、奨学生として採用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年は看護学生からの応募が続いている。令和5年度は医学生からの応募もあったが、さらに医学生からの応募を増やすために、予備校を訪問し、制度のPRを図りたい。</li> <li>奨学資金の貸付金額は、県内で同様の事業を実施している他の自治体と比較してもトップクラスである。</li> <li>市内高校から岩手医大の地域枠を目指す生徒が多いため、奨学資金の貸付対象とすることが出来ないケースもある。</li> <li>医師奨学生が専門医研修の時期であることから、今後の義務履行及び専門医取得に向け奨学生及び関係機関との調整が必要である。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	市内に勤務している奨学生の人数	人	目標	7	9	12
												実績	6	8	11
									2	該当年度の貸付者数	人	目標	10	10	10
												実績	12	12	11
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
(3) 医療保険制度等の充実															
211 国民健康保険税 子どもの均等割減免	総合窓口課	継続	R6	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の中でも先進的な取り組みであり、県内外からの自治体から制度に関する問い合わせがある。</li> <li>国の制度として、未就学児に係る均等割額の半額減免が令和4年度から実施されている。(財政負担割合：国1/2、県1/4、市町村1/4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未就学児に係る均等割保険料減免が令和4年度から国の制度として実施されている。現状、対象は未就学児に限定されており市町村の財政負担もある。</li> <li>よって、18歳以下の全ての子どもに係る均等割額の減免について、制度を拡充し、国の責任において実施するよう全国市長会などを通じて要望している。</li> <li>就学以上の子ども均等割減免に当たっては、一般会計繰入を財源としていたが、法定外繰入とみなされ、年々厳しいペナルティが課され、赤字解消するよう指導を受けていた。令和6年度から、財源を見直し、一般会計繰入から国保特会の収支の中で減免することと変更した。</li> </ul>	休廃止/終了	無	1	均等割減免人数	人	目標	811	817	763
												実績	815	793	794
									2			目標			
												実績			
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
212 国保特定健康診査・特定保健指導事業	総合窓口課	継続	R6	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診と併せた日程、土日の実施日を設定し、対象者が受診しやすい環境となるようにしている。待ち時間を少なくするため、時間を区切って対象者へ案内している。</li> <li>秋のがん検診とのセット健診は、込み合った。</li> <li>個別訪問は感染対策に留意して実施し、対面で受診勧奨を行った。</li> <li>集団健診の他に田老診療所・新里診療所・川井診療所で健診を12～2月に実施し、10名が受診した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診しやすい環境、選択肢を広げるため、令和3年度から実施している個別受診を新里国保診療所にも広げ、受診環境を充実させた。</li> <li>受診に向けた意識づけを図るため、40歳到達者に対し受診に向けた勧奨通知を送付した。また未受診者には一定期間後再度受診勧奨通知を送った。</li> <li>各会場毎の受診者数のバラつきもあり、集団検診の従来通りの規模を維持するのが困難となりつつある。3日間の会場を2日間に整理するなど日数を見直した。今後も適正な健診と治療や生活習慣の改善が実施されるよう、体制について各方面と協議したい。</li> <li>戸別訪問による受診勧奨なども行っているが、受診率はなかなか上昇しない。これまで、診療所以外の個別受診について、進まなかったが、今後は民間の診療施設で特定健診を受けられないか、医療機関等に相談したい。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	特定健康診査受診率	%	目標	56	60	46
												実績	39	39	39
									2	特定健康診査実施回数	回	目標	60	60	55
												実績	64	60	55
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
213 乳幼児・小学生医療給付事業	総合窓口課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数が前年度より減少し、対象者1人あたりの年間件数・年間給付額は微減である。</li> <li>・令和2年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への受診控えがあったものと思われるが、令和3年度以降、受診控えは収まりつつあると思われ、令和6年度は受診にためらいが無くなり、早めの診察を心掛けるようになったと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生まで現物給付となったことで、学校管理下でのケガを対象とする災害給付金との重複給付が発生しやすい状況となったことから、県や学校と連携して、災害給付金との調整について、周知に努める。</li> <li>・健康保険組合などの保険者が、高額療養費を被保険者に（申請を求めず）自動的に給付するケースがあり、市の現物給付との重複給付が発覚した場合に、受給者へ高額な返還金を請求するケースが増える傾向にある。回収不能とならないよう手立てを考える必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対象者1人あたりの年間件数	件	目標	12	12	12
												実績	11	14	14
									2	対象者1人あたりの年間給付額	円	目標	25,401	26,046	26,708
												実績	22,428	28,787	27,800
			3	(参考) 対象者数	人	目標	-	-	-						
						実績	3,345	3,187	3,003						
			4			目標									
						実績									
214 中学生医療給付事業	総合窓口課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数が前年度より減少しているものの、対象者1人あたりの年間件数・年間給付額は増加している。</li> <li>・令和2年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への受診控えがあったものと思われるが、令和3年度以降、受診控えは収まりつつあると思われる。</li> <li>・令和2年8月診療分から現物給付の対象が中学生まで拡大となったことから、受給者の利便性のさらなる向上、及び一時的な支払いを要しないことによる経済的負担の軽減が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現物給付になったことで、学校での怪我を対象とする災害給付金との重複給付が発生しやすい状況となったことから、県や学校と連携して、災害給付金との調整について周知に努めていく。</li> <li>・健康保険組合などの保険者が、高額療養費を加入者に（申請を求めず）自動的に給付するケースがあり、市の現物給付との重複給付により、受給者や保護者へ多額の返還金を請求する件数が増加傾向。回収不能とならないよう手立てを考える必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対象者1人あたりの年間件数	件	目標	6	6	6
												実績	8	10	10
									2	対象者1人あたりの年間給付額	円	目標	21,433	22,762	24,173
												実績	19,327	25,116	25,479
			3	(参考) 対象者数	人	目標	-	-	-						
						実績	927	865	826						
			4			目標									
						実績									
215 高校生医療給付事業	総合窓口課	継続	R3	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費一部負担金の助成について、令和3年4月1日から新たに18歳（高校卒業相当）まで対象を拡大した。</li> <li>・受給者の利便性のさらなる向上、及び一時的な支払いを要しないことによる経済的負担の軽減が図られた。</li> <li>・対象者数の推移は初年度（令和3年度）から変動が少ないものの、対象者1人あたりの年間件数と対象者1人あたりの年間給付額は増加した。</li> <li>・令和2年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への受診控えがあったものと思われるが、令和3年度以降、受診控えは収まりつつあると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生まで現物給付となることで、学校での怪我を対象とする災害給付金との重複給付が発生しやすい状況となったことから、県や学校と連携して、災害給付金との調整について周知に努めていく。</li> <li>・健康保険組合などの保険者が、高額療養費を加入者に（申請を求めず）自動的に給付するケースがあり、市の現物給付との重複給付により、受給者や保護者へ多額の返還金を請求する件数が増加傾向。回収不能とならないよう手立てを考える必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対象者1人あたりの年間件数	件	目標	6	6	6
												実績	8	9	10
									2	対象者1人あたりの年間給付額	円	目標	20,000	20,000	20,000
												実績	20,732	27,826	31,387
			3	(参考) 対象者数	人	目標	-	-	-						
						実績	907	920	922						
			4			目標									
						実績									
216 妊産婦医療給付事業	総合窓口課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数が前年度より減少し、対象者1人あたりの年間件数及び年間給付額も減少した。</li> <li>・現物給付は、受給者の利便性の向上、一時的な支払いを要しないことによる経済的負担の軽減が図られている。また、業務の効率化も図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康保険組合などの保険者が、高額療養費を加入者に（申請を求めず）自動的に給付するケースがあり、市の現物給付との重複給付により、受給者や保護者へ多額の返還金を請求する件数が増加傾向。回収不能とならないよう手立てを考える必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対象者1人あたりの年間件数	件	目標	4	4	4
												実績	9	10	9
									2	対象者1人あたりの年間給付額	円	目標	88,058	95,736	104,085
												実績	60,962	81,000	57,473
			3	(参考) 対象者数	人	目標	-	-	-						
						実績	236	220	203						
			4			目標									
						実績									

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績															
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6									
													目標	実績	目標	実績	目標	実績						
217 重度心身障害者医療給付事業	総合窓口課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数が前年度より減少しているものの、対象者1人あたりの年間件数及び年間給付額の伸び率は横ばいである。</li> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への受診控えがあったものと思われるが、令和3年度以降は受診控えが収まりつつあると思われる。</li> <li>・受給者のうち、未就学児から高校卒業相当までの子どもは、現物給付を実施しており、受給者の利便性の向上や一時的な費用負担の軽減につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2.8月からは中学生が現物給付、R3.4月から市単独事業として新たに受給対象とした高校生も市内医療機関受診分に限り現物給付となった。（R5.8月から高校生も県内医療機関受診分に限り現物給付）それ以外の受給者については引き続き自動償還払いとなるが、現物給付化について、国保国庫負担金減額のペナルティの問題を含め、全県的な検討が必要である。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対象者1人あたりの年間件数	件	目標	18	18	18									
												実績	21	22	22									
									2	対象者1人あたりの年間給付額	円	目標	93,755	94,093	94,432									
												実績	97,451	99,888	98,169									
									3	(参考)対象者数	人	目標	-	-	-									
												実績	1,343	1,300	1,261									
									4			目標												
												実績												
									218 ひとり親家庭等医療給付事業	総合窓口課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数は前年比減だが、対象者1人あたりの年間給付件数、1人あたりの年間給付額は前年に比べて増加した。</li> <li>・令和2年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への受診控えがあったものと思われるが、令和3年度以降、受診控えは収まりつつあると思われる。</li> <li>・受給者のうち、未就学児から高校卒業相当までの子どもは、現物給付を実施しており、受給者の利便性の向上や一時的な費用負担の軽減につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2.8月からは中学生が現物給付、R3.4月から市単独事業として新たに受給対象とした高校生も市内医療機関受診分に限り現物給付であったが、R5.8月からは全県的に高校生が現物給付となった。それ以外の受給者については引き続き自動償還払いとなるが、現物給付化について、国保国庫負担金減額のペナルティの問題を含め、全県的な検討が必要である。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	対象者1人あたりの年間件数	件	目標	8	8	8
																					実績	9	10	11
																		2	対象者1人あたりの年間給付額	円	目標	20,501	20,794	20,091
																					実績	23,187	27,775	30,677
3	(参考)対象者数	人	目標	-	-	-																		
			実績	1,170	1,121	1,104																		
4			目標																					
			実績																					
219 寡婦医療給付事業	総合窓口課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数が前年度より減少しているものの、対象者1人あたりの年間件数及び1人あたり年間給付額の伸び率は横ばいである。</li> <li>・令和2年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への受診控えがあったものと思われるが、令和4年度以降は受診控えが収まりつつあると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動償還払いにより給付しているが、現物給付化について、国保国庫負担金減額のペナルティの問題を含め、全県的な検討が必要である。</li> </ul>	現状維持	現状維持										1	対象者1人あたりの年間件数	件	目標	15	15	15
																					実績	17	18	19
																		2	対象者1人あたりの年間給付額	円	目標	48,745	47,892	47,054
																					実績	52,506	58,987	57,887
									3	(参考)対象者数	人	目標	-	-	-									
												実績	170	158	150									
									4			目標												
												実績												
									(4) 地域福祉の充実															
									220 総合福祉センター改修事業	福祉課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水・電気設備等の改修を実施した。併せて令和7年度実施予定の給湯・暖房設備改修工事実施設計業務を実施した。</li> <li>・地域福祉活動拠点（総合福祉センター）改修箇所数は、目標を達成できた。</li> <li>・利用者数については、目標を下回り、昨年度の利用者数を若干下回る結果となったが、貸室種別によっては昨年度を上回る利用実績となっていることと、地域自治組織の利用があることから、地域におけるコミュニティ形成にも寄与することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における福祉サービスの効果的な提供のためには、地域福祉活動の拠点としての総合福祉センターの機能の維持が必要であることから、今後も施設利用者のニーズ・利便性等を勘案し、施設の改修を計画的に実施する必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	地域福祉活動拠点（総合福祉センター）改修箇所数	カ所	目標	1	1	1
																					実績	1	1	1
																		2	地域福祉活動拠点（総合福祉センター）利用者数	人	目標	18,500	19,000	19,500
実績	11,432	11,553	10,775																					
3			目標																					
			実績																					
4			目標																					
			実績																					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
221 災害時支援ネットワークづくり推進事業	福祉課	継続	R2	R6	・名簿情報の更新や名簿の公開の同意を得ていない者に対して、ホームページや広報において登録勧奨を行った。 ・地域住民同士の連携構築及び強化を図るため、各地区において自主防災組織や自治会、民生委員、消防団などの意見交換会を実施した。	地域ぐるみでの助け合いの重要性などについて、自主防災組織や自治会、民生委員、消防団などと協議しながら、制度の啓発及び登録勧奨を今後も継続していく。	拡充/改善	拡充	1	避難行動要支援者登録名簿の登載率(同意者/対象者)	%	目標	20	20	20
												実績	20	20	17
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
222 被保護者就労支援事業	福祉課	継続	R2	R11	・就労により経済的に自立することで、保護受給者が地域の中で生き生きと生活できることを目的とする。 ・ケースワーカーと就労支援員により、稼働年齢層(65歳まで)の生活保護受給者を対象に支援を行う。 ・ハローワークと「生活保護受給者等就労自立促進事業に関する協定」を締結し、連携した支援を行っている。 ・目標値は、支援対象者に占める就労開始・増収者の割合が50%という国の目標を参考に設定している。 ・令和6年度は、事業に参加した33人中22人が就労又は増収を達成し、約581万円の保護費の削減につながった。 ・令和6年度の新たな取り組みとして「ワークツール(作業テスト)」を導入した。支援対象者に簡単な作業を行ってもらい、その結果を振り返ることで、本人の特徴や適正を自覚してもらい、支援者と認識を共有するために役立てた。	・就労を希望する保護受給者の能力や適正は一律ではないため、各々にあった就労先とのマッチングが重要である。 ・労使双方にとって有益となるような、新たな就労場所の開拓が必要となる。 ・令和6年度は面談数が例年より少なかったため、今後は支援対象者との面談を増やすことも必要だと考える。	現状維持	現状維持	1	就労支援事業参加者数	人	目標	25	25	25
												実績	28	28	33
									2	就労開始者数又は増収者数	人	目標	13	13	13
												実績	14	15	22
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
223 生活困窮者自立支援事業	福祉課	継続	R2	R6	・カフェ風での就労準備支援は、コミュニケーションの練習や仕事の経験を培う場となっている。 ・家族の支援を受けられなくなった引きこもりの方や引きこもりを抱えている家族からの相談が増加した。 ・令和6年度の相談件数は308件であり一昨年並みの実績となった。 ・自立相談支援事業を訪れた世帯のうち、プランが作成され支援を受け、自立に至った世帯を計測する指標として「プラン終結率」を設定した。今年度の値は、97.2%であった。今後経年の変化を計測、分析していくこととする。	・支援プラン終結後の対応について、終結後もアウトリーチを行い再度困窮状態に陥ることを防いでいく。 ・学習支援事業や子ども食堂では、引き続き学びの機会の提供、体験、居場所の提供、子どもがSOSを発信できる場としての機能の継続、向上を図る。 ・関係機関からの情報提供で支援に至るケースが増えているが、支援者側と対象者の考えに隔たりがあり、円滑に支援できないケースも増えていることから、重層事業などで関係機関との連携をより密にし、適切な支援の構築を図る。	現状維持	現状維持	1	相談受付件数	人	目標	120	120	120
												実績	305	246	308
									2	プラン終結率(プランによる支援を受けた世帯の総数に占める終結世帯)	%	目標	-	-	80
												実績	-	-	78
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績									
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6			
(5) 高齢者福祉の充実																		
224	地域包括支援センター事業	介護保険課	継続	R2	R6	計画されていた8ヶ所すべての地域包括支援センターが、宮古市社会福祉協議会に委託された。	地域包括支援センターすべてが委託されたため、市では連絡会や研修会を通じセンターへの後方支援を充実させ、相談拠点としての機能を強化する。	拡充/改善	現状維持	1	委託地域包括支援センターの設置	箇所	目標	8	8	8		
													実績	8	8	8		
										2	総合相談件数	件	目標	9,300	9,600	13,000		
													実績	13,615	15,517	16,006		
3			目標															
			実績															
4			目標															
			実績															
225	生活支援体制整備事業	介護保険課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託包括支援センターを拠点に、各圏域(中学校区)にSCを配置。</li> <li>生活支援サービスの開発を目的に、住民ニーズの聞き取りや調整を中心に活動。</li> <li>住民に身近な拠点を設置し活動することで、地域特有の課題を抽出できる。また、地域の特性も活かすことができる。</li> <li>自由度の高い活動であるため、定例会に参加し各SCの活動を把握する必要がある。</li> <li>2層協議体として、「防災見守り体制」を整備。また、門馬地区の移動支援ボランティア団体の立ち上げを支援し、「門馬地域送迎チーム」として、無償サービスから令和6年4月には、各関係課等の協力を経て、自家用有償旅客運送サービスの導入につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1層協議体の設置について、立ち上げ支援の継続。</li> <li>SC活動において、各SC同士の連携や研修を通じ、情報共有しながら業務についてフォローしていく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	SCを全日常生活圏域に配置する	人	目標	12	12	12		
													実績	10	10	12		
										2	一層協議体を設置する	か所	目標	1	1	1		
													実績	0	0	0		
										3	二層協議体を設置する	か所	目標	1	1	2		
													実績	1	1	2		
										4	生活支援サービスが稼働する	か所	目標	1	1	2		
													実績	0	1	2		
226	やさしい住まいづくり推進事業	介護保険課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は目標達成率90%と目標値に近い実績となった。</li> <li>申請者の不利益が生じないよう、事前相談を受け、対象経費や必要書類の事前確認を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請状況を見ながら、利用について事業所あてに勧奨を行う。</li> <li>事業関係者へ制度内容や給付該当要件等の周知を引き続き行う。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	利用実績数	件	目標	10	10	10		
													実績	15	11	9		
										2			目標					
													実績					
										3			目標					
													実績					
										4			目標					
													実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
227 在宅高齢者生活支援事業	介護保険課	継続	R2	R6	介護通院支援 ・交付枚数の伸び率は減少傾向にあるが、目標値を大きく上回っている状況は変わらず、支援事業の利用需要が大きいことが伺える。  緊急通報装置 ・目標値を下回ったものの、現状100人前後で推移している。	介護通院支援 ・常に利用実態の把握に務める。  緊急通報装置 ・令和元年度までは緊急時に駆け付けできる家族等がいなければ利用できなかったが、身寄りがない方でも利用できるよう、委託業者に緊急時の駆け付けを依頼している。	現状維持	現状維持	1	介護通院助成券交付枚数(いきいきシルバーライフプラン2021に併せ指)	枚	目標	13,329	13,462	13,462
										実績	15,304	15,408	15,132		
									2	緊急通報装置貸与人数	人	目標	129	139	139
										実績	105	101	92		
								3			目標				
											実績				
											4	目標			
											実績				
228 高齢者施設維持管理	介護保険課	継続	R6	R6	設計及び各修繕・工事を年度内に終了した。	施設設置から25年経過し、老朽化に伴う修繕・工事箇所は発生すると考える。利用者の安全確保のため、速やかに対応できるよう、施設管理者との情報共有を行う。	現状維持	現状維持	1	宮古市千徳デイサービスセンターエアコン交換工事実施設計業務委託	円	目標	-	-	1,100,000
										実績	-	-	913,000		
									2	宮古市千徳デイサービスセンターエアコン交換工事	円	目標	-	-	3,000,000
										実績	-	-	2,554,200		
								3	宮古市千徳デイサービスセンター汚水ポンプ更新工事	円	目標	-	-	1,200,000	
									実績	-	-	-	1,245,200		
								4	宮古市千徳デイサービスセンター給湯ラインポンプ工事	円	目標	-	-	366,300	
									実績	-	-	-	396,000		
229 低所得利用者負担対策事業	介護保険課	継続	R2	R6	・法人に対して更新勧奨を行い、積極的な利用の促進を図った。 ・軽減を実施している社会福祉法人は、宮古市社会福祉協議会、若竹会、川井心生会、新里紫桐会、田老和心会の5法人。 ・宮古市社会福祉協議会、田老和心会、川井心生会は、補助金対象の算定額がマイナスになるため、軽減を実施しているが補助金の交付はない。 ・補助金算定式「軽減額」-（「本来受領すべき利用者負担額」×1%）×1/2	・軽減を利用する方が利用できるよう継続実施する。	現状維持	現状維持	1	低所得者の介護サービス利用料の一部を軽減する社会福祉法人の数	法人	目標	5	5	5
										実績	5	5	5		
									2	軽減対象者として承認された利用者の数	人	目標	100	100	100
										実績	54	49	47		
								3			目標				
											実績				
											4	目標			
											実績				
(6) 子育て支援の充実															
230 地域子育て支援拠点事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・新型コロナウイルス感染症の流行以降、大幅に減少していた子育て支援センター、つどいの広場の利用組数及びファミリーサポートセンターの援助回数は、5類移行に伴い、徐々に回復している。 ・つどいの広場「すくすくランド」は、キャトル宮古閉店に伴い、令和3年12月より宮古市地域創生センター〔うみまちひろば〕1階へ移転し事業を継続している。 ・ファミリーサポートセンターでは、会員向けの講習会を開催し、援助活動のための資質向上を図った。	・年少人口の減少に加え、保育料の完全無償化による入所者の増加を受け、未就園児童が減少していることから、本制度の利用対象者の母数は減少傾向にある。これに伴い、令和5年度以降の目標値を10%減とする。 ・利用数がコロナ禍前の水準に戻らないのは、利用者層である乳幼児の保護者が、子育て支援センターやファミリーサポートセンターを利用する機会を逸したまま現在に至っているのが一つの原因と考えられる。 ・コロナ禍での子育てを経て、潜在的な不安を抱える世帯は確実に存在していると思われることから、各種SNS（インスタグラム、公式LINE）を通じた制度のPRを継続していきたい。	拡充/改善	現状維持	1	地域子育て支援センター及び各つどいの広場での延利用組数	組	目標	10,000	9,000	9,000
										実績	2,950	4,271	5,278		
									2	地域子育て支援センター及び各つどいの広場での相談件数	件	目標	600	540	540
										実績	195	262	174		
								3	ファミリーサポートセンターの依頼会員と双方会員の数	人	目標	360	330	330	
									実績	321	304	316			
								4	ファミリーサポートセンターの援助活動回数	回	目標	1,300	1,170	1,170	
									実績	137	217	363			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
231 地域型保育推進事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	子育て支援員研修については、令和6年度から岩手県がオンライン（e-ラーニング）、宮古会場での心肺蘇生研修及び宮古市での見学実習を実施し、当市の受講希望者が全員受講できる環境だったので、当市での研修事業は実施しなかった。 令和6年度中に新規開設の家庭的保育事業所が1施設、認可外保育事業所から小規模保育事業所B型への移行が1施設あった。	新規開設を予定している家庭的保育事業者については、引き続き制度の周知を行い、開設に向けての相談を進める。	現状維持	現状維持	1	子育て支援員研修受講者数	人	目標	20	20	0
												実績	24	22	0
									2	新規開設家庭的保育事業所	施設	目標	1	1	1
												実績	1	2	2
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
232 在宅子育て支援事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・総合窓口課等へ依頼し、出生届出時に対象者へ申請書を配付。 ・未申請者に対し、転入者、保育所等を退所した者も含め、申請書を郵送し、申請勧奨している。 ・申請月の翌月末から支給開始。	・H30年4月～R4年3月 生後7月～1歳の誕生月 所得制限あり ・R 4年4月～R5年6月 生後7月～3歳の誕生月 所得制限あり ・R 5年7月～ 出生月～3歳の誕生月 所得制限なし 現在は出生した児童は全員が対象となる。	現状維持	現状維持	1	待機児童	人	目標	0	0	0
												実績	0	0	0
									2	(参考) 対象児童延べ数	人	目標	-	-	-
												実績	786	2,939	2,828
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
233 こども発達支援事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・保育所・幼稚園等の行事や他業務との調整が取れず、訪問できなかった年代もあったが、全施設を訪問することは出来た。また、保育所・幼稚園等が観察を必要と捉える児や健診で観察が必要となった児は優先的に訪問し、必要に応じて追加の訪問も行った。 ・早期に相談に繋がるよう巡回訪問等で個別に方針を検討したうえで、保育所・幼稚園側から保護者に相談を促してもらっている。保護者の同意を得ることが難しい状況もあったため、相談時期が遅れてしまうこともある。 なお、R6年度より在籍園に出向いて発達評価と相談を実施している。 ・巡回訪問時や発達評価などの場で、個別にPASSシートの必要性の有無や作成の仕方を確認し、必要な情報が確実に引継ぎできるように検討した。	・目標値を意識しながら、他の事業や園の行事等に影響を受けないよう見通しを持った訪問計画をたてる。 ・巡回訪問において情報共有を行い、就学を見据えて今後の支援方針を検討することを継続する。保護者が相談しやすいように、ニーズにあわせた相談環境を設定する。 ・引継ぎが必要と思われる児について、必要な情報が確実に引継ぎされるよう、引き続きPASSシートも含めた引継ぎ方法を検討し、作成を支援する。	現状維持	現状維持	1	幼児教育保育施設訪問割合	%	目標	100	100	100
												実績	90	81	100
									2	初回相談時年齢が就学1年前である割合	%	目標	100	100	100
												実績	83	79	87
3	幼児期から小学校へ引継ぎになる子の割合	%	目標	10	10	10									
			実績	19	18	22									
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
234 学校給食費無償化事業	教育委員会 総務課	新規	R5	R11	・令和5年度から継続して、学校給食費の無償化を実施した。 ・食物アレルギー等の影響により、弁当を持参する児童生徒の保護者に対し、宮古市食物アレルギー等対応補助金制度を創設し、補助金を交付した。(令和6年11月制度設立、令和6年4月1日から遡及適用)	-	現状維持	現状維持	1	【参考】学校給食費無償化の対象児童生徒数	人	目標	-	-	2,807
										実績	-	-	2,790		
									2	【参考】宮古市学校給食食物アレルギー等対応補助金交付対象児童生徒	人	目標	-	-	3
										実績	-	-	3		
3			目標												
4			目標												
235 子どもの暮らし支援事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・対象者登録型こども食堂は、会食の場の提供をきっかけとして、学習支援、各種体験、保護者への相談支援等を行っている。コロナ感染防止のため、令和2年度は配食形式での実施、令和3年度以降は、状況を見ながら会食を行い、子どもや親の様子を確認することができている。 ・地域巡回型子ども食堂は、地域の実情に合わせて月1回程度、配食形式で実施した。状況を見ながら学習会や遊びの時間を設け、地域の大人が子どもと関わるきっかけとなっている。また、民生委員が気になる世帯に弁当を届けるなど、繋がりを持つ機会となっている。	・基本事業の分類が事業内容にそぐわないことから、次のとおり変更する。 IV-6-②保育サービスの充実 → IV-6-①子育て支援体制の充実 ・生活課題を抱える世帯は、人口減少にも関わらず横這い傾向にあり、困りを抱える世帯を直接支援できる場として、対象者登録型は今後も継続実施する。 ・津軽石地区において、配食形式から会食形式へ変更した結果、延べ参加者数は512人(R5)から220人(R6)と半減し、微減の他地区と比べて大きく異なる結果となった。しかし、会食を通して、孤食の防止や、地域の大人と子どもが関りを深く持つことで、家庭内での問題に伴う子どもの様子の変化などにいち早く気付くきっかけとなることを期待できることから、継続し今後の推移を見守りたい。	拡充/改善	現状維持	1	対象者登録型こども食堂の実施箇所数	か所	目標	1	1	1
										実績	1	1	1		
									2	(参考)対象者登録型参加人数(親+子)	人	目標	-	-	-
										実績	247	293	278		
3	(参考)地域巡回型参加人数(親+子)	人	目標	-	-	-									
	実績	3,394	3,470	2,706											
4			目標												
236 保育所等改修事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	小山田保育所冷暖房等改修工事により、保育環境を改善することができた。 磯鶏保育所屋根塗装工事により、施設維持管理することができた。 佐原保育所防音フェンス設置工事により近隣へ配慮しつつ、保育環境を改善することができた。 老朽化施設の修繕として、フェンス張替工事等を実施し、施設利用者の利便性や快適性が図られた。 ・ホール床フロア貼り(山口保育所)、安全柵設置(千徳保育所)、フェンス塗装(磯鶏保育所)など	他の公立保育所も老朽化が進んでおり、引き続き計画的な修繕工事等が必要となる。再生可能エネルギー導入も市の公共施設への整備方針、計画に合わせ検討が必要となる。	拡充/改善	拡充	1	老朽化の修繕	件	目標	10	10	10
										実績	7	17	11		
									2			目標			
										実績					
3			目標												
	実績														
4			目標												
	実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
237 園児バス運行事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・小国保育所は、入所児童5名に対して、2名が送迎バスを利用している。 ・重茂児童館は、利用児童が無かったことから事業実施を見送った。	小国保育所の利用者数は、2名である。今後の運行形態について、検討する必要がある。	現状維持	現状維持	1	利用登録児童数(小国)	人	目標	7	6	2
										実績	7	5	2		
									2	利用登録児童数(重茂)	人	目標	15	20	-
										実績	7	3	-		
3			目標												
	実績														
4			目標												
	実績														
238 特別保育事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度以降は各事業とも利用者数が減少した。 ・感染症の影響による利用制限を行わなかったR5年度も利用者数減少が続いた。 ・令和6年度から一時的保育の延利用者数が増加に転じた。利用料無償化が要因であると考えられる。	・各保育サービスを必要とする家庭に本事業の情報が届くよう、改めて周知が必要。	拡充/改善	現状維持	1	一時的保育の延利用者数	人	目標	850	850	850
										実績	344	368	928		
									2	病後児保育の延利用者数	人	目標	10	10	10
										実績	14	3	18		
3	延長保育を利用した実人数	人	目標	95	95	95									
	実績	60	51	55											
4	延長保育を実施し補助金の交付を受けた施設数	施設	目標	5	5	5									
	実績	4	3	4											
239 幼稚園支援事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・一時預かり事業は、入園者数の減少に伴い実利用人数が減少傾向にあるものの、保護者から利用希望のある市内5施設での実施を継続している。 ・私立幼稚園等教育振興事業では、積極的な人材育成に取り組んだほか、教材・備品等の充実も行った。	・指標について、オンライン研修等の増加により研修参加延べ回数では実態が掴めないことから、研修参加人数に変更する。	現状維持	現状維持	1	一時預かり事業の年間延べ利用人数	人	目標	11,000	11,000	11,000
										実績	10,630	9,104	9,144		
									2	研修参加延べ回数	回	目標	60	60	60
										実績	81	46	52		
3			目標												
	実績														
4			目標												
	実績														
240 私立保育所支援事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・研修を活用し積極的な人材育成に取り組んだほか、保育の質向上に資する教材や備品等の充実を図った。	・指標について、オンライン研修等の増加により研修参加延べ回数では実態が掴めないことから、研修参加人数に変更する。	現状維持	現状維持	1	研修参加延べ回数	回	目標	40	30	30
										実績	17	13	9		
									2			目標			
										実績					
3			目標												
	実績														
4			目標												
	実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
241 民間保育士支援事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・各民間保育施設等へ、事業の案内のためパンフレットの配布と、対象者に情報提供を依頼。 ・広報へ記事を掲載し、申請の条件を満たす者に漏れなく情報が届くよう取り組んだ。	・申請のタイミングを逃すことの無いよう、民間保育施設等への制度周知を丁寧に行い、該当者の確実な申請を促す。	拡充/改善	現状維持	1	助成の対象となる新規で採用となった保育士等の数	人	目標	2	2	2
												実績	3	5	3
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
242 幼児教育・保育の無償化に係る市独自支援	こども家庭センター	継続	R2	R11	・就学前子ども（特に0～2歳児）の保育施設の利用割合は上昇傾向にあり、本事業の効果がうかがわれる。	-	現状維持	現状維持	1	就学前子どもの保育施設等利用割合	%	目標	85	85	85
												実績	78	80	81
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
243 保育所等整備事業	こども家庭センター	新規	R5	R8	①山口保育所のフラットピアへの移転計画により、実施設計を行う ②愛宕保育所と佐原保育所の統合を進める	①山口保育所は、フラットピアに移転移転しないこととなり、6年度末に計画の見直しを図られたもの ②愛宕保育所と佐原保育所の統合については、進捗がなかった	現状維持	現状維持	1	保育所等整備	個所	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
244 放課後児童対策事業	こども家庭センター	継続	R2	R11	・学童の家運営について、指定管理者により概ね良好に運営されている。 ・入館者数の少ない学童の家については、満足度が高い傾向にあり、入館者が多い学童の家については満足度が中程度となっている。	・入館者の多い学童の家においては施設の狭隘(キョウアイ)化が指摘されており、利用者の満足度にも反映されていると考えられることから、施設整備等を行っていく。 併せて、再生可能エネルギー設備の導入についても検討する。	拡充/改善	現状維持	1	学童の家利用者アンケート調査満足度	%	目標	91	91	91
												実績	90	91	90
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
245 放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートによると、参加児童のほとんどが、放課後子ども教室が「楽しい」と感じている。</li> <li>保護者からのアンケートでは、「コミュニケーション能力が向上した」との意見が多かった。</li> <li>放課後子ども教室では、適度な外遊び時間を設けているため、子どもたちの「体力づくり」にもつながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の教育力向上の観点から、伝統芸能の伝承活動など、地域の特色を踏まえた活動の充実を図る。</li> <li>週5日の開設であることから、安全管理員の負担を考慮し、有償ボランティア5名以上の体制を維持する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	放課後子ども教室利用者の満足度	%	目標	98	98	98
												実績	94	91	93
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
246 家庭教育支援事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期家庭教育学級は、はなまるフレンズ（生涯学習課）、おひさまクラブ（田老）、めばえ学級（新里）、子育て学習塾（川井）を実施した。子育てに必要な知識の提供、参加者間の交流、情報交換の場を一定程度持つことができた。</li> <li>小・中学校期家庭教育学級では、コロナ禍以降実施校が減少していることから、1校あたり1回の開催としていたものを、2回以上の開催を希望する学校に対しては謝礼金を支払うこととして実施することで、実施校や参加者数が増えた。</li> <li>ブックスタートでは、7か月児と3歳児に計399冊の絵本を配付した。</li> <li>各公民館・生涯学習センターでは、コロナ禍の前と同様に、開催規模に制限をかけることなく講座・教室を開催した。参加者からの満足度は概ね高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期家庭教育学級では、少子化の影響で対象となる乳幼児の減少や、ひとり親世帯の増加がある中、多様なニーズを持つ対象者が少しでも参加しやすい・参加したいと思えるよう、充実した講座を実施する必要がある。また、参加者数の増加につながるよう周知の方法を見直す必要がある。</li> <li>ブックスタートでは絵本の配布のみとなっているため、配布後の絵本が家庭でどのように活用されているかを検証する必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業（講座）参加者数	人	目標	4,800	5,050	5,300
												実績	1,740	2,003	3,004
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
(7) 障がい福祉の充実															
247 福祉タクシー事業	福祉課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の高齢化により、施設入所等の理由で交付対象外となる方も増加する考えられる。</li> <li>重度の障がい者が対象であり、対象者の心身の状況でタクシー利用が難しく、申請しないケースもある。</li> <li>緊急時のタクシー利用のために助成券の申請をしている方も多く、交付数に対し利用率が上がらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年度から事業の拡充を図ったところであり、当面、現状維持するものとする。</li> <li>福祉タクシー券の利便性を高めるため、令和6年度から1乗車あたりの利用枚数制限を撤廃した。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	交付人数	人	目標	449	449	449
												実績	402	428	427
									2	利用回数	回	目標	5,619	5,619	5,619
												実績	5,156	5,078	6,014
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
248 地域生活支援事業	福祉課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の地域移行を推進するため、地域の特性や障がい者のニーズに応じた制度の見直しが必要。</li> <li>・障がい者数も年々減少しており、利用者数の減少が見込まれる。</li> <li>・令和6年度の出前授業開催回数は、市内小中学校の希望校数が少なかったことから、令和5年度を下回る結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体活動の縮小や他サービスとの併用等により、実績が減となっている事業がある。障害者手帳の交付時などの様々な場面において、制度の周知を図る必要がある。</li> <li>・障がい者の地域生活を向上させるため、障がい者やその家族が必要とする情報を入手できる手法を検討する必要がある。</li> <li>・令和4年度から相談支援等事業に地域生活拠点事業を加え、24時間365日の相談窓口の設置と緊急時の宿泊床を確保し、障害者が地域で生活を送るための環境整備を図った。</li> <li>・医療的ケア児を含む障がい児の支援を充実するため、障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針に基づき、児童発達支援センターを設置し、強化事業を実施している。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	地域活動支援センターⅡ型延利用日数	日	目標	3,500	3,500	3,500
												実績	3,012	2,455	2,936
									2	出前授業開催回数	回	目標	12	12	15
												実績	12	12	8
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
5 交流と連携による地域づくり															
(1) 市民活動の推進															
249 市民協働事業推進事業	生活課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(自治連)災害からの復興及びコロナ禍による活動停滞から、再始動に向けた活動が徐々に再開している。今後も、担い手不足解消に努めていくために、研修等の実施方法を工夫しながら、意識醸成に向け継続した支援が必要である。</li> <li>・コミュニティ助成事業補助金は、1件2,400千円(6月補正)が4月に採択され、地域の交流促進に向けた地域活動備品(清掃用刈払機、物置等)整備を実施。</li> <li>・地域力向上支援事業補助金は2件、500千円を補助。</li> <li>・地域自治組織活動拠点施設整備支援事業は、改修工事及び備品購入4件、1,825千円を補助。</li> <li>・地域自治組織活動拠点施設支援補助金事業は、38団体、2,987千円を補助。</li> <li>・宮古市町内自治会連合会への加入団体数は、218団体(宮古138、田老23、新里27、川井30)のうち113団体となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織活動拠点施設支援補助金事業は、地域自治組織が独自に取得している集会施設を対象としているが、施設を賃貸借している地域自治組織から補助要件拡充の希望あり。補助金要綱を改正し、対応する必要がある。</li> <li>・自治会連合会として持続可能な体制づくりへの検討を進める必要がある。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	地域自治組織との協働実施件数	件	目標	185	190	190
												実績	234	275	240
									2	宮古市町内自治会連合会加入率	%	目標	57	67	100
												実績	50	48	52
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
250 【再掲1】市民協働事業推進事業	生活課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価値感や社会的ニーズの多様化により、地域課題の解決に向けて行政が担う「共助」の幅も広がりを見せている。</li> <li>・コロナ禍後は、通常の事業が展開できるようになり、実施件数は増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体に対し、情報発信や事業の見える化の工夫をしながら、相乗効果を生むように展開する必要がある。</li> </ul>	拡充/改善	現状維持	1	市民活動団体との協働事業実績	件	目標	260	270	280
												実績	151	181	184
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			



基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
254 国際交流推進事業	企画課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生推進業務を宮古市国際交流協会に委託し、外国人対応スタッフ配置、国際交流・国際理解活動の実施、外国人市民等支援、インバウンド対応を行った。</li> <li>・外国人住民登録者数は過去3年と比較し微増。</li> <li>・友好協力都市：2都市（中国山東省烟台市、フィリピン ラ・トリニダット市）</li> <li>・LOI締結都市：1都市（インドネシア・マナド市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に関して、市HP・各種SNSとの連携、市民交流センター、広報等を活用した周知を実施。これを継続し、幅広い層に広めていく。</li> <li>・外国人市民等から生活に係る相談を受け付けた際に、スムーズに情報提供できる体制づくりが必要。</li> <li>・事業に係る人件費（所要時間）が多い。外国客船受入対応等により、対応時間が増加していることから、専従職員の人数増等が必要。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	国際交流や多文化理解活動等の参加者数	人	目標	250	250	250
										実績	292	230	146		
									2			目標			
										実績					
									3			目標			
										実績					
									4			目標			
										実績					
(4) シティプロモーションの推進															
255 シティプロモーション推進事業	企画課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>シティプロモーションサイト「宮古市いいイロ百貨」の記事を更新した。浄土ヶ浜エタールグリーンに係る記事だけでなく、市内で開催されるイベントの告知など市のPRにつながるようなページ作成を心掛けた。</li> <li>市内イベントに1回出展し、市民への認知度向上を図った。県外イベントへ1回出展し、関係人口の増加に努めた。</li> <li>PR隊への情報提供回数を増やし、PR隊から宮古を発信してもらえるような仕組みづくりをした。</li> <li>これまで実施してきたインスタグラムフォトコンテストに代わる取り組みとして、市公式インスタグラムを活用した広告掲載を行った。広告が表示されるターゲットを絞ったことにより、クリック数1,890回を記録した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募者数が減少していたため、インスタグラムフォトコンテストを廃止した。</li> </ul>	現状維持	縮小	1	市の事業に参加したのち移住した人の数	人	目標	6	7	8
										実績	15	8	18		
									2	シティプロモーションサイトアクセス数	PV	目標	22,000	24,200	26,620
										実績	19,557	41,105	64,178		
									3	インスタグラムフォトコンテスト応募者数	人	目標	200	200	-
										実績	89	37	-		
									4	宮古市公式チャンネルM385(YouTube)の登録者数	人	目標	1,000	1,100	1,200
										実績	1,000	1,100	1,225		
256 地域おこし協力隊事業	企画課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊員として活動する3年間は、都市住民が定住者となるまでの準備期間に位置づけている。</li> <li>・募集内容のPRは、市のHP以外に宮古市への移住に興味がある都市住民にもピンポイントで案内。この案内方法が募集に対する採用率を高めることに繋がっている。</li> <li>・行政課題に端を発した募集テーマだけでなく、応募者自らテーマを設定する「企画提案型」や、漁業従事者の確保を目指した「一次産業雇用型」を新たに募集開始した。</li> <li>・2泊3日のおためし協力隊ツアーを実施（6人）</li> <li>・起業支援補助金を交付（3名から申請、交付済）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任期終了後の定着が進むよう、起業セミナー等の周知や起業補助金の活用に向けた支援を行う。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	地域おこし協力隊卒業後に市内に定住した人数	人	目標	3	4	4
										実績	0	2	2		
									2	地域おこし協力隊を採用した人数	人	目標	5	4	4
										実績	3	3	2		
									3	地域おこし協力隊を募集した人数	人	目標	5	5	5
										実績	5	5	5		
									4	地域おこし協力隊の人数	人	目標	11	13	13
										実績	7	7	5		

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績							
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6	
257 移住・定住促進事業	企画課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複業マッチングは、R4まで地域おこし協力隊とともに事業を行っていたが、隊員が卒業した事によりR5からは事業を行っていない。</li> <li>・複業マッチング事業を単独実施。参加企業の募集に苦心した。フィールドワークツアーも開催。結果、参加企業5社、参加者10名、マッチング10件。</li> <li>・移住定住相談会を宮古市と姉妹都市・友好交流都市である「黒石市」「八幡平市」「大仙市」の四市合同で開催した。</li> <li>・移住・定住をミッションにした地域おこし協力隊員を任用した。隊員事業として、都内でイベントを2回実施し、約100名の参加。</li> <li>・首都圏で活躍する35歳以下の宮古市出身の若者を対象に、参加者同士の懇親を深め、出身者のネットワーク構築及び宮古市との関係性の継続を目的としたイベントを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市単独の移住相談イベントについては、他のイベント参加者や関係人口へ周知し、内容には食のコンテンツを活用。</li> <li>・複業マッチング事業については、市内関係機関の協力による市内企業への周知が課題。R4は商工だより（商工会議所）ヘチラシを折り込んだ。また、マッチングした人材を関係人口として維持していくため、市のイベント紹介などが必要。</li> <li>・移住者の支援については、R3より移住定住相談員を配置。外部移住コーディネーターを2名委嘱済み。</li> <li>・R5年度に続き、移住ポータルサイトの更新業務を高校生と共にを行った。また、地元高校生修学旅行を開催し、継続して高校生の地元への愛着度向上に取り組んでいる。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	高校2年生の宮古市への愛着度	%	目標	55	60	65	
										実績	33	53	53			
									2	移住者向けHPアクセス数	件	目標	30,000	40,000	50,000	
										実績	32,665	37,984	69,150			
									3	移住定住相談会宮古市ブース来訪者数	人	目標	30	30	30	
										実績	58	155	167			
									4	市の事業に参加したのちに移住した人の数	人	目標	6	7	8	
										実績	15	9	18			
258 結婚支援事業	企画課	継続	R2	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、H29年度より年2回ずつ実施してきた婚活イベントが、令和2・3年度は1回のみの実施。募集人数や時間など、規模を縮小して開催した。</li> <li>・婚活イベントへの女性参加者がなかなか集まらない。また、市外からの参加申込が多い。</li> <li>・i-サポ入会助成については、目標に達していないことから、引き続きPRが必要。</li> <li>・結婚新生活補助について、国の補助金の年齢要件及び所得要件が緩和されたことから対象者が拡充されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活イベント：女性参加者が少ないため、女性が参加しやすい内容にする。</li> <li>・i-サポ：利用率が新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している（施設利用及び見合い、デート等を避ける傾向があるため）が、Twitterの開設、web申込の開始、AIを活用したマッチングなど新たな取組も実施している。</li> <li>・定住化対策と連動し、住環境のPRを進め、成婚後の定住化を進める。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	結婚イベントへの参加人数	人	目標	20	20	20	
										実績	18	45	40			
									2	i-サポ入会助成利用人数	人	目標	40	30	20	
										実績	16	10	9			
									3	結婚新生活支援補助交付件数	件	目標	20	20	20	
										実績	16	8	18			
									4			目標				
										実績						
6 郷土を誇り時代につなぐひとづくり																
(1) 学校教育の充実																
259 教育研究所運営事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>みやこ学力向上ネットワーク事業</li> <li>・小中連携の視点をふまえ、授業におけるプログラミング教育、ICT活用についての授業づくりに関する実践・研修を行うことができた。</li> <li>・幼児教育施設と小学校の円滑な接続に資する実践研究の成果を共有することができた。</li> <li>・魅力ある学校づくりに係る実践研究の成果を共有することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用における情報活用能力の育成と、各学校・各教科で育成を目指す資質・能力の育成に向けて研究を推進していく。</li> <li>・現状の教育課題についての取り組みを市内全小中学校で推進していく。</li> <li>・本年度同様に中学校区で研究員を選出することで、小中連携の視点を入れた授業改善に向けた研究を推進していく。</li> <li>・引き続き、幼児教育と魅力ある学校づくりに係る実践研究を推進していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	学力調査結果（小学校）	全国比	目標	100	100	100	
										実績	95	92	97			
									2	学力調査結果（中学校）	全国比	目標	100	100	100	
										実績	87	89	92			
									3			目標				
										実績						
									4			目標				
										実績						

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績							
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6	
260 学力向上事業	学校教育課	継続	R2	R11	<p>学力調査結果…小学校（国・算）、中学校（国・数・英）の結果は、小学校国語を除いて全国比を下回っている。特に算数、数学と英語が大きく下回っている。（全国比 小国：100 小算：94 中国：96 中数：89 中英：92）</p> <p>学校公開…学校公開をとおして、学校としての研究体制の構築、教員の授業力向上を図ることができた。</p> <p>放課後学習支援…支援員3名で4～5校ずつ計13校を訪問している。各校からは、肯定的な評価を頂いている。</p>	<p>学力調査結果…校内研等で、諸調査の結果を踏まえた助言・支援等を行う。また、各中学校の国語、数学、英語教員を対象に指導主事が学校訪問を複数回行い助言することで授業力向上を図る。</p> <p>学校公開…学校のニーズに沿う形で公開支援訪問や個別訪問等のサポート事業を実施し、校内研究の補充や個々の先生の授業力向上及び研究主任支援等を行うなど、バックアップ体制を強化していく。</p>	現状維持	現状維持	1	学力調査結果（小学校）	全国比	目標	100	100	100	
												実績	95	92	97	
									2	学力調査結果（中学校）	全国比	目標	100	100	100	
												実績	87	89	92	
									3	放課後学習支援対象校	校	目標	15	13	13	
												実績	13	13	13	
												4				
													実績			
261 子ども読書活動支援事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小中学校に学校図書館支援員を配置している。</li> <li>市立図書館から支援を受けたり、長期休業を利用し、支援員が配置学校以外の学校での作業協力をし、利用しやすい魅力ある学校図書館づくりに努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小中学校児童生徒の読書率の向上。</li> <li>学校図書館利用者の促進。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	学校図書館支援員の配置	校	目標	24	24	24	
												実績	24	24	24	
									2	読書率（小学校）	%	目標	69	69	69	
												実績	72	66	69	
									3	読書率（中学校）	%	目標	59	59	59	
												実績	60	53	59	
												4				
													実績			
262 国際理解推進事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT5人を各校の児童生徒数に応じて、週0.5～2回ペースで配置することにより、外国語教育が目指す資質・能力を育むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣会社によるALTへの指導により授業力向上を図る。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	ALT評価が良好な学校数の割合	%	目標	100	100	100	
												実績	100	100	100	
									2			目標				
												実績				
									3			目標				
												実績				
												4				
													実績			
263 友好都市等交流事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>多良間村、大仙市、室蘭市、黒石市への児童生徒派遣が行われ、交流を行った（多良間村交流（派遣12名、訪問12名）、室蘭市交流（派遣22名）、大仙市交流（派遣10名）黒石市交流（派遣13名））。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多良間村、大仙市、室蘭市、黒石市への児童生徒派遣は、持続可能な実施方法を検討しながら継続していく。</li> <li>室蘭市への生徒派遣は、令和7年度から11名に変更する。</li> </ul>	現状維持	縮小	1	来訪児童・生徒数（友好都市等→宮古市）	人	目標	8	8	12	
												実績	0	8	12	
									2	派遣児童・生徒数（宮古市→友好都市等）	人	目標	41	41	58	
												実績	0	40	57	
									3	友好都市等派遣回数	回	目標	3	3	4	
												実績	0	3	4	
												4				
													実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
264 新教育プラン事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーアップ…他校との交流を図ることで、生徒・顧問の意欲と技術の向上、適正人数に満たない部活動や、専門の指導者がいない部活動などの活性化を図るといふ本事業の目的を達成することができた。</li> <li>・パワーアップ…競技力の向上や遠征手段の確保といった点から、練習試合、各種交流大会にスクールバスを配置することは有効である。</li> <li>・ニュートン…自然科学分野における体験、実験活動に市内小学生53名が参加した。宮古短大を会場にし、講義室等をブースとして使用したことで、充実した活動を行うことができた。</li> <li>・科学の思考力・技能を競う「科学の甲子園ジュニア岩手県大会」…2校2チームが参加し、積極的に競技に取り組むことで課題解決能力の向上につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同チームで活動している部も増えてきているため、今後も継続が必要である。練習試合や合同練習は、相手校との調整が必要なことから、計画的に利用申請等を行うことで達成率を向上できると思われる。</li> <li>・児童・生徒の積極的な参加や出場を促すためにも、事前の呼びかけや募集段階からの計画的な取り組みが必要である。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	パワーアップに参加して良かったと回答した生徒・教員の割合	%	目標	100	100	100
												実績	88	95	96
									2	ニュートンスクールに参加して良かったと回答した生徒・教員の割合	%	目標	100	100	100
												実績	100	100	100
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
265 特別支援教育事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を要する児童生徒に対して、支援員を配置し、児童生徒の学校生活の充実に努めることができた。</li> <li>・学校訪問を通して、今年度の成果や次年度への要望を把握することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた支援員の配置及び、適切かつ効果的な活用が図られるよう、各小中学校へ事業の趣旨を丁寧に周知する必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	特別支援教育支援員数（必要な学校への配置）	人	目標	35	36	36
												実績	36	36	36
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
266 幼児言語障害教育事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの問題を抱えている幼児を早期に発見し、指導・療育を行うことができた。</li> <li>・令和6年度は50名の通級（※定期指導通級。幼児ことばの教室経営案より）があった。</li> <li>・保護者の相談を受け、カウンセリングや情報提供を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関との連携を充実させていく。</li> <li>・通級していない児が4割ほど存在する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	言語指導の必要がある幼児の通級割合	%	目標	100	100	100
												実績	59	58	58
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
267 教育相談事業（教育研究所）	学校教育課	継続	R2	R11	相談件数は前年から減少したが、多くの相談が寄せられている。相談内容は「不登校に関する相談」が最も多く86件中79件となっている。	社会環境の変化に伴い今後も相談件数の増加、相談内容の複雑化が予想されることから、継続の必要がある。今後、学校及びこども課等の関係機関との情報共有する場を持ち、連携を密にすることで教育相談体制をさらに充実する必要がある。	現状維持	現状維持	1	問題の改善がみられた児童生徒数の割合	%	目標	100	100	100
												実績	100	100	100
									2	(参考) 相談総数	件	目標	-	-	-
												実績	74	95	86
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
268 不登校児童生徒支援事業（教育研究所）	学校教育課	継続	R2	R11	ここ最近の不応指導致室に通う児童生徒の人数については、平成30年度12人、令和元年度12人、令和2年度10人、令和3年14人、令和4年度21人、令和5年度15人、令和6年度22人と毎年10人以上の児童生徒の入級がある。令和6年度は22名中22名が学校登校（別室登校含む）へ回復している。また、教室見学希望者も増加傾向にある。	児童生徒の受け入れ、支援・相談の場として設置を継続する必要がある。また、入級希望者も増えており、対人関係が困難な児童生徒もいることから、個に応じた支援・相談を行うため、環境整備及び学校との連携を密にしていく必要がある。	現状維持	現状維持	1	適応指導致室から学校登校へ復帰した児童生徒の人数の割合	%	目標	100	100	100
												実績	81	75	100
									2	(参考) 不応指導致室に通う児童生徒の人数	人	目標	-	-	-
												実績	21	11	22
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
269 小中学校屋上防水等改修事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R11	【令和6年度】 ・活動なし  【令和5年度】 ・津軽石中学校校舎屋根改修工事/1件 ・津軽石中学校校舎屋根改修工事監理業務委託/1件 ・第二中学校校舎屋根防水等改修工事実施設計業務委託/1件	・屋根改修については、文部科学省の学校施設環境改善交付金の対象とならないが、屋根改修のために足場が校舎等の全体に架けられることから、これを利用した外壁改修を行うことにより防災機能強化事業の補助金を獲得できる可能性があるため、外壁改修も同時に検討する必要がある。	現状維持	拡充	1	工事	件	目標	-	1	-
												実績	-	1	-
									2	工事監理業務委託	件	目標	-	1	-
												実績	-	1	-
3	実施設計業務委託	件	目標	-	1	-									
			実績	-	1	-									
4			目標												
			実績												
270 小中学校プール改築事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R11	【令和6年度】 ・旧田老第三小学校プール解体工事/1件  【令和5年度】 ・活動なし	・解体工事は単独事業であることから、他の事業の状況を見ながら事業実施時期を決定する必要がある。	現状維持	現状維持	1	工事	件	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									2	工事監理業務委託	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
3	実施設計業務委託	件	目標	-	-	-									
			実績	-	-	-									
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
271 小中学校校舎大規模改造 事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R11	【令和6年度】 ・山口小学校渡り廊下改築（建築）工事／1 件 ・山口小学校渡り廊下改築（電気設備）工事 ／1件 ・山口小学校特別教室棟大規模改修工事・渡 り廊下改築工事監理業務委託／1件  【令和5年度】 ・山口小学校特別教室棟大規模改修工事／1 件 ・磯鷄小学校職員室床改修工事／1件 ※活動実績に含めないもの（令和6年度実績 に含める） ・山口小学校渡り廊下改築（建築）工事（前 金払）／1件 ・山口小学校特別教室棟大規模改修工事・渡 り廊下改築工事監理業務委託（特別教室棟大 規模改修工事監理分）／1件	・老朽化が進んでいることから、事業を継続 する必要がある。 ・今後の学校施設の統廃合を考慮して、事業 を進める必要がある。 ・大規模改修事業に併せて、外壁の落下防止 工事、ガラスの破損防止工事を行うことによ り防災機能強化事業の補助金を獲得できる可 能性があるため、補助対象となる工事も同時 に検討する必要がある。	現状維持	現状維持	1	工事	件	目標	1	2	0
												実績	2	2	2
									2	工事監理業務委託	件	目標	1	2	1
												実績	1	2	1
									3	実施設計業務委託	件	目標	1	1	-
												実績	1	-	-
									4			目標			
												実績			
272 小中学校非構造部材の耐 震化事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R6	R6事業なし	平成26年度に実施した非構造部材耐震化調査 業務委託による主な指摘箇所の改修は完了し たが、今後については再度精査を行い、計画 を策定し直す必要がある。	休廃止/ 終了	無	1	工事	件	目標	-	1	-
												実績	-	1	-
									2	工事監理業務委託	件	目標	-	1	-
												実績	-	1	-
									3	実施設計業務委託	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									4			目標			
												実績			
273 小中学校暖房設備改修事 業	教育委員会 総務課	継続	R2	R6	R6事業なし	脱炭素の観点から、FF式温風暖房機でなくエ アコン設備を設置することも検討する必要が ある。（エアコン設備は国庫補助の対象と なっている。）	休廃止/ 終了	無	1	工事	件	目標	-	1	-
												実績	-	1	-
									2	工事監理業務委託	件	目標	-	1	-
												実績	-	1	-
									3	実施設計業務委託	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績															
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6									
													目標	実績	目標	実績	目標	実績						
274 小中学校教員住宅解体事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R6	【令和6年度】 ・教員住宅（刈屋第1号ほか2棟）解体工事 実施設計業務委託/1件（刈屋第1号～第3号）  【令和5年度】 ・教員住宅（墓目第3号ほか1棟）解体工事/ 1件（墓目第3号、箱石第1号）	・外壁等にアスベストが含まれている場合、 事業費が増えるので注意が必要である。 ・解体工事のみとなるため、単独事業である ことから、他の事業の状況を見ながら事業実 施時期を決定する必要がある。	現状維持	現状維持	1	工事	件	目標	1	1	-									
												実績	1	1	-									
									2	実施設計業務委託	件	目標	-	-	1									
												実績	-	-	1									
									3			目標												
												実績												
									4			目標												
												実績												
									275 小中学校バリアフリー事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R6	【令和6年度】 ・宮古西中学校バリアフリー化工事/3件 （建築、機械設備、電気設備） ・宮古西中学校バリアフリー化工事監理業務 委託/1件  【令和5年度】 ・宮古西中学校バリアフリー化工事実施設計 業務委託/1件 ・宮古西中学校地質調査業務委託/1件	改修工事には大きな音が発生することから、 授業を行わない夏季休暇等に施工できるよ うに、契約時期を考慮する必要がある。	休廃止/ 終了	縮小	1	工事	件	目標	-	-	3
																					実績	-	-	3
																		2	工事監理業務委託	件	目標	-	-	1
																					実績	-	-	1
3	実施設計業務委託	件	目標	-	1	-																		
			実績	-	1	-																		
4	地質調査業務委託	件	目標	-	1	-																		
			実績	-	1	-																		
276 給食センター車両及び機器等更新事業	給食セン ター	継続	R5	R7	・新里給食センターの給食配送車両、業務用 冷蔵庫、フードスライサー、給食用コンテ ナ、スチームコンベクションオープン、食缶 を更新した。 ・田老給食センターの電気回転釜、給食用コ ンテナ、スチームコンベクションオープン、 キューピクル機器を更新した。	・開所から15年以上経過し、厨房機器、設備 機器ともに耐用年数を超えるものが多く、経 年劣化による不具合が増えている。 ・計画的な機器の更新は、総合計画に計上 できているが、更新予定年度前に故障、使用不 能となることが予想される。 ・機器等の故障により、給食の提供に支障が 出ることも考えられることから、早めの修 繕、更新が必要である。	現状維持	現状維持										1	設備機械等更新件 数	件	目標	2	9	11
																					実績	2	11	12
																		2			目標			
																					実績			
									3			目標												
												実績												
									4			目標												
												実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
277 小中学校消防法等法令適合事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R6	<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮古小学校ほか3校防火シャッター等改修工事/1件 (宮古小、磯鷄小、千徳小、崎山小)</li> <li>鉾ヶ崎小学校ほか2校防火シャッター等改修工事/1件 (鉾ヶ崎小、花輪小、新里小)</li> <li>高浜小学校ほか2校防火シャッター等改修工事/1件 (高浜小、津軽石小、田老第一小)</li> <li>宮古小学校ほか9校防火シャッター等改修工事監理業務委託/1件 (宮古小、磯鷄小、千徳小、崎山小、鉾ヶ崎小、花輪小、新里小、高浜小、津軽石小、田老第一小)</li> <li>第二中学校ほか2校防火シャッター等改修工事/1件 (第二中、津軽石中)</li> <li>河南中学校ほか3校防火シャッター等改修工事/1件 (河南中、宮古西中、崎山中、田老第一中)</li> <li>第二中学校ほか5校防火シャッター等改修工事監理業務委託/1件 (第二中、津軽石中、河南中、宮古西中、崎山中、田老第一中)</li> </ul> <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>磯鷄小学校ほか9校防火シャッター等改修工事実施設計業務委託/1件 (宮古小、鉾ヶ崎小、磯鷄小、千徳小、高浜小、花輪小、津軽石小、崎山小、田老第一小、新里小)</li> <li>第二中学校ほか5校防火シャッター等改修工事実施設計業務委託/1件 (第二中、河南中、宮古西中、津軽石中、崎山中、田老第一中)</li> </ul>	<p>毎年検査が行われるため、事業実施内容が追加される可能性が高い。</p>	休廃止/ 終了	-	1	工事	件	目標	-	-	5
									実績			-	-	5	
									2	工事監理業務委託	件	目標	-	-	2
												実績	-	-	2
									3	実施設計業務委託	件	目標	-	2	-
												実績	-	2	-
									4			目標			
												実績			
278 小中学校照明LED化事業	教育委員会 総務課	継続	R2	R11	<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動なし</li> </ul> <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動なし</li> </ul>	<p>・補助を受けるためには400万円以上の事業費が必要となり、屋内運動場だけでは事業費が不足する可能性があるため、校舎等の分も合わせて計画する必要がある。</p>	現状維持	現状維持	1	工事	件	目標	-	-	-
									実績			-	-	-	
									2	工事監理業務委託	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									3	実施設計業務委託	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
279 教育用コンピュータ整備事業	学校教育課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒用・教職員用パソコンのリース満了に合わせ機器入れ替えを行った。</li> <li>更新作業にかかり、事前に更新校への調査を行った。</li> <li>1人1台端末(タブレット)の設定変更・修繕対応を行った。</li> <li>教員用タブレット端末の整備及び設定等を行った。</li> <li>学校の機器やネットワークトラブル対応・現地支援を行うGIGAスクールサポーターを配置した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に全児童生徒分一括購入により整備したタブレット端末の機器更新(令和7年度)が必要となる。</li> <li>岩手県統合型校務支援システムの導入に向けた多要素認証機器の整備(令和7年度)、システム利用にかかるライセンス費用(令和8年度以降毎年度)が必要となる。</li> <li>端末の利活用促進や今後のクラウド化に向け、これまで以上に通信環境の高速化が必要となる。</li> <li>リモート授業等に使用する機器の維持管理費用が今後発生してくる。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	教育用パソコン更新対象校	校	目標	5	8	4
												実績	5	8	4
									2	整備率	%	目標	100	100	100
												実績	100	100	100
									3	(参考)タブレット設置数	基	目標	-	-	-
												実績	3,117	3,117	3,117
									4			目標			
												実績			
(2) 生涯学習の推進															
280 生涯学習推進体制整備事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーバンク及び生涯学習ボランティアの全体の派遣数はR6も増加した。</li> <li>講座や催しを掲載した「市民カレッジニュース」を毎月発行し、情報発信に努めた。</li> <li>生涯学習リーダーバンクの登録状況は、29団体86名に増加した(前年比:団体増減なし、9名増)。</li> <li>生涯学習ボランティアの登録者数は、前年比2名増の34人であった。</li> <li>生涯学習推進本部(庁内)、生涯学習推進会議(審議会)はコロナ禍以降開催していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の多様化する学習要求に応えるため、リーダーバンク事業の充実を図る。</li> <li>庁内各課で実施される生涯学習関係事業が効果的・効率的に行われるよう、生涯学習推進体制の充実を図る。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	リーダーバンク及び生涯学習ボランティア登録者の派遣延べ人数	人	目標	439	439	439
												実績	675	702	842
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
281 図書館改修事業	図書館	継続	R2	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の外壁が剥落する危険があることから、安全性確保のため早急に外壁を改修する必要があり、次のとおり委託業務及び工事を行った。</li> <li>外壁改修工事实施設計業務委託</li> <li>外壁改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化で改修等が必要なことから、計画的に改修を実施する必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	予定した工事等の完了割合	%	目標	0	0	0
												実績	0	0	0
									2	工事件数	件	目標	-	1	1
												実績	-	1	1
									3	業務委託件数	件	目標	2	-	1
												実績	2	-	1
									4			目標			
												実績			
282 図書館サービス向上事業	図書館	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用者へのサービスを向上するため、令和6年度は次の備品を購入した。</li> <li>紙芝居架 1台</li> <li>ブックトラック 2台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用者へのサービスを向上するため、計画的に設備(備品等)を追加・更新する必要がある。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	購入予定備品の購入実績	件	目標	1	3	3
												実績	1	3	3
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
283 図書館システム整備事業	図書館	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館システム：平成20年度導入（買取方式）、平成26年度「リース方式」に変更、令和元年度、サーバーを庁内LANから切り離したことにより、昼休み時間帯の待ち時間が大幅短縮。</li> <li>・令和6年3月にシステム更新を実施（リース期間：R11.2月末まで）。機器の動作がより高速になり貸出・返却のスピードが向上したほか、読書推進オプションを導入したことにより、市民がより読書に親しむことができる環境が整った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムは安定稼働しており、目標を達成している。この水準を維持していく。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	図書資料の返却・貸出にかかる待ち時間	分	目標	2	2	2
												実績	2	2	2
									2	目標					
										実績					
3	目標														
	実績														
4	目標														
	実績														
284 図書館蔵書整備事業	図書館	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民1人あたりの蔵書数については、岩手県内における市立図書館の平均値を目標とした。令和6年度は、前年度に引き続き、書架の収容能力を考慮した資料の除籍処理を進めたものの、目標水準を上回る冊数を維持できた。</li> <li>・受入図書冊数については県内の平均値（令和元年度）を目標値とした。令和6年度はこれまで紙資料に充てていた予算から、電子書籍も支出することとなり、また、本の価格上昇も重なり、目標を下回る水準となった。</li> <li>・令和4年10月1日から電子図書館サービスを開始。利用者からは、文字の拡大ができて読みやすい、図書館へ行かなくても読書ができるなどといった好意的な声が多く寄せられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書冊数が図書館の収容能力の限界に近付いている。今後は資料の除籍を計画的に進め、蔵書を入れ替えることにより内容の充実を図っていく。</li> <li>・市民交流センター及び各公民館等に文庫を設置している。市民サービスを考え、新たな文庫の設置場所を検討する必要がある。併せて、学校や事業所等への団体貸出も積極的に進めていく。</li> <li>・電子図書館の利用者増に向け、使い方講座の開催などを通じた認知度の向上、蔵書の充実を図っていく。</li> </ul>	拡充/改善	拡充	1	市民1人あたりの蔵書数	冊	目標	4	4	4
												実績	5	5	5
									2	受入図書冊数	冊	目標	9,300	9,300	9,300
												実績	8,370	6,678	6,345
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					
285 地域学校協働活動推進事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働本部 未実施校11校（磯鶏小、重茂小、崎山小、田老第一小、新里小、河南中、花輪中、重茂中、崎山中、田老第一中、新里中）に本部を設置した（市内全小・中学校に設置）</li> <li>・事業の実施アンケートでは、児童の91.3%が「地域の人と話したり、一緒に活動すると自分が成長すると思う」と答えている。</li> <li>・地域住民・ボランティアの92.3%が「学校支援活動はやりがいがあったり、生きがいづくりになっていると感じる」と答えている。地域と学校が関わる機会が増え、地域活動が活発になってきたものと考えられる。</li> <li>・事業実施校の87.5%が「事業についての教員の認知、理解が深まった」と答えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校の推進員が円滑に事務を進められるよう助言・総括を行い、事業の充実を図る必要がある。</li> <li>・学校のニーズを地域と共有し、具体的な活動につなげていく必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業関係者（児童、地域、学校）の満足度	%	目標	80	80	80
												実績	78	78	74
									2	目標					
										実績					
									3	目標					
										実績					
									4	目標					
										実績					

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
286 青少年学習活動支援事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興運動と学校保健会、PTA連合会との三者合同でみやこ3ライズ・ミーティングを開催した。学校を会場として開催し、開催校・各事務局との連携を取りながら円滑に運営することができた。参加者アンケートでは、講演、研究発表、及び大会運営について、概ね好評であった。</li> <li>・教育振興運動実践区（田老・新里・川井）が各推進協議会（または推進委員会）を中心にして学校・家庭・地域ぐるみの活動を実施。市はその事業費を支援した。</li> <li>・公民館、生涯学習センターでは健やかでたくましい青少年を育むため「ジュニア体験広場」「ふるさとキッズ」などの体験講座を企画し、実施した。</li> <li>・新たに黒石市の中・高校生との交流事業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度から、市内全中学校区に地域や小中学校関係者などで構成される「学校運営協議会」が設置され、コミュニティ・スクールがスタートした。地域が学校教育に参画するという考え方は、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、及び教育振興運動と共通していることから、教育振興運動補助金については地域学校協働活動に統合する方向で整理する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業参加者数	人	目標	726	726	726
												実績	193	386	515
									2	教育振興運動実践区の数	地区	目標	3	3	3
												実績	3	3	3
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
287 学習活動促進事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館まつり、玄翁館まつり、川井生涯学習センターまつり及び公民館舞台部門発表会を開催。</li> <li>・アンケート結果等から、講座参加者の満足度は高く、概ね評価できる内容であった。</li> <li>・高齢者が心豊かに生きがいをもって生活することができるよう、公民館及び生涯学習センターにおいて、社会経験者大学（宮古）、ゆうゆう講座（田老）、いきいきセミナー（新里）、しらかばカレッジ（川井）等の講座及び教室を実施し、全27回、延べ1,185人が参加した。</li> <li>・20歳のつどいは、家族の参加制限はせず、インフルエンザやコロナウイルスの感染症対策として会場内を一方通行とし開催した。式典の様子はYouTubeで生配信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化による社会的課題（デジタル社会への対応、コミュニティの維持等）の解決も意識しながら、市民のニーズに応えた事業の企画が必要。</li> <li>・公民館を活用したデジタルリテラシー向上、及びデジタルデバイドの解消に取り組む必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業（講座等）参加者数	人	目標	6,400	6,400	6,400
												実績	4,813	6,738	6,703
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
288 生涯学習関係活動団体支援事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の指導者を講師に迎える際の謝金を支援する「講師派遣事業」の利用団体・人数は、R5の12団体・248人から、R6は14団体・287人に増加。近年は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少していたが、R5以降は年々回復傾向にある。</li> <li>・市職員が講師となる「まちづくりふれあい講座」事業は、利用者はR5の592人からR6は392人に減少した。これは、R5に多かった防災講座の利用が減少したことによるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣事業やまちづくりふれあい講座事業は、利用団体（グループ）が固定化しつつある。多様化するニーズに対応するため、講師等の指導者の発掘や、まちづくりふれあい講座メニューの更新を図る必要がある。</li> <li>・従来の広報みやこ、市ホームページの周知に加えて、これまでに利用のない団体にも情報が届くよう、周知方法の見直しが必要。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	事業参加者数	人	目標	2,340	2,340	2,340
												実績	1,299	1,084	1,030
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績									
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6			
(3) スポーツ・レクリエーションの振興																		
289	スポーツ育成強化事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会への参加件数は、全国高等学校総合体育大会出場選手の減少等により、計画値を達成できなかった。</li> <li>・陸上競技選手育成強化事業は、市内及び県内の陸上競技選手を対象に実施した。</li> </ul>	ほとんどの競技において宮古市体育協会に所属している競技団体であるが、今後、競技の多様化の観点から市体育協会に所属しない競技団体や個人競技者等の把握と周知について、宮古市体育協会と連携して取り組む。	現状維持	現状維持	1	全国大会への参加者数	件	目標	40	40	40		
													実績	52	43	33		
										2	目標							
											実績							
3	目標																	
	実績																	
4	目標																	
	実績																	
290	総合体育館施設整備改修事業	生涯学習課	継続	R2	R6	備品購入費（柔道畳） 10,998,900円	施設の老朽化で改修等が必要なことから、計画的に改修を実施する必要がある。	現状維持	拡充	1	総合体育館利用者数	人	目標	140,000	140,000	140,000		
													実績	80,104	92,014	99,871		
										2	目標							
											実績							
3	目標																	
	実績																	
4	目標																	
	実績																	
291	学校施設開放事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度を上回る利用実績があった。</li> <li>・小学校の統廃合により、学校施設開放校は減少している。R6：23校（R01：27校）（令和元年度：藤原小、令和2年度：亀岳小、令和3年度：赤前小が閉校、令和5年度：川井中が川井小校舎に移動）</li> </ul>	学校施設開放校と連携しながら、学校教育に支障がない範囲で施設開放を行う。	現状維持	縮小	1	利用者数	人	目標	142,000	142,000	142,000		
													実績	93,231	103,952	118,924		
										2	目標							
											実績							
3	目標																	
	実績																	
4	目標																	
	実績																	
292	スポーツツーリズム事業	生涯学習課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を上回る達成値となった。</li> <li>・今年度は陸上競技において、県内（内陸部）や秋田県、青森県からの高等学校の合宿実施の実績が得られた。</li> </ul>	合宿実施に向けた利用施設や補助金等のPR活動を行い、今後も関係機関と連携して合宿誘致に取り組む。	拡充/改善	現状維持	1	スポーツ合宿事業費補助金交付件数	件	目標	6	6	6		
													実績	15	21	14		
										2	目標							
											実績							
3	目標																	
	実績																	
4	目標																	
	実績																	

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
293 姉ヶ崎サン・スポーツランド改修事業	生涯学習課	継続	R3	R9	電気設備・機械設備改修工事監理業務委託 1,265千円 浄化槽設置工事 39,023千円 照明・通信情報設備改修工事 10,474千円	施設が老朽化していることから、計画的な改修が必要である。	現状維持	現状維持	1	姉ヶ崎サン・スポーツランドの利用人数	人	目標	25,829	25,829	25,829
												実績	19,663	19,332	18,079
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
294 へいがわ老木スポーツ交流会館改修事業	生涯学習課	継続	R7	R7	サッカー競技において、スポーツ少年団の大会等の減少により、利用者が減少している。	令和9年度以降に先送り。	拡充/改善	拡充	1	へいがわ老木公園利用者数	人	目標	14,733	14,733	14,733
												実績	11,316	7,181	11,159
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
295 千徳地区体育館改修事業	生涯学習課	継続	R6	R7	千徳地区体育館屋根等改修工事実施設計業務委託 1,375千円	令和8年度に工事予定。	拡充/改善	拡充	1	千徳体育館利用者数	人	目標	-	-	-
												実績	10,323	9,481	10,523
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
296 宮古運動公園改修事業	生涯学習課	継続	R4	R8	東北ヒロセ陸上競技場（宮古運動公園）倉庫設置工事監理業務委託 891千円 東北ヒロセ陸上競技場（宮古運動公園）倉庫設置工事 32,727千円	3種陸上競技場としての公認期間が2027年7月11日まで。公認の更新にあたっては、新たな改修が必要となる可能性あり。 ※R7年度に日本陸連の事前指導を受ける予定	拡充/改善	拡充	1	宮古運動公園陸上競技場・野球場利用者数	人	目標	-	-	-
												実績	26,085	21,565	27,668
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
297 社会体育施設LED化改修事業	生涯学習課	継続	R6	R8	社会体育施設LED化改修工事実施設計業務委託料 2,365千円	LED化を行うことで、ランニングコストの軽減とCO2の削減効果が見込まれる。	現状維持	-	1	体育施設のLED化率	%	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									2			目標			
												実績			
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
(4) 文化の振興															
298 市民文化会館改修工事	文化課	継続	R2	R8	宮古市民文化会館大ホールの天井を耐震診断結果に基づき改修工事を実施する。 R2年度 基本設計 R4年度 実施設計 R6~7年度 改修工事	市民文化会館は施設・設備の老朽化が進んでおり、計画的な改修・更新を実施していく必要がある。 R5年度 屋根防水・外壁塗膜工事実施設計 ⇒ R6年3月工事着手 ⇒ R6年9月完了	拡充/改善	拡充	1	耐震天井への改修	式	目標	1	-	1
												実績	1	-	1
									2	屋根・外壁の改修	式	目標	-	1	1
												実績	-	1	1
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
299 文化芸術による「心の復興」事業	文化課	継続	R2	R8	落語芸術協会との連携により一流の出演者による公演実施が可能となっている。毎回大好評であり、被災者や地域住民の皆さんに心安らぐ時間を過ごしてもらうことができている。	・より効率的、効果的な事業PRの必要性。 ・震災前の公演鑑賞環境を取り戻すため、入場料金を従前のレベル(4,000円程度)に戻していくことも必要であるが、来場者数への影響を考慮しつつ引き続き検討していく。	現状維持	現状維持	1	実施する公演数	回	目標	1	1	1
												実績	1	1	1
									2	公演来場者数	人	目標	1,000	1,000	180
												実績	501	328	141
									3	アンケートによる来場者満足度(とても良かった・良かった)	%	目標	80	80	80
												実績	95	100	100
									4			目標			
												実績			
300 文化財公開活用事業	文化課	継続	R2	R6	崎山貝塚縄文の森公園及び崎山貝塚縄文の森ミュージアムを拠点として、昨年度と同じ水準で計画通り事業を実施することができた。公開活用事業への参加者数については昨年度より増加した。 崎山貝塚縄文の森ミュージアム開館記念イベント及び崎山貝塚を市民に周知するために実施した崎山貝塚縄文まつりは昨年度に比べ参加者数が減少したが、ミュージアム及び崎山貝塚の情報を発信する取り組みについて成果をあげることができた。	参加者数がコロナ前の水準に戻りつつあるが、関連施設や観光施設と連携した周知が必要である。 今後はSNSを活用した積極的な情報発信や外国人観光客に対応した展示ガイドの開発を検討するなど、施設の特徴を活かした事業を展開し、来館者の満足度を向上していく必要がある。 参加者数が伸び悩む企画については、事業内容を精査し見直すなどの改善が必要である。	拡充/改善	拡充	1	実施した公開活用事業の数	回	目標	12	12	12
												実績	12	12	12
									2	公開活用事業への参加者の数	人	目標	7,000	7,000	7,000
												実績	6,948	6,122	7,210
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
301 民俗芸能記録保存事業	文化課	継続	R3	R10	コロナ禍により休止していた新里まつり、茂市熊野神社例祭が再開された。 ・6/30第5回北上山地民俗資料館小国分館神楽共演会（3団体）、・8/16田代大念仏剣舞、・9/8横山八幡宮例大祭（3団体）、・11/3第50回川井郷土芸能祭（8団体）、・3/16茂市鹿子踊	・コロナ禍で休止していた祭礼・行事の再開を注視し、取材を優先していく。 ・同じ演目ばかりでなく、上演する演目を変えるよう働きかけていく。	現状維持	現状維持	1	映像記録取材	件	目標	5	5	5
												実績	5	5	5
									2	伝承者への聞き取り	件	目標	2	2	2
												実績	2	1	2
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
302 文化財保護事業	文化課	継続	R2	R6	・例年通り、指定文化財の現況確認を行い、現状の把握及び標柱や解説版の劣化・破損状況を確認した。また、草刈り等の環境整備などを行い、指定文化財の保存に努めた。 ・市指定天然記念物「チョウセンアカシジミ」について、市民や学校を対象とした成虫観察会や産卵数調査を行った。 ・10月と1月に宮古市文化財保護審議会を開催し、事業計画・事業内容を報告し審議会委員より承認・意見をいただいた。	・常に文化財の現況を確認し、併せて活用事業にも取り組むことで、文化財の劣化や破損の早期発見につなげ、次の世代に継承していくために修理や修繕を行う仕組みを構築する。 ・指定文化財に関する要望（枝折れ、解説版の汚れ、草刈り等）に迅速に対応し、文化財の保存だけでなく周辺環境の整備にも努めていく必要がある。	現状維持	現状維持	1	天然記念物環境整備・調査の実施	回	目標	12	12	12
												実績	9	9	10
									2	指定文化財標柱・解説版設置・修繕の実施	回	目標	2	2	2
												実績	1	1	1
3			目標												
			実績												
4			目標												
			実績												
303 文化財保存活用地域計画策定事業	文化課	継続	R3	R6	・宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会を5月・8月・1月に開催し、「宮古市文化財保存活用地域計画」の方針や素案について検討することができた。 ・公開講座は協議会に合わせて5月に実施し、参加者による歴史文化に関するアンケート調査を行うことができた。 ・10月16日から11月6日にかけて計画案に対する市民の意見を反映させるためにパブリックコメントを実施した。 ・令和5年度内に「宮古市文化財保存活用地域計画」を文化庁に提出した。 ・令和6年7月に文化庁の認定を受け、「宮古市文化財保存活用地域計画」の公開、PDFデータ作成、計画書の印刷製本、概要版の印刷製本を行った。	・令和6年度内の認定に向け、文化庁からの指摘事項に対して早急に対応する必要である。 ・文化財保存活用地域計画を実施するにあたり、市民向けの情報発信や事業を推進するための体制を構築する必要がある。	休廃止/ 終了	-	1	地域住民ヒアリングの開催	回	目標	11	-	-
												実績	11	-	-
									2	公開講座の開催	人	目標	75	20	-
												実績	60	12	-
3	地域計画策定協議会の開催	回	目標	3	3	-									
			実績	3	3	-									
4			目標												
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
304 北上山地民俗資料館空調設備更新事業	文化課	継続	R5	R8	空調設備更新にあたり、令和6年度はキュービクル更新を行い、土台の傾きや設備の経年劣化により指摘を受けていた部分を解消し、容量増設も行った。	・1階川井分室閲覧室は冷暖房エアコンの故障により夏場は扇風機、冬は灯油ファンヒーターを使用しているが、子どもの利用者が危なくないように気かけなくてはならない状況。 ・平成6(1994)年の開館以来使用している空調設備が、冷暖房エアコン、冷房エアコン、温水ヒーター(灯油)の3種類あるが、室により設置状況が異なり、経年劣化による故障や修繕も増えており、特に温水ヒーター本体は経年劣化によりいつ故障してもおかしくない状況であるとして点検時に指摘を受け本体更新を勧められている。 ・企画展示室は当初より冷房がないため夏場の企画展が開催できない。同じく体験実習室も冷房がないため夏季の事業は他施設を借用して会場としている状況。	現状維持	現状維持	1	空調設備(キュービクル)改修工事	件	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									2	空調設備(キュービクル)改修工事 監理業務委託	件	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
7 新しい時代にふさわしい行財政運営の推進															
(1) 行財政運営の効率化															
305 戸籍事務コンピュータシステム事業	デジタル推進課	継続	R2	R11	・賃貸借期間：令和5年7月1日から令和10年6月30日まで。(R5年度にシステム更新を実施済み。) ・国は、国外転出後もマイナンバーカード・公的個人認証(電子証明書)の利用実現のため、戸籍附票を個人認証の基盤として活用し、戸籍謄抄本の広域交付やマイナンバー制度に基づく情報連携を図ることとしている。	・戸籍と附票について、標準化法により令和7年度までの標準準拠システムの導入が義務化されている。標準仕様に合わせた業務フローの見直しが必要となる。	現状維持	現状維持	1	システム更新	件	目標	-	1	0
												実績	-	1	0
									2	(参考)システム改修	件	目標	-	-	-
												実績	0	0	3
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			
306 総合行政ネットワーク運用事業	デジタル推進課	継続	R2	R11	・賃貸借期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日(第4次LGWAN) ：令和7年4月1日から令和8年3月31日(第5次LGWAN) ・第4次LGWANの利用期間が令和6年度末に終了したことに伴い、第5次LGWANへの機器更改を実施した。 ・LGWANルータと回線(主系及び従系)の管理を行った。	・LGWAN回線について、システムのクラウド化、オンライン電子認証等で、庁内の需要は、増加傾向となっており、必要な回線容量を確保していく必要がある。	現状維持	現状維持	1	ネットワーク更新	件	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									2	(参考)ネットワーク改修	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									3			目標			
												実績			
									4			目標			
												実績			

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
													目標	実績	目標
307 住民情報システム運用事業	デジタル推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借期間：令和2年1月1日から令和6年12月31日まで</li> <li>：令和7年1月1日から令和7年12月31日まで</li> <li>・令和6年度は、制度改正対応等でシステム改修を3件実施した。</li> <li>・システム更新時期について令和8年1月に変更（1年間の再リース）した。また、更新と併せて標準準拠システムへ移行することとした。</li> <li>・標準準拠システムへの移行計画を策定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体の業務システムについて、令和7年度までに標準準拠システムへの移行を義務付ける「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」が令和3年9月1日施行となった。移行にあたっては、各課の業務フローの見直し等が必要となる。</li> <li>（対象：住民基本台帳、戸籍、戸籍附票、印鑑登録、選挙人名簿、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、国民健康保険、国民年金、障害者福祉、後期高齢者、介護保険、児童手当、生活保護、健康管理、就学、児童扶養手当、子ども子育て支援。以上20業務）</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	システム更新	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									2	(参考)システム改修	件	目標	-	-	-
												実績	5	6	3
			3				目標								
			実績												
			4				目標								
			実績												
308 財務会計システム運用事業	デジタル推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借期間：令和2年11月1日から令和7年10月31日まで（財務会計・人事給与・庶務管理）。</li> <li>令和6年4月1日から令和7年10月31日まで（総合計画管理）</li> <li>令和7年1月1日から令和7年10月31日まで（文書管理・電子決裁）</li> <li>・新たに、令和6年度に文書管理システム及び電子決裁システムを導入した。</li> <li>・令和6年度は人事給与システムの改修（児童手当制度改正対応）を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子決裁システム導入により、文書管理、財務会計及び庶務管理の各システムを電子決裁化した。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	システム更新	件	目標	-	-	-
												実績	-	-	-
									2	システム導入	件	目標	-	1	2
												実績	-	1	2
			3				目標	-	-	-					
			実績	2	1	1									
			4				目標								
			実績												
309 庁内LANシステム運用事業	デジタル推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借期間：システム更新前は令和2年1月1日から令和6年12月31日まで。更新後は令和7年1月1日から令和11年12月31日まで。</li> <li>・令和6年度は、システム更新のほか、庁内LAN端末を新たに使用する4拠点の光回線敷設等の対応を行った。</li> <li>・電子決裁の導入に伴いグループウェア設定変更等の対応を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランにおいて各種会議のペーパーレス化を推進しているが、プリンタの機種の変更に伴い、トナーに係る経費が上昇することから、職員各自の業務についてもペーパーレスを推進していく。</li> <li>・システム更新に伴い保守ベンダーが変わったことから、意思疎通をスムーズに行えるように連絡フローを確立する。</li> <li>・更新後の新システムを職員がより活用できるようにマニュアル等を整備する。</li> <li>・国ではセキュリティ対策の見直しを進めていることから動向を注視する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	システム更新	件	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									2	(参考)システム改修	件	目標	-	-	-
												実績	3	1	1
			3				目標	-	-	-					
			実績	37	38	19									
			4				目標								
			実績												
310 住民基本台帳ネットワーク運用事業	デジタル推進課	継続	R2	R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借期間：令和元年5月1日から令和6年4月30日まで。</li> <li>：令和6年5月1日から令和7年3月31日まで（再リース）。</li> <li>・R6年4月に貸借期間の満了を迎えるところ、貸借費用通減のため、再リースを行った。</li> <li>・行政機関等に対する本人確認情報の提供や市町村の区域を越えた住民基本台帳に関する事務の処理を行う、住民基本台帳ネットワークシステムの運用・管理を行った。</li> </ul>	特になし	現状維持	現状維持	1	システム更新	件	目標	-	-	1
												実績	-	-	1
									2	(参考)システム改修	件	目標	-	-	-
												実績	0	0	0
			3				目標								
			実績												
			4				目標								
			実績												

基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/継続	開始年度	終了年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績						
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6
311 自治体セキュリティ強化事業	デジタル推進課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三層（個人番号利用事務系、LGWAN接続系、インターネット接続系）の対策による情報流出防止などのセキュリティ強化を行っている。</li> <li>・令和7年1月にインターネット接続システムを更新し、画面転送方式からセキュアブラウザ方式に変更した。</li> <li>・令和4年4月から自治体情報セキュリティクラウドは、東北・新潟7県での共同利用となった。</li> <li>・令和9年3月に自治体情報セキュリティクラウドの更新があり、対応経費を令和8年度予算要求する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国では三層の対策見直しを進めていることから動向を注視する。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	システム更新	件	目標	-	-	1
										実績	-	-	1		
									2	(参考) システム改修	件	目標	-	-	-
										実績	0	0	0		
3			目標												
4			目標												
312 コンビニ交付運用事業	総合窓口課	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年7月からマイナンバーカードの5年目更新手続きや10年の再申請を迎え、窓口取扱件数の増加が見込まれたことから、窓口の混雑解消のため、広報紙で総合事務所及び出張所で手続きできる旨の案内をし窓口の分散を促した。更にマイナンバーカード延長交付日の回数を月1回から2回に増やし継続してマイナンバーカードを使用できるよう努めコンビニ交付件数の増加に繋げた。</li> <li>延長交付：月2回19：00まで。休日交付：月1回9：00～12：00まで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード交付の目標は達成したが、コンビニ交付件数はこれまでの計画ほど伸びなかった。今後は、定期的に広報を活用した周知を図っていきたい。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	コンビニ交付件数	件	目標	4,000	5,000	9,250
										実績	4,555	6,823	7,139		
									2	マイナンバーカード普及率	%	目標	40	81	87
										実績	67	79	87		
3			目標												
4			目標												
313 新里庁舎改修事業	新里総合事務所	継続	R2	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合計画に基づき、計画的に庁舎の改修工事を実施している。</li> <li>H30 新里庁舎・福祉センター屋根改修工事</li> <li>H31 新里庁舎・福祉センター耐震改修工事</li> <li>R01 新里庁舎改修(新里分署移転)工事</li> <li>R02 新里総合事務所・福祉センター冷暖房設備等改修工事実施設計業務委託</li> <li>R04 新里総合事務所・福祉センター冷暖房設備等改修工事</li> <li>R05 新里総合事務所非常用予備発電設備・非常用照明改修工事実施設計業務委託</li> <li>R06 新里総合事務所非常用予備発電設備・非常用照明改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害等による停電時に庁舎機能を維持するため、非常用発電設備及び非常用照明の改修を行う。</li> </ul>	現状維持	-	1	実施設計・工事進捗率	%	目標	100	100	100
										実績	100	100	100		
									2			目標			
										実績					
3			目標												
4			目標												
314 市有建物解体事業	契約管財課	継続	R5	R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体予定建物 16件</li> <li>令和6年度解体工事実施設計1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁等にアスベストが含まれていた場合、事業費が増加するので注意。</li> <li>・解体工事となるため、単独事業であることから他の事業の状況を見ながら事業実施時期を決定する必要がある。</li> </ul>	現状維持	現状維持	1	市有建物解体事業解体工事	式	目標	1	-	-
										実績	1	-	-		
									2	市有建物解体事業実施設計業務委託	式	目標	-	-	1
										実績	-	-	1		
3			目標												
4			目標												
			実績												



基本施策・施策・No.・事務事業名	担当課	新規/ 継続	開始 年度	終了 年度	活動のエピソード	改善ポイント/反省点等	成果	コスト	成果指標と実績									
									指標	指標名	単位	区分	R4	R5	R6			
(3) 行政の質的向上																		
319 職員研修事業	総務課	継続	R2	R6	令和6年度は、庁内で開催する対面による集合研修を積極的に実施し、BPR（業務改革）に関する研修も行った。市町村アカデミー等には昨年度比8名多い22名の派遣を行った。また、物理的移動が不要であり、一度に複数名で受講が可能なオンライン研修のメリットも活かしながら、多様な受講方法による研修を実施することができた。	時代のニーズに即した内容の研修をタイムリーに実施していくこと。 国で示した人材育成・確保基本方針策定指針をもとに、既存の人材育成基本方針を見直すとともに、実施する研修内容もブラッシュアップを図っていく。	-	-	1	職場内集合研修の参加者数	人	目標	300	300	300			
												実績	103	38	72			
									2	集合研修の開催回数	回	目標	15	15	15			
												実績	18	10	21			
								3	派遣研修の参加者数	人	目標	50	50	50				
											実績	39	45	70				
												目標	90	90	90			
											実績	89	91	82				
(4) 民間活力とICTの活用																		
320 アウトソーシングの推進	総務課	継続	R2	R6	-	-	-	-	1	指定管理者制度運用指針における総合評価	点	目標	60	60	60			
												実績	60	61	61			
									2			目標						
												実績						
								3			目標							
											実績							
												目標						
											実績							
321 ICT活用事業	デジタル推進課	継続	R2	R6	第1期宮古市デジタル戦略推進アクションプラン（R3-R6）において導入予定のデジタルツールについて、ほぼ導入することが出来た。 また、令和7年1月より電子決裁を開始した。 ・水道開閉栓手続きにオンライン申請を導入 ・市民交流センター等15施設にオンライン予約を導入 ・小中学校にデジタルドリルを導入 ・後期高齢者医療保険等14件にキャッシュレス決裁を導入 ・AI-OCR、RPAを導入 ・音声文字起こしツール、Web版住宅地図を導入  R6年度追加ツール ・デジタル教材：新聞活用支援ツール（各学校） ・Logoチャット（危機管理課） ・休日急患診療所など各診療所のキャッシュレス決裁化 ・電子決裁システム	令和7年度の主な取組は下記のとおり。 ・基幹システム標準化をふまえた、オンライン申請の拡大 ・財務規則24号様式（財務会計システム納付書）のコンビニ対応に向けた協議 ・OCR、Logoチャットなど既に導入しているツールの実稼働	拡充/改善	現状維持	1	ツールの導入件数	件	目標	94	116	116			
												実績	51	86	96			
									2			目標						
												実績						
								3			目標							
											実績							
												目標						
											実績							